



●この取扱説明書は、お読みになった後も、いつでも取り出せる場所に保管してください。

次の場所ではご使用になら ないでください。

●温度変化の激しいところ ●湿度、ごみ、ほこりのあるところ ●直射日光のあたるところ



 $\triangle$ 

Â.

 $\Lambda$ 

#### 日常のお手入れについての お願い

お手入れの際はシンナーなどの揮発 性の液体やぬれ雑巾は避け、乾いた 柔らかい布をお使いください。



#### 分解しないでください。

本機を絶対に分解しないでください。 万一、故障したと考えられる場合は、 「保証内容」に記載されていますよう に、本機お買い上げの販売店、または キヤノンマーケティングジャパン株式 会社修理受付窓口まで保証書を添え て、ご持参、もしくはご郵送くださ い。



#### テレビやラジオから離して ください。

ご注意とお願い

 $\Lambda$ 

/ŷ\

テレビやラジオの近くで使用する と、映像が乱れたり、雑音が入るこ とがあります。テレビやラジオから 離して使用してください。



#### 液晶表示画面を強く押さな いでください。

液晶表示画面はガラスでできていま すので、強く押したり強い衝撃を与 えないでください。ガラスが割れて けがをすることがあります。カパン などに入れて持ち運ぶ際に混み合っ た電車内や場所では圧力が強くかか り、画面が割れる場合がありますの でご注意ください。

#### ☆ 故障などの保証の注意

万一、故障や修理、電池交換による データの変化や消失により生じた損 害、あるいは、本機使用により生じ た逸失利益、または第三者からのい かなる請求についても、当社では一 切その責任を負えませんので、あら かじめご了承ください。

#### その他使用上の注意

本製品から微弱な磁気が出ていま す。心臓ペースメーカーをご使用の 方は、本製品を胸部(胸のポケッ ト)から離してご使用ください。万 ー、異常を感じた場合、ただちに本 製品を体より離し、医師に相談して ください。

# 本機のおもな特長

- 1. 付属のスタイラスを使って簡単なペンタッチ操作が可 能。基本機能は「スマートアイコン」表示で楽々操作。
- 表示中の見出し語が他の辞典にも収録されている場合は、アイコンで知らせてくれる「ディクショナリーリンク」機能。
- 3. 辞典から辞典へ移動して、単語の連続検索ができる 「マルチジャンプ」機能。
- 4. 「英和辞典」では重要見出し語、「英会話辞典」では会話例 文の発音を収録。自分の発音を録音後、模範発音と聴 き比べることも可能。
- 5. 文字入力と同時に検索候補が表示される「すぐ出る 検索」機能を搭載。
- 6. 曖昧な英単語は「スペルチェック」機能で確認。英熟 語も「成句検索」で即座に検索。
- うろ覚えの言葉も「ワイルドカードサーチ」機能で簡 単検索。
- 8.「単語帳」に覚えたい単語を簡単登録、重要な箇所に アンダーラインを入れられる「マーカー」機能。
- 9. 豊富な学習コンテンツを収録。
- 10. 「英単語ディクテーション」では、英単語の発音を聴き 取り、スペルを入力。ヒアリングカアップに効果的な 学習法。
- 11. 覚えておきたい本文箇所を「ブックマーク」に登録。す ぐに呼び出しが可能。
- 12. 単語引き直しに威力を発揮する「履歴」機能。
- 13. センター試験ヒアリング対策模試を収録。本番の試験 と同様の形式でテストとトレーニングが可能。

1

# 収録辞典

◆スーパー大辞林 三省堂	(13~29ページ掲載)
◆ジーニアス英和辞典第3版 大修館書店	(13734ページ掲載)
◆ジーニアス和英辞典第2版 大修館書店	(13~41ページ掲載)
◆オックスフォード現代英英辞典第6版	20
Oxford University Press	(1977年43ページ掲載)
◆英語語義イメージ辞典 大修館書店	(13-46ページ掲載)
◆英会話とっさのひとこと辞典 DHC	(13-47ページ掲載)
◆旺文社古語辞典第九版 旺文社	(13752ページ掲載)
◆改訂新版漢字源 学習研究社	(13755ページ掲載)
◆四字熟語辞典 学習研究社	(13764ページ掲載)
◆ <b>故事ことわざ辞典</b> 学習研究社	(13766ページ掲載)
◆ <b>世界史事典</b> 旺文社	(13768ページ掲載)
◆ <b>日本史事典</b> 旺文社	(13769ページ掲載)
◆旺文社 生物事典 四訂版	(19771ページ掲載)
◆ <b>ロイヤル英文法</b> 旺文社	(19ページ掲載)
◆ロイヤル英文法問題集 改訂新版 旺文社	(13783ページ掲載)
◆英里語ターゲット 1900 3 訂版 田文社	(13785ページ掲載)
◆英親語ターケット 1000 3 訂版 田文社	(13785ページ掲載)
◆ 世又社監修 英里語ターケット 1900 ティクテーション 田文社	(13790ページ掲載)
◆ 英単語ターケット 1900 BRUSH-UP TEST 田文社…	(1993ページ掲載)
◆央熱語ターケット 1000 BRUSH-UP IESI 世文社	(1993ページ掲載)
◆ 天快 Pass 年 熱 甜 2 椒 ○ 以 訂 版 世 文社	(19795ページ掲載)
◆ 天快 Pass 年 熱 詰 準 2 赦 ○ 以 司 版 世 又 社	(19795ページ掲載)
	(1995ヘージ掲載)
◆虹又社監修 ビノダー 試験リスーノン対象 近火社	(19997ヘーン掲載)
◆ロ文丰品·秋記メークット400 町文社( ▲漢ウターゲット1700 町立社	U2 (一 ジ 抱戦)
◆ 漢子 メーグ ジー 1700 団 2社	104ハージ掲載) (ご)104ハージ掲載)
	104 ~ ノ掲載) でで104 ~ ジ掲載)
◆漢検ブディブルキと1級 0001% 000½ 100½ 100½ 100½	104 √ ジ掲載) 104 ページ掲載)
◆世界中年代暗記ターゲット315 田文社	<b>い</b> 106ページ掲載)
◆日本史年代暗記ターゲット 312 田文社 ()	<ul> <li>106 ページ掲載)</li> </ul>
	<u> いいで</u> 110 ページ掲載)
	☞110ページ掲載)
◆旺文社監修 無機化学のキーワード Ⅲ→社	(3)112ページ掲載)
◆田文社監修 有機化学のキーワード 田文社	☞112ページ掲載)

#### ご注意とお願い 本機のおもな特長 1 [1] [2] [3] [4] [5] [6] [8] 別の辞典・モードに切り替える ...... 19 [9] 文字の訂正 23 ●キー入力音 ...... 27

もくじ

●入力した英単語を含む成句を検索し和訳を調べます	39 40
和英辞曲を使う	41
●日本語の読みを入力し、英訳を検索します	41 42
英英辞典を使う	. 43
●英単語を入力し、語義を検索します	43
●英単語を入力し、成句(熟語)とその意味を表示します	44
● 英里語を人力し、人力した英里語を含む例文を検索します	45
	46
●央単語を入力し、和訳と語報1メーンを使楽しまり	40
英会話とつさのひとこと辞典を使う	. 4'7
●日本語の読みを人刀し、人刀した語句を含む会詰例又を検察します ●芇単語を入力し、 今手例立を絵索します	47 78
●場面別検索を使って、会話例文を検索します	49
●会話例文の発音を確認します	50
●発音を録音し聞き比べます	50
古語辞典を使う	. 52
●古語の読みを入力し、語義を検索します	52
和歌・俳句検索を使う	. 53
●和歌・俳句に含まれる語句を入力し、 句音等を検索します	53
<ul><li>高級() いうにとしないのは、シンパンパンパンパンパンパンパンパンパンパンパンパンパンパンパンパンパンパンパ</li></ul>	. 55
<ul> <li>● 注意 (1) 5) と 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</li></ul>	. 55
<ul> <li>● 活動 () ちにとしなれる出 ちとうのうと、ちぶくとと(木) (3 の)</li> <li>漢字源を使う</li> <li>● 漢字や熟語の読みを入力して、意味を検索します</li> <li>● 新語を表示します</li> </ul>	55 55 56
<ul> <li>● 活気 ()) ちにとしなれる出 ちとりのうと、ちえくとしべんしな /</li></ul>	55 55 56 57 58
<ul> <li>● 浅字 源を使う</li> <li>● 漢字 や熟語の読みを入力して、意味を検索します</li> <li>● 音訓読みを入力し、漢字を検索します</li> <li>● 熟語を表示します</li> <li>● 文字を拡大表示します</li> <li>● 漢字の筆順を表示します</li> </ul>	55 55 56 57 58 58
<ul> <li>● 活気 値 ちにとしなれる出 ちとくのらく ちふくとくべら スケ</li></ul>	. 55 . 55 . 56 . 57 . 58 . 58 . 58 . 59
<ul> <li>● 活気 値 5 に 2 はんでも 8 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5</li></ul>	. 55 55 56 57 58 58 58 59 60 61
<ul> <li>● 活動 いった日 めれても あっていって、 うかく と と (人) と は マ (人) と は マ</li> <li></li></ul>	. 55 55 56 57 58 58 58 59 60 61 62
<ul> <li>● おめていていたいのは、 5 20 0 C (人) 0 C (\lambda) 0 C</li></ul>	. 55 55 56 57 58 58 58 59 60 61 62 64
<ul> <li>第36 前 500 500 × 500</li></ul>	. 55 55 56 57 58 58 59 60 61 62 64 64
<ul> <li>● 活気 値 5 に 2 あれで 8 a 5 2 5 0 5 2 5 2 5 2 5 2 5 2 5 2 5 2 5 2</li></ul>	. 55 55 56 57 58 58 59 60 61 62 64 64 65
<ul> <li>第366 (1) 516 日 847 6 88 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5</li></ul>	. 55 55 56 57 58 59 60 61 62 64 64 65 66
<ul> <li>にあいていたしまれではあららんから、もからとしからは、すかいたしはす</li> <li>漢字源を使う</li> <li>●漢字や熟語の読みを入力して、意味を検索します</li> <li>●熟語を表示します</li> <li>●文字を拡大表示します</li> <li>●文字を拡大表示します</li> <li>●部品名を入力し、漢字を検索します</li> <li>●部品名を入力し、漢字を検索します</li> <li>●部目画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●部首画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●部首画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●部首画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●総画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●部首画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●部首画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●部首の数を入力し、漢字を検索します</li> <li>● 御勤の読みを入力し、意味を調べます</li> <li>●使用シーンから調べます</li> <li>●使用シーンから調べます</li> <li>● 使用シーンから調べます</li> <li>● 使用シーンから調べます</li> <li>● 「</li> <li>●語句を入力し、その語句から始まる故事・ことわざを検索します</li> </ul>	55 55 56 57 58 58 59 60 61 62 64 65 66 66
<ul> <li>● 浩敏 (1) ちにしばれても出 りというしく ちょく とんべら は ケ (1) かいし は (1) かいし (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2</li></ul>	55 55 56 57 58 59 60 61 62 64 64 65 66 66
<ul> <li>高敏 は ちにしばれても出 ちとんからく ちょう とんべら は ケーパー・</li> <li>漢字源を使う</li> <li>●漢字や熟語の読みを入力して、意味を検索します</li> <li>●熟語を表示します</li> <li>●文字を拡大表示します</li> <li>●部品名を入力し、漢字を検索します</li> <li>●部品名を入力し、漢字を検索します</li> <li>●部品名を入力し、漢字を検索します</li> <li>●部首画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●総画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●総画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●総画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●総画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●総画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●部首画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●総画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●部首画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●総画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●総画数を入力し、文字を検索します</li> <li>●世界史の用語を入力し、その年代や内容を検索します</li> </ul>	55 55 56 57 58 59 60 61 62 64 65 66 68 68 68
<ul> <li>には、いちにはいれる出サビババン、およびどに休びはサニー</li> <li>漢字源を使う</li> <li>●漢字や熟語の読みを入力して、意味を検索します</li> <li>●熟語を表示します</li> <li>●文字を拡大表示します</li> <li>●漢字の筆順を表示します</li> <li>●部品名を入力し、漢字を検索します</li> <li>●部品名を入力し、漢字を検索します</li> <li>●部首画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●総画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●総画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●総画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●総画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●総画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●部首画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●総画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●部首画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●部首の数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●世界史の用語を入力し、その年代や内容を検索します</li> <li>日本史事典を使う</li> </ul>	55 55 56 57 58 59 60 61 62 64 64 66 66 68 68 69
<ul> <li>● おめ いったしめれる ひらんの くうからく ちから とんから な う かい しん ひん マーシーン から こうかう と く かん ひん ひん</li></ul>	55 55 56 57 58 59 63 61 62 64 64 64 66 66 68 68 69 69 69
<ul> <li>にあずしがらにしばれてもおうとうからく、ちょうてとんべきはず、</li> <li>漢字源を使う</li> <li>●漢字や熟語の読みを入力して、意味を検索します</li> <li>●熟語を表示します</li> <li>●文字を拡大表示します</li> <li>●文字を拡大表示します</li> <li>●部品名を入力し、漢字を検索します</li> <li>●部品名を入力し、漢字を検索します</li> <li>●部首画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●部首画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●総画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●総画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●総画数を入力し、漢字を検索します</li> <li>●なりたいがのいのののののののののののののののののののののののののののののののののの</li></ul>	55 55 56 57 58 59 60 61 62 64 66 66 66 68 69 69 70

生物事典を使う	71
●生物学用語を入力し、語句の意味を検索します	71
学習コンテンツに共通する基本の操作	72
●ツリー形式リスト - 項目の選択方法	72
●テスト結果グラフ表示	74
<ul> <li>●テェックホックス</li> <li>●学習設定の方法</li> </ul>	75 76
<ul> <li>う 自成足の方法</li> <li>ロイヤル苗立法を使う</li> </ul>	
<ul> <li>■キーワードを入力」、日次から検索します</li> </ul>	79
<ul> <li>●入力した英単語を含む例文を調べます</li> </ul>	80
●目次一覧から調べます	81
●会話慣用表現を調べます	82
ロイヤル英文法問題集を使う	83
英単語・英熟語ターゲットを使う	85
●英単語を入力し、単語の意味を検索します	85
●英単語の意味と例文を学習します	86
● 早語をナストします	88
央単語ダーケットティクテーンヨンを使う	90
	90
<ul> <li>         ・</li></ul>	93
	93
央快 PdSS 早熟語 (3 赦・华 2 赦) を (2 が) を (2 が) を (2 が) を (3 が・4 2 が) を (3 が・4 2 が) を (4 m) e (	95
●英単語を入力し、単語の意味を快楽します	95 96
センター試験リスニング対策を使う	97
●リスニング対策トレーニングを行う	97
●リスニング模試を行う	99
古文単語・熟語ターゲットを使う	102
●単語の読みを入力し、語義を検索します	. 102
●古又単語・熟語を字習します	. 103
(実)学ターケット 1/00・	101
実検ノナトリル(3級、準2級、2級)を使つ	104
●問題を解さなから漢字を字習します	. 104
世界史・日本史年代暗記ターケットを使つ	106
●牛号を人刀し、牛号から検察します	105
<ul> <li>● 毎日 どくりじ、 部日から快楽じな ず</li></ul>	. 108
●重要年代について学習します	109
公式集を使う	110
●数学公式集と物理公式集を学習します	. 110
●無機化学のキーワードと有機化学のキーワードを学習します	. 112

複数辞書検索機能を使う	113
●日本語の読みを入力し、語義や漢字、英訳などを同時に検索します ●英単語を入力し、英文での意味表示、和訳、	113
略語などを同時に検察します	115
テイクンヨナリーリンク機能を使う	110
●ティクショナリーリンクを使う(シャンノします	
マルテンヤノノ検能を使う	117
● 指定した研究(シャンシしなり	. 119
関連語句を調べる	121
●慣用連語、複合語、成句、句動詞を表示します	121
単語帳を使う	124
●覚えたい語句を単語帳に登録します	124
<ul> <li>●単語帳を沿用しより</li> <li>・登録した単語を分類します</li> </ul>	125
·リスト画面で表示する単語帳を選択します	. 126
・マーカー機能を使います	. 127
· オプションメニューからアンダーラインを消します	120
●単語帳の設定をします	. 130
●甲語帳のテータを削除します	132
スヘルナエック機能を使つ	134
ワイルドカードサーチ機能を使う	135
	137
●履歴を削除します	138
フックマーク機能を使つ	140
	1/12
	142
竹塚 セノター試験リスーノク対象イフスト	155
	159
各者作物と者作権者など	212
電池を交換するには	215
電池の取り扱い上の注意	217
家庭用電源を使うには	218
キーを押しても動作しないときは	220
ローマ字/かな対応表	221
おもな仕様	224
保証書/保証規定	226

# はじめてご使用になる前に

### 準備[1] 付属の乾電池を入れます

付属の単4形乾電池2本を215ページの「電池を交換するには」に 従って入れてください。

#### 準備[2] リセット操作をします

 裏面のリセットスイッチを押してく ださい(リセットスイッチについて 220ページ参照)。



- ② 図のように開閉ボタンを押しなが ら、上のカバーを開きます。
- ③ 表示画面が見やすいように、ディス プレイの角度を調節してください。
- ② 次に表示画面の濃度を調整してくだ さい。
  - ■本体右側の濃度調整ダイヤルを回して、 見やすい濃度に調整してください。 (ダイヤルを手前に回すと薄く、反対側 に回すと濃くなります。)





⑤ 画面に「タッチスクリーンの補正 × を スタイラスでタップしてください」の メッセージが表示されます。スタイラ スで画面に表示されている4つの × を タップ(スタイラスで画面に軽く触れ る)すると、× が画面から消えます。 画面に「システムを初期化しますか?」 のメッセージが表示されます。



- ⑥ 本機をはじめてご使用になる場合は、
   「はい」をスタイラスでタップして初期
   化してください。
  - ■しばらくするとメニュー画面が表示され、 使用可能となります。
  - ■「はい」を反転表示させた状態で \*\*\*\* を押し ても初期化できます。



●別売のACアダプター(AD15/AD20)を使用する場合は、「家庭用電源を使うには」(1) 218ページ)をご参照ください。







英英 - 英英キー

電源がOFFの時に押すとONになり、英英辞典の検索 画面が表示されます。また他の辞典から英英辞典の 検索画面に移ることができます。

#### 古語キー 古語

電源がOFFの時に押すとONになり、古語辞典の検索画面 が表示されます。また他の辞典から古語辞典の検索画面 に移ることができます。

電源がOFFの時に押すとONになり、漢字源 の検索画面が表示されます。また他の辞典か ら漢字源の検索画面に移ることができます。

#### 単語帳キー

電源がOFEの時に押すとONになり、単語帳の リスト画面が表示されます。また他の辞典から 単語帳のリスト画面に移ることができます。

基本の操作

#### 操作[1] 電源を入れる

ON/OF

を押すと電源が入り、前回電源を切った状態の画面が表示されます (レジューム機能)。

また、 K=1- 戦戦線 大辞林 東和和東 英英 古語 漢字源 単語帳 を押しても電源が入り、 各辞典・モードの初期画面が表示されます。

#### 操作[2] 電源を切る

電源が入っている時に 🧧 を押すと電源が切れます。

●電池の消耗を防ぐために、電源を入れたままキー操作を行わないと自動的に電源が切れるようになっています(オートパワーオフ)。 電源が切れるまでの時間は、設定することができます。 (オートパワーオフ (27ページ参照)

#### 操作「3]カーソルの移動とメニューの選択

● カーソルを使ってメニューを選択する場合

- ① メニュー画面を表示させ、 人 🏊 を 押してカーソルを上下に移動させて、 画面上のメニューを選択します。黒く 反転した辞典・モードが選択されたメ ニューです。
  - 右の画面では、和英辞典が選択され ています。
  - メニューは全部で5画面あります。 🕍 / 🚛 🛡 で前後のメニュー画面 を表示することができます。 (画面のスクロール (3 15ページ参照)
- ② 🛲 を押すと、選択した辞典の検索画 面が表示されます。



3/5 t

**m**)

....

メニュー 《辞典コンテンツ1》

複数辞書検索

一 一 一 用 史 事 典

日本史事曲

和歌 俳句検索

四字熟語 故事ことわざ

6

C. 牛物事典 õ



● 付属のスタイラスを使ってメニューを選択する場合

メニュー画面上の辞典・モードをスタ イラスでタップ(軽く触れる)する と、タップした辞典が選択され検索画 面が表示されます。



#### 操作 [4] 検索する

選択した辞典の検索画面を表示し、
 でカーソルを移動させ入力欄を選択します。
 スタイラスを使って操作する場合は、

選択する入力欄をタップします。

● ここでは和英辞典の検索画面を例に します。



②文字入力キーを使い、調べたい単語や語句を入力します。

(文字入力 🕞 21ページ参照)

文字を入力すると同時に、入力した文字からはじまる単語や語句が候補表 示されます(すぐ出る検索)。

- ③ 
   ⑦ 
   ⑦ 

   ③ 

   <td
  - 候補リスト画面で <sup>™™</sup> / ▲ / を押 すと、前ページまたは次ページの リスト画面が表示されます。



④ ktml を押すと、選択した単語や語句の 本文画面が表示されます。

スタイラスを使う場合は、候補リスト から調べたい単語や語句をタップする と黒く反転表示されますので、選択し た候補をもう1度タップ(ダブルタッ プ)すると本文画面が表示されます。

ジーニアス和英 けんしょう【検証】	t
けんしょう【検証】	Ŧ
verification	)
──────────────────────────────────────	
- BC	
inspection	團
YICW 「a/one'c ol 目で調べること・(注	
的な)検分 実地検証	R
	κÃ
inspect	0
120…を詳しく調べる 、	L.

#### 操作 [5] 画面のスクロール

本文画面上に表示される AV は画面に表示しきれない内容があることを示

します。前後の内容を見るには、以下の方 法で画面を送ります。

(画面上の表示アイコンについて 12 24ページ参照)







#### 前後の見出し語に移動する場合

本文画面で (\*\*\*) を押すと、辞典収録 語順に次の見出し語の本文画面を表 示します。 \*\*\*\* を押すと、1つ前の見 出し語の本文画面を表示します。

スタイラスを使う場合は、画面右上 に表示されている **↑** ◆ をタップする と、前後の見出し語の本文画面を表 示することができます。



●検索画面で見出し語リストを表示させた場合と、本文画面から前見出し語、次見出し語を表示させた場合では、見出し語の順番が異なる場合があります。

#### 操作[6]例文・解説の表示

本文画面上に (例文) 解説) EXAMPLE) が 表示されている場合は、 を押すと例 文または解説を表示させることができま す。再度 を押すと、例文または解説 は非表示になります。

スタイラスを使う場合は、本文画面上の (例文) EXAMPLE または 解説) のアイコン をタップすると、タップした箇所を先頭に 例文・解説が表示されます。再度、アイコ ンをタップすると非表示になります。

ジーニアス和英 けんしょう【検証】	1
けんしょう【検証】	<b>I</b>
verification	
(正式))(法)]立証; 実証, 検証; 確	:::
19月 19日 19日 1月 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日	B
inspection	圆
an on-the-spot inspection	R
VICW 「along'd al 目で調ぶること・(注	
1 [d/blie 5 ] 元(詞へるここ,()ム 的な)検公 実地検証	



ジーニアス和英 けんしょう【検証】		t
例文	^	Ŧ
¶ 実地検証		
an on-the-spot inspection		
view		Ì
[a/one's ~] 見て調べること; (法		阗
的な)検分,実地検証		-
◇検証する		
inspect		
個…を詳しく調べる		_
例文		2
┃ ¶ 状況を検証する		áΑ
inspect the situation		ŝ
verify	v	₽

例文・解説は、英英辞典・英和辞典・和英辞典・語義イメージ辞典・古語 辞典で表示されます。

## 操作[7]候補一覧画面に戻る

本文画面表示中に 🛤 を押すと、候補り

ストー覧画面に戻ります。

スタイラスを使う場合は、画面右下に表示 される 
合をタップすると戻ることができ ます。

ジーニアス和英 けんしょう【検証】	1
けんしょう【検証】	₽
verification	•••
──────────────────────────────────────	
1 BC 1.	
inspection	漢
191 × 3	
[d/UIESで] 兄て調べること,(広 的た)検公 実地検証	R
へ 冷却する 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	
inspect (	0
◎…を詳しく調べる	

ジーニアス和英		<b>†</b>
読み 【けんしょう_	2	i.
けんしょう【肩章】	^	
けんしょう【検証】		
けんしょう【憲章】		
けんしょう【顕彰】		
けんしょう[懸買]		
「ほんじょ?」「蘇島」		
「ほんしょ?」講講(		
リルしょう現象		R
リルしょう「殿シ」		Ä
ドルしょう 深仏		5
「けんしょうえん【腱鞘炎】		<u>ن</u> ـ

#### 操作[8]別の語句を調べる

- ① 検索後、同じ辞典・モードで別の語句 を調べる場合は、本文画面が表示され たまま、文字入力キーを使って語句を 入力します。
- ② 画面が自動的に検索画面に切り替わ
  - り、入力欄に文字が入力されます。



ジーニアス和英	t
読み【りろ	I I
りろせいぜん【理路整然】	
◇りろせいぜんとした【理路整然とした】	
りろん【理論】	
◆りろんか【理論家】	
◆りろんかがく【理論科字】	
◆りろんけいさいがく【埋論経済字】	
◇りろんじょうは【理論上は】	
◇! 今々くき[埋誦!!!ほり! 、	R
◇りつんてざない理論的になり	
▶りつんぶつりかく 理論物理子」	AL
♥りつんりざかく【理論力学】	
	-

#### 操作 [9] 別の辞典・モードに切り替える

検索画面または本文画面表示中に別の辞 典・モードに切り替えたい場合は、 戦戦 大部本 副 英 古 第7 単 世 を押 します。または、メニューを押してメニュー画 面を表示させ、メインメニューから辞典・ モードを選択します。

スタイラスを使う場合は、画面右上の 一 をタップしてメニュー画面を表示させ、辞 典・モードを選択してください。



#### 操作[10]辞典の凡例を見る

各辞典の検索画面上に ⇒ **凡例**の表示がある場合は、表示中の辞典の凡例 (編集方針・記号の解説など)を見ることができます。

- ⑦ マカーソルを移動させ、⇒ 凡例を 選択すると黒く反転表示します。
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※
   ※<
- ② 表示されたリストから項目を選んで を押すと、選択した項目の凡例画 面が表示されます。



ジーニアス和英ー凡例	<b>1</b>
この辞典の使い方	↓
<u>I この辞典のしくみ</u>	
Ⅲ 英語史見出し	
□ ユア解説	
LE 用例	
英語出見出しぐの記述	
関係であっていた。	
无百己亏衣	R
今   刀打哈踏衣   おもた文刑の一覧	10
のひょ人至り 見	5





文字入力には、『ローマ字入力』と『かな入力』の2つの方式があります。 (入力方式 ☞ 27ページ参照)

[例題] 大辞林辞典の入力画面を使って「だちょう」を入 力してみます

▲ を押して、大辞林の検索画面を表示させます。

スーパー大辞林	t
<u>読み(</u> )	₽
逆引き(	
慣用句【 】 】	
略語 [ ]	
➡儿例	
スーパー大辞林 逆引きスーパー大辞林	P
三省堂	ăА
② ● ● キーで検索方法を選びます	n
調べたい語句を入力してください	ଡ଼

2 読みを入力します。

『ローマ字入力』のとき

(ローマ字/かな対応表 💽 221ページ参照)

『かな入力』のとき



同じ行の文字を続けて入力する場合は、
 と押して入力カーソルを次の入力位置に移動させてください。
 (同じ行の文字が続くときの入力 (2) 22ページ参照)
 (文字の訂正について (2) 23ページ参照)



ローマ字入力のポイント 小文字(あいうえおつゃゆょわ)の入力 (X)を押した後、小文字の読みを入力します。 [例]  $(\mathbf{X})(\mathbf{Y})(\mathbf{A}) \Rightarrow \lceil \psi \rfloor$ ただし、促音(っ)を入力するときは、次にくる子音を続けて押しても入力 できます。 [例] (Y) (A) (T) (T) (O)  $\Rightarrow$  「やっと」 また、拗音(ゃゅょ)を入力するときには、直前の文字との組み合わせで入 カすることもできます。 [例]  $(S)(I)(R)(Y)(O)(U) \Rightarrow [しりょう]$ 「ん」の入力: (N)を2回続けて押します。  $(\mathbf{H})(\mathbf{A})(\mathbf{N})(\mathbf{N})(\mathbf{I}) \Rightarrow [\mathsf{th}(\mathsf{h})]$ 「例] その他注意を要する入力  $(\mathbf{Z})(\mathbf{I}) \quad (\mathbf{J})(\mathbf{I}) \Rightarrow \lceil \mathcal{U} \rfloor \quad (\mathbf{Z})(\mathbf{U}) \Rightarrow \lceil \vec{\sigma} \rfloor \quad (\mathbf{F})(\mathbf{A}) \Rightarrow \lceil \vec{\omega} \cdot \boldsymbol{\sigma} \rfloor$ (D) (1) ⇒ 「ぢ」  $(\mathbf{D})(\mathbf{U}) \Rightarrow [ \forall ] \qquad (\mathbf{V})(\mathbf{A}) \Rightarrow [ \forall "b"]$ かな入力のポイント 大文字と小文字(あいうえおつゃゆょわ)の入力 該当する文字行に当たるキーを押すと、はじめにその行の大文字が入力で き、次に小文字が入力できます。  $\underbrace{ \mathbf{O}}_{\mathbf{a}} \underbrace{ \mathbf{O}}_{\mathbf$ 「例] 濁音の入力: ( と組み合わせて入力します。  $(\mathbf{W})^{m} \stackrel{\mathrm{L}}{\longrightarrow} \Rightarrow \lceil m \rceil$ [例] 半濁音の入力: 🥰 と組み合わせて入力します。  $(\mathbf{Y}) \stackrel{\text{Li}}{\longleftrightarrow} \Rightarrow [\texttt{Li}]$ [例] 同じ行の文字が続くときの入力 例えば、「かき」のように同じ行の文字が続くときは、はじめの文字を入力 (W) (▶) (Ŵ) (Ŵ) ⇒ 「かき」 [例] ★入力カーソルは、文字入力後、約2秒で次の入力位置に移動します。



検索したい文字を間違えて入力した時は、直したい文字だけを選んで訂正 することができます。

[例題] 英和辞典の入力画面で、「aplle」を「apple」に訂 正します

文字入力キーを使って英単語を入力し ます(ここでは「aplle」と入力しま す)。

(文字入力について 1221ページ参照)

ジーニアス英和		1
スペル Caplle_	1	Ŧ
aplomb	^	m
Á-plùs		
APO		
apo-		
Apoc.		
apocalypse		
[apocalypse] apocalyptic, tical		
[apocalypse] apocalyptically		
apocope		5
apocrypha		àĤ
apocryphal		n
apodosis	v	₽

#### 文字を削除する場合

④ / ③で削除したい文字にカーソルを移動させます。(ここでは2つめの「」を削除します。)
 ■■キーを押すとカーソル上の文字だけが削除されます。



#### 文字を挿入する場合

<●/●で文字を挿入したい位置にカーソルを移動	ジーニアス英和
させます。挿入したい文字を入力します。	スペル aple
(「p」「I」の間に「p」を挿入する場合はカーソ	aplenty
ルを「I」に移動させ、文字入力キーを使って「p」	aplomb
を入力します。)	A_plus
	APO
	apo-



キーを押す代わりに、画面上に表示されるアイコンを付属の スタイラスでタップして操作することができます。



参照)

- ☆▲ 画面に表示される文字サイズの切り替えができます。 (文字サイズ切替 ☞ 28ページ参照)
- ▶ 表示されている1つ前の画面に戻ります。
- ← 選択、各種機能の実行など、 🕬 と同じ働きをします。



し語の例文や解説を表示することができ

ます。

(例文・解説の表示 🕞 17ページ参照)

入力方式や表示メッセージなど、本機の各種機能の設定を切 り替えることができます。

各種機能の設定

▲ を押し電源を入れ → + - を押す と、メニュー画面が表示されます。

- 2 C C カーソルを移動させ、環境設定を選択します。 \*\*\*\*を押すと、設定 面面が表示されます。
  - 環境設定はメニュー画面の5画面目にあります。
  - ◆ 
     ◇ でカーソルを移動させ項目を選択した
     後、設定/切り替えを行ってください。



● メニュー画面に戻る場合は、設定終了を選択して ★★★★ を押すか (₹3) を押してください。 すべての設定は選択すると同時に切り替わります。

### Change message (表示メッセージ切替)

 画面に表示されるメッセージを日本語/英語に 切り替えることができます。 (初期設定は「Japanese」です。)
 ● 右の画面は「English」を選択した場合です。
 ◇ ^ ③ ~ 面面上の「Change message」を選択 してください。 ④ / ③ でメッセージ言語を選 択します。選択すると同時に表示メッセージが 切り替わります。

Setup ▶Change message:	Ja	panes	se		Engl	ish	<b>↑</b>
Change input method:	Alphabet		Kana		I		
Key tone:	0n				Off		
Auto power off:	1	8	5	7	10	Min	
Touch screen calibratio	n						
Complete setup							
'Q' Select message language Use [ⓒ ⊙]keys to change					t 5		

# 入力方式

文字の入力の際の入力方式を切り替えることが できます。 (初期設定は「ローマ字入力」です)

●/▲で画面上の「入力方式」を選択してください。 ④/ ●で入力方式を選択します。

環境設定 ◎	67		-		En el	a h	1
unange message.	Ja	eanes	2		CURT	isn 2 i	
人力方式:		-7:	<u>7</u> 7.	л	かな	<u>, Л</u>	
キー入力音:	あ	9			なし		
オートパワーオフ時間:	1	3	5	7	10	分	
タッチスクリーンの補正							
設定終了							
(): 1 わち注ん過空します	-						K
<ul> <li>「のの]キーで変更し</li> </ul>	71	<i>*</i> °-3*	LA .				-

キー入力音

ピッというキー入力音の有無を設定することが できます。 (初期設定は入力音「なし」です)	<del>満境設定</del> Change message: 入力方式: ▶ キー入力音:	Japanese ローマ字入力 あり	English かな入力 証 なし	
●/●で画面上の「キー入力音」を選択してください。  (●) / ●) でキー入力音の有無を選択します。	オートパワーオフ時間: タッチスクリーンの補正 設定終了 20: キー操作音の有無を認 〔② ③]キーで変更し:	1 8 5 7 定します てください	10 分	ſ

# オートパワーオフ

本機は電池の消耗を防ぐため、電源を入れたま まキー操作を行わないと自動的に電源が切れる ようになっています。ここでは電源が切れるま での時間を設定することができます。(初期設 定は「3分」です)

● / ●で画面上の「オートパワーオフ」を選択してください。 ● / ● で電源が切れるまでの時間を1、3、5、7、10分の中から選択します。





#### 文字サイズ切替

画面に表示される文字のサイズを「標準」サイズ(16 dot)/「縮小」サイズ(12 dot) /「拡大」サイズ (24 dot) に切替えることができます。(初期設定は「標 準」サイズです)

- ●全ての辞書機能で使えます。見出し語一覧画面、または本文表示画面でなる 押すと、「標準」サイズから「拡大」/「縮小」サイズに切替わります。
- ●再度 続 を押すと、もとのサイズに戻ります。(24 dotの場合は1回押すと12 dot、2回押すと16 dotに戻ります)
- ●スタイラスを使う場合は画面上のアイコン 🏠 をタップしてください。
- ※ 大辞林、古語辞典、世界史事典、日本史事典、和歌・俳句検索、人名検索の 本文画面のみ、24 dotに切替えることができます。
- ※ ロイヤル英文法ー問題集・英単語ターゲット1900 BRUSH-UP・英単語ター ゲット1900ディクテーション・英熟語ターゲット1000 BRUSH-UP・漢検 プチドリル(3級・準2級・2級)・古文ターゲット・漢字ターゲット・英検 Pass単熟語(3級・準2級・2級)・公式集・センター試験リスニング対策は 12 dotフォント固定です。



語句の意味を調べるだけではなく、慣用句やことわざを検索するこ ともできます。

### 日本語の読みを入力し、語義を検索します

「例題] 「綺羅(きら)」の語義を調べます

\*## を押して大辞林の検索画面を表示 させます。



2 読み入力欄に文字入力キーを使って読 みを入力します(ここでは「きら」を 入力します)。

> 画面に入力文字に該当する語句が五十 音順に表示されます。

(文字入力について (21ページ参照)

● 収録されていない語句を入力した場合は、その語 句に一番近いものから五十音順に表示されます。

スーパー大辞林	
読み【きら」	↓
^ きら(〈浮垢〉)^	m
きら【〈雲母〉】	
きら【棋羅】 <sup>-</sup>	_
きら【*綺羅】	
きら【吉良】	
きら【吉良】 _	
キラー[killer]	
キラーアブリケーション <u>[killer</u> applica▷	
キラーえいせい【キラー衛星】	
キラーこうぼ(キラー酵母)	ΑĤ
キラーコンテンツ[killer_contents]	n
キラーさいぼう[キラー細胞] ・	,⊷,

3 マノーンルを移動させ、調べたい語句を選択します(ここでは「きら【綺羅】」を選択します)。
次に (▼・★\*\*) を押して、本文画面を表示させます。



## 語句を入力し、その語句を含む慣用句やことわざ を検索します

[例題] 「ねこ(猫)」を含む慣用句やことわざを調べます

▶ ★ # を押して大辞林の検索画面を表示 させます。 ▼ でカーソルを慣用句入 力欄に移動させます。



2 文字入力キーを使って読みを入力します(ここでは「ねこ」を入力します)。画面に入力文字を含む慣用句やことわざが候補表示されます。

●動詞を入力する場合は、終止形で入力してください(例:借りて⇒借りる)。

●該当する慣用句がない場合は、"一致する慣用句がありません"というメッセージが表示されます。



30

- 3 3 で語句を結んで入力します(ここでは「&ねずみ」を入力します)。
  - 複数の語句を「&」で結んで入力すると、入力した語句をすべて含む慣用句やことわざを検索することができます。(慣用句検索では (2) を押すと「&」が入力されます。)
  - ●「&」は慣用句検索でのみ入力できます。その他の大辞林検索では入力できません。
  - ●該当する慣用句がない場合は、"一致する慣用句が ありません"というメッセージが表示されます。



<u>ス</u> 鳴くよい	パー大辞林 猫(ねこ)は くしゃべる ことのたと	<u>鳴(猫(ねこ)</u> :鼠(ねずみ 者はかえっ え。	は鼠(ねずみ)を) )を捕(と)らぬ って実行をした	
				t 5 % J

### 語句の語尾につく文字を入力し、逆引き検索をします

[例題]「あし」を入力して、「あまあし【雨脚・雨足】」 を検索します

▶###を押して大辞林の検索画面を表示 させます。 ○でカーソルを逆引き入力 欄に移動させます。



2 文字入力キーを使って読みを入力しま す(ここでは「あし」と入力しま す)。

> 語尾に入力文字がつく語句が五十音順 に候補表示されます。

● 収録されていない語句を入力した場合は、「見出し語にありません」というメッセージが表示されます。



- 3 
   ◆ でカーソルを移動させ、調べたい語句を選択します(ここでは「あまあし【雨脚・雨足】」を選択します)。次に <sup>(R→K)</sup>を押して、本文画面を表示させます。
  - ●読み入力欄からでもアスタリスクを使って逆引き 検索をすることができます(ワイルドカードサー チ機能を使う C● 135ページ参照)

スーパー大辞林。あまあし(雨脚・雨足)	
あまあし回【雨脚・雨足】	1
[「雨脚(うきやく)」の訓読み]	Ē
①雨の通じ過ぎてゆくさま、「ーが速	
	(inc)
②節のように見える降りそそぐ雨、「激	ŝ
	142
	R
	Ă
	$\mathbf{n}$
	1
	-

32

#### 略語を入力し、正式名称とその意味を検索します

[例題] 「bcc」の正式名称を調べます

▶ を押し大辞林の検索画面を表示させます。 <> でカーソルを略語入力欄に移動させます。



- 2 文字入力キーを使って略語を入力します(ここでは「bcc」と入力します)。 画面に入力文字に該当する略語が候補 表示されます。
  - 収録されていない単語を入力した場合は、その単 語に一番近いものからアルファベット順に表示さ れます。
- 3 ↓ ↑ でカーソルを移動させ、調べたい略語を選択します(ここでは「bcc [blind carbon copy]」を選択します)。 次に www、を押して、本文画面を表示させます。

スーパー大辞林	
略語 (bcc	ļ.
bcc[blind_carbon_copy]	۳.
BCD[binary-coded decimal notion]	::::
B.C.G.[(フランス)Bacille de Calmette ▷	
BCL[broadcasting listeners]	
BUNEBarcelona	
BURLbar code reader]	
BUS 理論[BUS theory]	
BD[BIu-ray Disc]	
BDILeoble a Kebupiic of Baugladesul	10
BUFLDIO GIESEI TUELJ	ÀH.
BUILKEPUDIC OF BUFUNDI	
I Del Del Allini	/+-





### 英単語を入力し、和訳を検索します

[例題] 英単語「head」を入力して、和訳を調べます

を押して英和辞典の検索画面を表示させます。



- 2 スペル入力欄に文字入力キーを使って 英単語を入力します(ここでは 「head」を入力します)。画面に入力 文字に該当する単語がアルファベット 順に候補表示されます。
  - 収録されていない単語を入力した場合は、その単 語に一番近いものからアルファペット順に表示さ れます。



- 3 / でカーソルを移動させ、調べたい英単語を選択します(ここでは「head」を選択します)。
  次に \*\*\* を押して、本文画面を表示させます。

(関連語句を調べる 🕞 121ページ参照)

●本文画面上に 例文》または 解説》がある場合は、例文・解説を表示させることができます。 (例文・解説の表示 C● 17ページ参照)

	كشاف	
<b>*head</b> /héd/�€		1
┃ ☆ 醫☆成句→ 鬪→ ⑱→ ⑱→ 尙→ 成1	句▲分離	)
複合語		
-🗃 (@~s/hedz/) [C]		EE
1 頭, 首 <u>《◆首(neck)から上の</u> 語	部分をさ	Ē
<u>す;</u> ▲圓黝巛外来形容詞ceph	nalic»	-
例文》		
<u>M¥ER</u>		2
	<pre></pre>	¥.
2 頭脳, 埋住, 分別(intellect);	し…(こ対	8
する」(実際的)才能しfor」		ÅĤ
	= -== ().	n
3 L囲例the ~] (部局などの)]	長,頭(か ∨	-

(5)133 🔺

、ツーニマフ 苗 和 bead
### 見出し語の発音を確認します

英和辞典には重要単語約14,000語の発音が収録されています。 本文画面上に (): が表示されている場合は、見出し語の発音を確認することができます。

[例題]「subordinate」の本文画面で発音を確認します

- 英和辞典で「subordinate」の本文画面 を表示させます。発音記号の後に
  - 品詞によって発音が異なるなど、同じ単語で複数の発音が収録されている場合には (): が収録されている場合には (): が収録されている発音の数だけ表示されます。1つ目の
     はた頭に表示されている発音記号、2つ目の
     は2番目に表示されている発音記号の発音を示します。



- 2 (注意)を押すと、見出し語が発音されます。
  - 複数の発音が収録されている場合は、収録順に連続して発音されます。
  - スタイラスを使う場合は、画面右の (): をタッ プしてください。



### ジャンプキーを使って発音を確認する場合

英和辞典「subordinate」の本文画面 で 💮 を押すと見出し語が黒く反転し ます。





- 複数の発音が収録されている場合は、選択した
   が示す発音のみ発音されます。
- スタイラスを使う場合は、本文中の ()- をダブ ルタップしてください。



### 発音を録音し聞き比べます

見出し語の発音が収録されている場合は、自分の発音を録音して収 録されている模範発音と聞き比べることができます。

[例題] [subordinate] の発音を録音し、模範発音と聞き 比べます

- 英和辞典「subordinate」の本文画面 表示中に、画面右の 🛱 をスタイラスで タップします。
  - スタイラスでの操作のみとなります。キー操作は できません。
- 画面に"発音を選択してください"と いうメッセージが表示されます。発音 を選択し、 \*\*\*\* を押します (ここでは 「発音1|を選択します)。
  - 複数の発音が収録されている場合にメッセージ が表示されます。収録されている発音が1つだけ の場合には表示されず、3の操作に移ります。
  - "発音中"のメッセージ表示ととも に、模範発音が流れます。続いて"録 音中"のメッセージ表示に切り替わり 録音が開始されますので、模範発音に ならって発音します。約1分間で自動 的に録音が終了されます。
    - ●録音が終わったら(№\*\*\*)で録音を終了することも できます。
    - 途中で録音を中止する場合には 🛤 を押してください。録音がキャンセルされ、本文表示画 面に戻ります。



沿:[訳・決定]で録音終了します

3 […に]従属する[to];追従的な(((正

4 (文法)従属[従位]の(↔coordinate)

[戻る]でキャンセルします

式))subservient) 例文》

アス英和 subordinate

sub∙or∙di∙nate

t

t

....) ...

Ō

Ŕ κĀ

2

4 録音が終了すると、"発音比較中"の メッセージ表示とともに、自動的に録 音の再生が行われます。まず、模範発 音が再生され、その後に録音した自分 の発音が再生されます。

ジーニアス英和 subordinate	t
<sup>t</sup> sub•or•di•nate /∰≅səbó:(r)dənət;∭-dənèit/@⊱@⊱ ∰@(@Fr@o)	<b>↓</b> Ⅲ
1 副次[補助]的な,[…に]付随する[to]	Ē
発音比較中	Ţ
3 […に]従属する[to];追従的な(((正 式))subservient)	
4 『文法』従属[従位]の(↔coordinate) 例文》 v	t 5 E

発音の比較が終わると、"音声比較を 続けますか?"のメッセージが表示されます。もう1度、聞き比べたい場合には「はい」を選択して を押します。

「いいえ」を選択して \*\*\*\* を押すと、 音声比較は終了し本文表示画面に戻り ます。



- ●録音した音声は、音声比較を終了するとともに消去されます。保存することはできません。
- 発音再生中、および録音中に (発音) を押しても発音は繰り返されません。また、画面をタッ プしても操作は実行されません。

### 入力した英単語を含む成句を検索し和訳を調べます

英語の成句(熟語)を調べたい時は、複数の英単語を (き) で結びな がら入力すると候補を絞り込んで検索することができます。

[例題]「take」と「care」を使った成句を調べます

■ を押し英和辞典の検索画面を表示 させます。 つかーソルを成句検索 に移動させます。



2 文字入力キーを使って単語を入力します(ここでは「take」 (※)「care」と入力します)。画面に入力した単語をすべて含む成句(熟語)が候補表示されます。



- 複数の単語を入力する場合は、単語の後に(2)を 押して「&」を入力してから次の単語を入力して
  - <ださい。入力した単語をすべて含む成句が表示されます。(成句検索では 🚵 を押すと 「&」が入力されます。)
- ●「&」は成句検索では入力できますが、英和スペル入力検索では入力できません。
- 該当する成句がない場合は「一致する成句がありません」というメッセージが表示されます。

3 ○ ▲ でカーソルを移動させ、調べたい成句を選択します(ここでは「take care of O」を選択します)。
 次に ☞ を押して、成句の本文画面を表示させます。
 ●本文画面上に (M文) または 解認》がある場合

● 本文画面上に <u>例文</u>) または <u>解説</u>) がある場合 は、例文・解説を表示させることができます。 (例文・解説の表示() 17ページ参照)



## 入力した英単語を含む例文とその和訳を検索します

[例題] 英単語「make」を入力し、例文と和訳を調べます

英和辞典の検索画面を表示させ、 でカーソルを例文検索に移動させま す。



2 文字入力キーを使って英単語を入力します (ここでは「make」を入力します)。

> 画面に入力単語を含む例文がデータ上 で検索ヒットした順に候補表示されま す。

- 収録されていない単語を入力した場合は、"一致 する例文がありません。検索条件を変えるかさら に条件を入力してください"のメッセージが表示 されます。
- 3 → でカーソルを移動させ、調べたい例文を選択します(ここでは「make an ~【accusation】against him」を選択します)。

次に \*\*\*\* を押して、例文の和訳を表示 させます。

● 
● 
● を押し「&」で複数の単語を結んで入力すると、候補を絞り込んで検索することができます。

「ジーニアス英和」	t
例文検索(make)	ļ
make an ∼ (abortive) attempt to do ▷	m
make an ∼ [abstract] of a long artic⊳	
Short ~s [account] make long friends.	
take [make] no ~ [account] of him ▷	
bring [lay,make] an ~ [accusation] ▷	
make an ~ [accusation] against him	
make some ~s [acquaintance]	
I am glad to make your ~ [acquainta⊳	
make one's ~ (adieu)	
make ~s [adjustment] to	ΑĤ
make an ~ [admission] of guilt to on⊳	n
IShe couldn't make the ∼ (admission)⊳ √	÷





## 日本語の読みを入力し、英訳を検索します

[例題]「名誉(めいよ)」の英訳を調べます

\*\*\*\*\* を2回押して和英辞典の入力画面 を表示させます。



2 読み入力欄に文字入力キーを使って読みを入力します(ここでは「めいよ」を入力します)。

画面に入力文字に該当する語句が五十 音順に候補表示されます。

(文字入力について 12 21ページ参照)

- 収録されていない単語を入力した場合は、一番近いものから五十音順に表示されます。
- 3 
   Cカーソルを移動させ、調べたい言葉を選択します(ここでは「めいよ【名誉】」を選択します)。
   次に マホーター を押して、本文画面を表示させます。
  - ●和英辞典の本文画面上に7週が表示されている場合は、複合語を表示させることができます。 (関連語句を調べる ○○ 121ページ参照)

t 【めいよ t m ょあ ... �∅ ♦めいよかく ♦めいよか ക じゅう ٠8 【名誉教授 【名誉動章 ◆めいよくんしょ ◆めいよしみんど ĸÃ 市民】 n ふか」



●本文画面上に 例文》または 解説》がある場合は、例文・解説を表示させることができます。 (例文・解説の表示 C● 17ページ参照)

## 入力した英単語を含む例文とその意味を検索します

[例題]「touch」を入力し、例文を調べます

和英辞典の検索画面を表示させ、 でカーソルを例文検索に移動させます。



2 文字入力キーを使って英単語を入力し ます(ここでは「touch」を入力しま す)。

> 画面に入力単語を含む例文がデータ上で 検索ヒットした順に候補表示されます。

●収録されていない単語を入力した場合は、"一致 する例文がありません。検索条件を変えるかさら に条件を入力してください"のメッセージが表示 されます。

> 次に \*\*\*\* を押して、選択した例文とその 和訳を表示させます。

● えを押し「&」で複数の単語を結んで入力すると、候補を絞り込んで検索することができます。

ジーニアス和英	
例文検索(touch)	Į.
touch one's hand to one's head	m
That board is rough to the touch. =>	::::
This towel is harsh to the touch.	
Our problem is how to get in touch ▷	
That board is rough to the touch. =>	
He felt a touch of uneasiness.	
touch a bell	
lack the common touch	
I have a slight [touch of a] cold thi⊳	
a tender touch	ÅĤ
give it a soft touch	n
lMan has tive senses - sight, hearing) 🗸	-

<mark>ジーニアス和英しいちまつ(の)(一抹(の))</mark>	↑
彼は一抹の不安を感じた	↓
He felt a touch of uneasiness.	
	t 5 🕅 🛛



### 英単語を入力し、語義を検索します

[例題] 英単語「moon」を入力し、語義を調べます

■ を押して英英辞典の検索画面を表示させます。



- 2 スペル入力欄に文字入力キーを使って 英単語を入力します(ここでは 「moon」を入力します)。 画面に入力文字に該当する単語がアル ファベット順に候補表示されます。
  - 収録されていない単語を入力した場合は、その単 語に一番近いものからアルファベット順に表示されます。
- 3 
   C → でカーソルを移動させ、調べたい英単語を選択します(ここでは「moon」を選択します)。次に ア・ままを 押して、本文画面を表示させます。
  - 英英辞典の本文画面右上に「□」「□」が表示されている場合は、成句や句動詞を表示させることができます。(関連語句を調べる 121ページ参照)
  - ●本文画面上に <u>EXAMPLE</u>) がある場合は、例文を表示させることができます。 (例文・解説の表示 (▲) 17ページ参照)

オックスフォード英英		<b>1</b>
スペル (moon_	]	Ŧ
moon	^	m
moonbeam		
'moon boot		
moonless		
moonlight		
moonlit		
moonscape		
moonshine		
moonstruck		
Moor		ĂΗ
moor		n
Imoorland, moor	v	لب

オックスフォード英英 moon IIP	
moon /mu:n/	4
noun, verb	m
noun 📕	
1 (usually the moon) (also the	EJ
<b>Moon</b> ) [sing.] the round object	
that moves around the earth once	
every 28 days and shines at night	
by light reflected from the sun:	
EXAMPLE	
2 [sing.] the moon as it appears in	B
the sky at a particular time:	ĂΑ
EXAMPLE	
— see also FULL MOON, HALF-MOON, 🗸	يە ،

## 英単語を入力し、成句(熟語)とその意味を表示 します

英語の成句(熟語)を調べたい時は、複数の英単語を 🔅 で結びな がら入力するだけで候補をしぼり込んで検索することができます。

### [例題] 英単語「hold」「on」を使った成句または句動詞を 調べます

■ を押し英英辞典の検索画面を表示 させます。 ○ でカーソルを成句検索 に移動させます。



- 2 文字入力キーを使って単語を入力します (ここでは「hold」(※)「on」と入力しま す)。画面に入力した単語をすべて含む成句 (熟語)が候補表示されます。
  - 複数の単語を入力する場合は、単語の後に (え) を 押して「&」を入力してから次の単語を入力して ください。入力した単語をすべて含む成句が表示 されます。



- ●「&」は成句検索では入力できますが、英英スペル入力検索では入力できません。
- ●該当する成句がない場合は"一致する成句がありません"というメッセージが表示されます。
- 3 
   C → でカーソルを移動させ、調べたい成句を選択します(ここでは「
   ihold 'on」を選択します)。次に
   w\*\*
   を押して、本文画面を表示させます。
  - 本文画面上に<u>EXAMPLE</u>)がある場合は、例文を 表示させることができます。(例文・解説の表示 CF 17ページ参照)

オックスフォード英英 ihold 'on	t
HRW hold 'on	Ŧ
1 ( <i>spoken</i> ) used to tell sb to wait	m
<u>or stop</u> :	
EXAMPLE	
2 to survive in a difficult or	
dangerous situation:	
EXAMPLES	
3 ( <i>spoken</i> ) used on the telephone to	
ask so to wait until they can talk	R
TVAMPLES	
EAAMPLE3	A T A

# 英単語を入力し、入力した英単語を含む例文を検 索します

[例題] 英単語「home」を入力し、「home」を使った例文 を調べます

を押して英英辞典の検索画面を表示させます。 つカーソルを例文検索に移動させます。



2 文字入力キーを使って英単語を入力します (ここでは「home」を入力します)。

画面に入力した単語を使った例文が、 データ上で検索ヒットした順に候補表 示されます。

オックスフォード英英	
列文検索【home】	1
nomeless people of no fixed abode (=>	m
He was famous, both at home and ab⊳	
She absconded from every children's Þ	
a range of furnishings and accessorie⊳	
accidents in the home	
[V] I was aching for home.	
Actually, I'll be a bit late home.	
is that your home address?	
people of no fixed address (= with n⊳	E
In 'She went home yesterday' and 'H⊳	ă٩
After an hour I went home (= when ▷	n
Afternoons he works at home. 🗸 🗸	ب

- (え)を押し「&」で複数の単語を結んで入力すると、候補を絞り込んで検索することができます。
- ●収録されていない単語を入力した場合は、"一致する例文がありません"というメッセージ が表示されます。
- 3 
   / △ でカーソルを移動させ、調べたい例文を選択します(ここでは「people of no fixed address (=with no permanent home)」を選択します)。次に \*\*\* を押して、例文の全文を表示させます。

オックスフォード英英 address	<b>↑</b>
people of no fixed address (=	<b>↓</b>
with no permanent home)	Ⅲ
	t 5 🕅



英単語の意味に加えて、その原義や原義に基づく語のイメージを調 べることができます。

### 英単語を入力し、和訳と語義イメージを検索します

[例題] 英単語「perfect」の和訳と語義イメージを調べます

メニュー画面から英語語義イメージを 選んで 🛤 を押し、英語語義イメージ 辞典の検索画面を表示させます。

**2** スペル入力欄に文字入力キーを使って 英単語を入力します(ここでは 「perfect」を入力します)。

> 画面に入力した文字に該当する単語がアル ファベット順に候補表示されます。

● 収録されていない単語を入力した場合は、その単 語に一番近いものからアルファペット順に表示さ れます。



語義イメージ	
スペル [perfect_ ]	Ŧ
perfect ^	m
perform	
perfume	
perfunctory	
perhaps	
peril	
period	
perish	
permit	E
perpetual	ĂΑ
perplex	2
persecute v	≁

3 
 ⑦ / ▲ でカーソルを移動させ、調べたい単語を選択します(ここでは
 「perfect」を選択します)。

次に (Mitter を押して、本文画面を表示さ せます。

●本文画面上に (例文) がある場合は、例文を表示させることができます。 (例文・解説の表示 (● 17ページ参照)

「語義イメージ」perfect	1
perfect[pá:rfikt]	1
「完全な;完全にする	
圆 完全に(per) なす(fect)	
【イメージ】 完全にする	EJ
I m completeとperfectの違いを野球用語	Ē
で見てみよう:pitch a complete	
game最後まで投げきる(完投する)/	
pitch a perfect game最後まで投げ	
かつ全打者を凡退させる(完全試合	_
をする)	B
I III perfection完全/perfectly完全に	ĂΆ
閲 factory工場(←作るところ)7	S
─ manufacture製造する(←手を尽くしょ	₊



日本語の読みを入力し、入力した語句を含む会話 例文を検索します

[例題]「でんしゃ(電車)」を入力し、入力した語句を含む 例文を検索します

メニュー画面から英会話とっさのひと こと辞典を選んで \*\*\*\* を押し、英会話 とっさのひとこと辞典の検索画面を表 示させます。



2 読み入力欄に文字入力キーを使って、 日本語の読みを入力します(ここでは 「でんしゃ(電車)」を入力します)。 画面に入力した語句を含む例文が、 データ上で検索ヒットした順に候補表 示されます。 (文字入力について ☞ 21ページ参照)

っさのハトニト辞 【でんしゃ ]i 雷車に乗し遅 m ... は出たばかりだ 電車で行けますよ へはどの電車に乗ればいいでしょ♪ はどの電車が行くのですか? 間で、ほどの電車が新宿にとまりますか? の電車が新宿方向に行きますか? の電車にお乗りなさい しくご色の電車にお乗りなさい áΑ 何分お 煮店 来るのですか。 n 「何本電車は来ますか

● 複数の単語を[&]で結んで入力すると、入力した単語をすべて含む例文を検索することができます。
 ● 該当する例文がない場合は、"一致する語句がありません"というメッセージが表示されます。

- 3 
   「○ でカーソルを移動させ、調べたい例文を選択します (ここでは「新宿へはどの電車に乗ればいいでしょうか。」を選択します)。
   「★ 押して、本文画面を表示させます。
  - ●動詞を入力する場合は、終止形で入力してください。(例:乗れば→乗る)

英会話とったのひとこと辞典 乗りものに乗る 新宿へはどの電車に乗ればいいでしょう か。 Which train should I take to Shinjuku?	_ ↑ ↓ Ⅲ
<ul> <li>◆Which train goes to Shinjuku?(新宿 へはどの電車が行くのですか?)</li> <li>◆Which train stops at Shinjuku?(どの 電車が新宿にとまりますか?)</li> <li>◆Which train is going toward Shinjuku?(どの電車が新宿方向に行き ますか?)</li> </ul>	t 5 % @ % f

### 英単語を入力し、会話例文を検索します

[例題]「fill」を入力して、入力した単語を含む会話例文を検 索します

英会話とっさのひとこと辞典の検索画 面を表示させます。 ↓ でカーソルを 「スペル」に移動させます。



- 2 文字入力キーを使って英単語を入力します(ここでは「fill」を入力します)。 画面に入力した単語を含む例文がデータ上で検索ヒットした順に候補表示されます。
  - 複数の単語を「&」で結んで入力すると、入力した単 語をすべて含む例文を検索することができます。
  - ●該当する例文がない場合は、"一致する例文があ りません"というメッセージが表示されます。

英会話とっさのひとこと辞典	1
<u>スペル (fill)</u>	ļ∔
I don't know how to fill out this fo⊳	m
How do I fill out this form?	
Fill out the form.	
I don't know how to fill out this fo⊳	
How do I fill out this form?	
l'll fill you in.	
Could you tell me how to fill out thi⊳	
How do I fill out this form?	
Lould you fill out this form?	Ľ
Please fill out this form.	ΑĤ
Please fill out a report on the theft.	n
	÷

3 ↓ ↑ でカーソルを移動させ、例文 を選択します(ここでは「Could you fill out this form?」を選択します)。 を押して、本文を表示させます。



### 場面別検索を使って、会話例文を検索します

[例題]「第6章 海外旅行でつかうひとこと」から例文を検 索します

英会話とっさのひとこと辞典の検索画 面を表示させます。 ♥ でカーソルを 「場面別検索」に移動させます。



- 2 を押すと章別のリストが表示されます。 ぐ へ で調べたい章を選択し、 \*\*\*\* を押すと、さらに詳しい項目リストが表示されます。同じように項目を選択し、項目に含まれる例文を表示させます。
  - ●右の画面は、「第6章 海外旅行でつかうひとこと」から「街を歩くとき」を選択し、さらにその中から「道をたずねる」を選んで例文のリストを表示させた画面です。)





### 会話例文の発音を確認します

英会話とっさのひとこと辞典には、例文約3,000件の発音が収録されています。先頭に (#): が表示されている例文の発音を確認することができます(操作方法は英和辞典の場合と同じです)。

本文画面表示中に (mi) 押すか、例文の前 にある (小 または画面右の (小 をタップ) して再生します。

(見出し語の発音を確認します 🕞 35ページ参照)



複数例文の発音が収録されている場合は、 本文画面上の (): をジャンプキーを使って 選択し (): を押すか、スタイラスでそれ ぞれの (): をタップします。画面右の (): をタップした場合は、複数の例文が連続し て再生されます。

(ジャンプキーを使って発音を確認する場合 (ジャンプキーを使って発音を確認する場合)



連続再生

#### 発音を録音し聞き比べます

自分の発音を録音して、収録されている模 範発音と聞き比べることができます。 画面右に表示されている ⑦をタップし、 録音・比較します。 (発音を録音し聞き比べます ☞ 37ページ参照)



### ツリー形式リスト Ξ Ξ について

項目の頭に 王 が表示されている場合は、さらに小分類の項目があることを 示しています。王 が表示されている項目を選択して \*\*\*\* または >> を押 すと、小分類項目のリストを表示することができます。

● または ④ を押すと、小分類項目のリストを表示させる前の状態に戻ります。 ■ が表示されている場合は、その項目にそれ以上表示できる小分類項目がないことを示しています。

スタイラスを使う場合は、項目を直接タップすると小分類項目のリストが 表示されます。同じ項目を再度タップすると、小分類項目のリストを表示 する前の状態に戻ります。



■ を押して古語辞典の検索画面を表示させます。



2 読み入力欄に文字入力キーを使って語句を入力します(ここでは「わぶ」を入力します。

画面に入力文字に該当する語句が五十 音順に候補表示されます。

(文字入力について 1221ページ参照)

- 収録されていない語句を入力した場合は、その語 句に一番近いものから五十音順に表示されます。
- 3 
   Cカーソルを移動させ、調べたい語句を選択します。(ここでは「わぶ【侘ぶ】」を選択します)。
   次に (\*\*\*\*)を押して、本文画面を表示させます。
  - ●本文画面右上に<u>們</u> 図が表示されている場合は、 その見出し語の慣用連語や複合語を表示させることができます。(関連語句を調べる L 121ページ参照)

● 本文画面上に 解認》がある場合は、解説を表示させることができます。 (例文・解説の表示Ⅰ● 17ページ参照)





# 和歌・俳句検索を使う

# 和歌・俳句に含まれる語句を入力し、句意等を検 索します

[例題]「はる」を入力し、調べたい和歌を検索します

メニュー画面から和歌・俳句検索を選 んで \*\*\*\* を押し、和歌・俳句検索の検 索画面を表示させます。



2 読み入力欄に文字入力キーを使って読 みを入力します(ここでは「はる」を 入力します)。

> 「はる」の語句から始まる和歌(百人 一首)・俳句・川柳などが五十音順に 候補表示されます。

和歌俳句	1検索	t
読み	【はる】 】	Ŧ
分類		
はるがす	み…【春霞かすみていにしか▶	
はるがす	み…【春がすみたつを見すて♪	
はるがす	'み…【春霞たなびきにけりひ♪	
はるかぜ	の…【春風の花を散らすと見♪	
はるきて	そ…【	
はるきぬ	と…【	
ほるくれ	は…(養米れば惟(かり)かへ)	
ほうぐど	に…「査」とに化の合かりにや	5
[[달송호였	で…(着雨で良い)はれ残(の)	àΠ
回るすめ	や…(はるこめや暑(く)れな)	2
[ほるさめ	や…【春雨や小礒(こいを)の♪ ↓	┙

3 
 ⑦ / ▲ でカーソルを移動させ、調べたい和歌を選択します(ここでは「はるくれば…」を選択します)。

☞ ● を押して、本文画面を表示させま す。



分類項目を選ぶ場合

文字入力キーを使って読みを入力します(ここでは「はる」を入力します)。
 を押すと分類欄に分類項目がプルダウン表示されます。
 ・でカーソルを移動させて分類項目を選びます(ここでは「和歌(百人一首)」を選びます)。



● 分類項目がプルダウン表示された状態で < √ > を押すと分類項目から読み入力欄にカー ソルを戻すことができます。

2 ● を押すと、「はる」の語句から始 まる百人一首が五十音順に候補表示さ れます。 ● ~ でカーソルを移動させ、調べ たい百人一首を選択し (\*\*\*\* を押して、

本文画面を表示させます。



● 読みを入力し分類項目を選ぶと、候補を絞り込むことができます。

漢字源を使う

音訓読み、部首画数、総画数からの検索はもちろん、漢字を構成する部 品の読みや名前に使われる読みからの検索もでき、本文画面からは筆順 を表示することもできます。

### 漢字や熟語の読みを入力して、意味を検索します

[例題]「かり」を入力し、漢字と意味を調べます

■ を押して漢字源の検索画面を表示 させます。



2 読み入力欄に文字入力キーを使って漢字の読みを入力します(ここでは「かり」を入力します)。

画面に入力文字に該当する親字と入力 文字からはじまる熟語が五十音順に候 補表示されます。

(文字入力について 12 21ページ参照)

3 
 ○ / ○ でカーソルを移動させ、調べたい親字または熟語を選択します(ここでは「【仮】カリ」)を選択します)。次に ○ 次に ○ 次に ○ 本文画面を表示させます。





### 音訓読みを入力し、漢字を検索します

[例題]「すすめる (薦める)」の漢字を読みから調べます

● を押して漢字源の検索画面を表示 させます。 ○ でカーソルを音訓入力欄 に移動させます。



2 文字入力キーを使って読みを入力しま す(ここでは「すすめる」と入力しま す)。

> 画面に入力文字に該当する親字が候補 表示されます。

● 収録されていない読みを入力した場合は、"一致 する親字がありません"というメッセージが表示 されます。

音訓 【すすめる Ŧ 部品読み m 名付け ] 🖽 部首画数 総画数【 】 1 勧 蔍 替 奨 進 奏 侑 勸 擬 嶷 III A 盖 餤 聳 曫 5 読み「すすめる」の漢字が全部で 1画面ある中の1画面目であるこ

とを示しています。

3 
 ◆ / ◆ / ◆ でカーソルを移動
 させ、調べたい漢字を選択します(ここ
 では「薦」を選択します)。次に \*\*\*\*
 を押すと、選択した親字の本文画面が
 表示されます。

漢字源【薦】セン・すすめる・しく・しきりに熟語	
▶/薦	₽
部首 艸部 聡画 16画 闇	
図 1-3306 U 4126 S 9145 U 85A6	) () () () () () () () () () () () () ()
音  セン <b>闘闘</b> (去)霰(jián)	â
(1回)  99:00つ  (音) オオ・ゆる レノ レキロ/マ	F
【息川子 ターのの、して、しきりに 名付付	~
しく、しげ、のぶ	
意味	R
●{動}すすめる(すすむ)。きちんとそ	άĂ
ろえて神前にそなえる。 君賜腥、必熟	n
鷹之-右腟を賜へは、必す熱してこれ。	<b>.</b>

#### 熟語を表示します

本文画面右上に<a>[熟語]</a>が表示されている場合は、表示中の親字を含む熟語を表示させることができます。

本文画面の表示中に ()) を押すと、熟 語が候補表示されます。

●スタイラスを使う場合は、画面右上の[熟語]を直接タップすると熟語が候補表示されます。

漢字源【薦】セン・すすめる・しく・しきりに	t
【薦引】センイン	Ì
【鷹裸】センカン	m
【鷹居】センキョ	::::
【鷹擎】センキョ	
【鷹舞】センシュウ	
【農神】センンン	
「陽席」センセキ	
「廣連」ビンダン	
「馬取」にノハン	R
「廣電」とファイ	A
	0
	÷

2 
 Cカーソルを移動させ、熟語
 を選択して ●\*\*\* を押すと、熟語の読み
 と意味が表示されます(ここでは「薦
 引」を選択します)。

漢字源【薦引】センイン	t
<u>馬51</u> (センイン)	÷
人材をえらんでひきたてること。	
	R
	ÅΑ
	t 5

本文画面の表示中に \*\*\*\* を押すと、 親字が拡大表示されます。 <//>

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 

/ 
</



● 記号や文字コードなどは選択できません。

漢字の筆順を表示します

本文画面表示中に (本) を押すと筆順表 示画面に切り替わり、親字の筆順が表 示されます。

●親字の横に <sup>●</sup> が表示されていない場合は、筆順を表示することはできません。



● 1文字ずつの拡大表示をしている画面からは筆順表示画面に切り替えることはできません。
 ● 筆順表示画面では筆順を表示しますが、画数通りには表示されない場合もあります。

### 部品名を入力し、漢字を検索します

部品とは、漢字を構成している各々の部分を指します。例えば、 「親」という字は「立」「木」「見」のように三つの部品から成り 立っています。

[例題] 「露(つゆ)」を部品名から調べます(「露(つゆ)」 は、「雨」「足」「各」で構成されています)

> 漢字源 読み

音訓

部品読み

⇒月例

名付け【 部首画数【】

(¥\*) を押して漢字源の検索画面を表示 させます。

- 2 
   マカーソルを部品読み入力欄に移動
   させ、漢字の部品名を入力します(こ
   こでは「あめ(雨)」 (2) 「あし(足)」
   (流)「かく(各)」と入力します)。
  - 複数の部品名を入力する場合は → を押してから 次の部品名を続けて入力してください。(部品名 検索では → を押すと「&」が入力されます。)
  - 収録されていない部品名または部品名の組み合わ せを入力した場合は、"一致する親字がありませ ん"というメッセージが表示されます。
- → / → / ↔ / ↓ でカーソルを移動 させ、調べたい漢字を選択します(こ こでは「露」を選択します)。次に \*\*\*\* を押して、親字の本文画面を表示 させます。



総画数【 】

ŧ

1m

...

P

Â



59



[例題] 名付け読み「すすむ」に当たる漢字を調べます

▶ を押して漢字源の検索画面を表示 させます。

でカーソルを名付け入力欄に移動 させます。



2 文字入力キーを使って読みを入力しま す(ここでは「すすむ」を入力しま す)。画面に入力文字に該当する親字が 候補表示されます。

漢字源 音訓 部品読み 名付け 部首画数	【 【 【すすす 【 】	>_	総画数	[]	↓     
● 亀 軍 旨	益亨献収	延享効粛	乾勤貢奨	勧謹皐将	1 2 % (1

○ 
◇ / ◇ / ◇ / ◇ でカーソルを移動 させ、調べたい親字を選択します(こ こでは「亨」を選択します)。次に \*\*\*\* を押して、選択した親字の本文画 面を表示させます。

漢字源(亨ココウ・カウ・キョウ・キャウ・ホン熟語)	_1
鄙∙亨	ŧ
部首 十部 籬画 7画 人	
図 1-2192 UJ 357C IS 8B9C UJ 4EA8	
(平)庫(hēng・héng)	
日キョウ(キャウ)優、コウ(カウ)	
(上)養(xiǎng)	
ロホリ(ハリ)圏、ヒョリ(ヒャリ)圏 (亚)庫(nēng)	
(意)とおる、にる	
名付け	5
あき、あきら、すすむ、ちか、とおる、と	نہ ر

### 部首画数を入力し、漢字を検索します

[例題]「簾(すだれ)」を部首画数から調べます(「簾」の 部首は「竹かんむり」で部首画数は「6」です)

🗱 を押して漢字源の検索画面を表示させます。

2 
 ⑦ でカーソルを部首画数入力欄に移
 動させ、画数を入力します(ここでは
 ⑦ (数字の6)を入力します)。

■6画の部首が候補表示されます。

漢字源 音訓 部品読み【 名付け【 部首画数【	6_]	総	画数【	1	↑ ]↓ ]Ш
	下 米 羽 聿	糸老肉	缶而臣	<u>1/3</u> 网未自	
- 部 部 首 の、	<u>を入力し</u> 候補が 1画面目	<u>てください</u> 「全部て 目である	で3 画で ること;	回あるを示し	ф.,

3 

3 

○/▲/
○/ ○ でカーソルを移動 させ、調べたい部首を選択します(こ こでは「竹」を選択します)。

> 次に 🛤 を押して、「竹かんむり」の 親字を候補表示させます。

●部首を選び直す場合は、 ■■■■ を押してください。

箇     笠     竿     管     節       (1)     笠     竿     管     節       (1)     (1)     (1)     (1)       (1)     (1)     (1)     (1)       (1)     (1)     (1)     (1)       (1)     (1)     (1)     (1)       (1)     (1)     (1)     (1)       (1)     (1)     (1)     (1)       (1)     (1)     (1)     (1)       (1)     (1)     (1)     (1)       (1)     (1)     (1)     (1)       (1)     (1)     (1)     (1)       (1)     (1)     (1)     (1)       (1)     (1)     (1)     (1)       (1)     (1)     (1)     (1)       (1)     (1)     (1)     (1)       (1)     (1)     (1)     (1)       (2)     (1)     (1)     (1)       (2)     (1)     (1)     (1)       (2)     (1)     (1)     (1)       (2)     (1)     (1)     (1)       (2)     (1)     (1)     (1)       (2)     (1)     (1)     (1)       (2)     (1)     (1)     (1)       (2)     (1)	漢字源 音訓 部品読み 名付け 部首画数	【 【 【(竹)】		総画教	r )	↑ ]↓ ] ]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]]
	<b>箇</b> 笈竺節	笠筋篠箭	竿策笑第	管笹笥箪	節 算 籍 築	

竹かんむりの漢字が全部で14画面 ある中の、1画面目であることを 示しています。 4 √ / √ / √ でカーソルを移動 させ、調べたい漢字を選択します (「簾」は親字候補表示画面3画面目 に表示されています)。

<u>漢字</u> 源 音訓 部品読み 名付け 部首画数	【 【 【 【竹】		総画数	[]	 
酈答筭篗	篭笻筯篙	篡筇筲簁	竽 <b>筎</b> 箞簱	<b>笒筠</b> 節簞	<u>3</u> 14 € <b>2</b> 3

3 ℝ\*\*\* を押すと「簾」の親字の本文画面 が表示されます。

漢字源【簿】レン・レム・すだれ 熟語	
廉	ŧ
部首 竹部 総画 19画 図 1-4692 J 4E7C ⑤ 97FA U 7C3E	
∭音))レン(レム) <b>❷❷</b> (平)塩(lián) <u>∭意))</u> すだれ	E
<u>意味</u> {名}すだれ。竹などをあんでつらねた	Ē
<u></u> <u> 解</u> 字	R
会意兼形声。 竹+(音符)廉(レン)(きち   んとそろう)」。竹をそろえてあんだす	Â
だれ。	نهار.

### 総画数を入力し、漢字を検索します



3 
 ◆ へ か でカーソルを移動さ
 せ、調べたい漢字を選択します(「欣」は
 親字候補表示画面4画面目に表示されて
 います)。

漢字源 音訓 部品読み 名付け 部首画数			総画数	[8_]	↑ ]↓ ]Ш
況苦卦弦	尭具径呼	欣空茎固	金屈券姑	狗沓肩股	4 41 ≈4 <b>5 1</b>

4 を押すと、選択した親字の本文画 面が表示されます。

漢字源【凃】『焮』キン・コン・ゴン・よろこぶ[熟語]	
▶/欣 欣	₽
部首 欠部 縦画 8画 人 図 1-2253 円 3655 図 9PD3 冊 6P23	
部首  ↑部  絵画  11画   図  補-3016  Ⅲ  60DF	
(音))キン(創、コン(日、ゴン(日(平))文(欣)	
(xin) ((意))よろこぶ	R
	μÂΑ
<u>「</u> ??9し、よし 魔啸	2
,	~ <del>~</del>

素早い漢字検索

▲ / (● でカーソルを移動させて音訓読み、部品読み、名付け、部首画数、総画数の条件を複数同時に入力することができます。情報が多ければ多いほど検索対象が絞られ、更に効率的に検索することができます。例えば61ページで調べた「簾」の場合、部品読み「けん(兼)」の候補を表示させた後、部首画数「6」を入力し「竹かんむり」を選択すれば、検索結果第1画面に「簾」が表示されます。

# 四字熟語辞典を使う

一般的に使われる四字熟語について意味、用例、類句などを調べる ことができます。

### 四字熟語の読みを入力し、意味を調べます

[例題]「合縁奇縁(あいえんきえん)」の意味を調べます

メニュー画面から四字熟語を選んで (\*\*\*\*) を押し、四字熟語辞典の検索画面 を表示させます。



2 読み入力欄に文字入力キーを使って熟語の読みを入力します(ここでは「あいえんきえん」を入力します)。 画面に入力文字に該当する熟語が五十音順に候補表示されます。

(文字入力について 12 21ページ参照)

● 収録されていない熟語を入力した場合は、その熟語に
 一番近いものから五十音順に表示されます。

> 次に 🛤 を押して、本文画面を表示さ せます。

四字熟語	1
読み 【あいえんきえん_	]↓
あいえんきえん【合縁奇縁】	
あいごせいもく【相碁井目】	
あいべつりく【愛別離苦】	
あいまいもこ(曖昧模糊)	
あおいきといき【青息吐息】	
あくいんあっか[悪凶悪果]	
めくぎゃくひとつ[悪迷非退]	
めくしせんり 悪事士里	R
のくぜんくとつ 悪戦古嗣	
のくはつどは1/遅爰吐哺】  をノぼノトミサノ「亜土次白」	
のへはへてフビル 悉不益家   ねーマスズスデノ「毎日雄号」	
ゆうこしてしこへい恋口相言	



### 使用シーンから調べます



四字熟語辞典の検索画面を表示させ、 でカーソルを「⇒使用シーン/内 容から探す」に移動させます。



2 を押すと候補リストが表示されます。 一 で調べたい項目を選択して、 なができます。 調べたい四字熟語を選択して、 を押すと、 送援いたのできます。 調べたいのないたのできます。 調べたいのので見たので見たのです。



- ●上の画面は、「使用シーン」→「結婚式」→「合縁奇縁」の順に選択した場合です。



故事・ことわざの意味、使用例、類句のほか、意味や発想の似てい る英語のことわざなども調べることができます。

# 語句を入力し、その語句から始まる故事・ことわ ざを検索します

### [例文]「とら(虎)」で始まることわざの意味と用例を調べ ます

メニュー画面から故事ことわざを選ん で \*\*\* を押し、故事ことわざ辞典の検 索画面を表示させます。



2 読み入力欄に文字入力キーを使って読みを入力します(ここでは「とら」を入力します)。 画面に入力文字からはじまることわざが五十音順に候補表示されます。 (文字入力について 21ページ参照)



 ● 収録されていない語句を入力した場合は、その語 句に一番近いものから五十音順に表示されます。 3 
 Cカーソルを移動させ、調べたいことわざを選択します(ここでは「とらぬたぬきのかわざんよう【捕らぬ狸の皮算用】」を選択します)。
 次に マス を押して、ことわざの本文画面を表示させます。



使用シーンから調べます

使用シーンからことわざを検索することができます。操作方法は「四字熟 語辞典」の場合と同じです。

(使用シーンから調べます 65ページ参照)

# 世界史事典を使う

世界史上の事柄や人物について、詳しく調べることができます。 世界史の用語を入力し、その年代や内容を検索します

### [例題]「ポツダム」について調べます

メニュー画面から世界史事典を選んで を押し、世界史事典の検索画面を 表示させます。



2 読み入力欄に文字入力キーを使って語 句を入力します(ここでは「ぽつだ む」を入力します)。

> 画面に入力文字に該当する語句が五十 音順に候補表示されます。

(文字入力について 12 21ページ参照)

- 収録されていない語句を入力した場合は、その語 句に一番近いものから五十音順に表示されます。

次に 🕬 を押して、本文画面を表示さ せます。

世界史事典		t
読み 【ぽつだむ_	]	1
ボツダムかいだん、ボツダム会談)	^	m
ボツダムせんげん【ボツダム宣言】		
ボッティチェリ		
はっぱっけいかんぞく 北方糸氏族		
「はっはつせんてついル力戦争」		
ほうほうりょうともん/こいれ/10 順工/    ポトミギノギノ「ポトミ纽山」		
「ホトノさんでんいトトノ歌曲」		R
ボナパルト		άĂ
ボニファシオ		2
ボニファティウス(8世)	v	÷



# 日本史事典を使う

日本史上の事柄や人物について、詳しく調べることができます。 日本史の用語を入力し、その年代や内容を検索します

[例題]「狩野派(かのうは)」について調べます

メニュー画面から日本史事典を選んで \*\*\*\* を押し、日本史事典の検索画面を 表示させます。



2 読み入力欄に文字入力キーを使って語 句を入力します(ここでは「かのう は」を入力します)。

> 画面に入力文字に該当する語句が五十 音順に候補表示されます。

(文字入力について 12 21ページ参照)

- 収録されていない語句を入力した場合は、その語 句に一番近いものから五十音順に表示されます。
- 3 
   Cカーソルを移動させ、調べたい語句を選択します(ここでは「かのうは【狩野派】」を選択します)。
   次に ♥・★
   を押して、本文画面を表示させます。

	_	_
日本史事典		t
読み 【かのうは_	].	Ī.
かのうは【狩野派】	70	iii)
かのうほうがい【狩野芳崖】		U
かのうまさのぶ【狩野正信】		
かのうもとのぶ【狩野元信】		
かばさんじけん【加波山事件】		
のはやますけのり「樺山貧紀」		
カビダン「中比丹」	I	R
かいさい就嫌1次   かごき!!!ゅうけナげ!!! 咖喱/は土ヶ米!!		à
「かいきしゆうはらはん」献舞は「八笛」	1	2
かいさ しのかかいさね♪  かにたてられい「宏父匡判		
かいらようせい 豕×長刺	V I	-





### 歴史上の人物を検索します(世界史・日本史共通)

[例題]「ヒッポクラテス」を検索します

メニュー画面から人名検索を選んで \*\*\*\*を押し、人名検索の検索画面を表 示させます。



2 文字入力キーを使って人名を入力します(ここでは「ひっぽくらてす」を入力します)。

画面に入力文字に該当する人名が五十 音順に候補表示されます。

(文字入力についてで)21ページ参照)

● 収録されていない人名を入力した場合は、入力した 人名に一番近いものから五十音順に表示されます。

3 
 Cカーソルを移動させ、調べたい人名を選択します(ここでは「ヒッポクラテス」を選択します)。
 次に マホーン を を ずして、本文画面を表示させます。






生物学に関する用語を検索することができます。

# 生物学用語を入力し、語句の意味を検索します

[例題]「ポルフィリン核(かく)」の意味を調べます

メニュー画面から生物事典を選んで \*\*\*\* を押し、生物事典の検索画面を表 示させます。



2 読み入力欄に文字入力キーを使って語 句を入力します(ここでは「ぽるふぃり んかく」を入力します)。画面に入力文 字に該当する語句が五十音順に表示さ れます。

(文字入力について 12 21ページ参照)

- 収録されていない語句を入力した場合は、その語句 に一番近いものから五十音順に表示されます。
- 3 
   マ/ ☆ でカーソルを移動させ、調べたい語句を選択します(ここでは「ポルフィリンかく」を選択します)。
   マ・サレて、本文画面を表示させます。
  - 本文画面中に 国 アイコンが表示されている場合は、関連画像を参照することができます。(参照ジャンプ 120ページ参照)

生物事典	
読み【ぽるふぃりんかく_ 】	ļ.
ボルフィリンかく【ボルフィリン核】 ^	m
ボルボックス	
⁺ホルマリン【formalin】	
ホルムアルデヒド【formaldehyde】	
はホルモン【hormone】	
ホロこうそ【ホロ酵素】	
ホロホロチョウ	
ホンゴウソウ	
*ホンダワラ	B
◆ほんのう【本能】	ĂΑ
⁺ほんやく【翻訳】	n
マーシュ[Marsh, Othniel Charles] 🗸 🗸	لب





# ツリー形式リスト - 項目の選択方法

学習コンテンツでは、学習・テストする項目をツリー形式の リストから選択します(ここでは、英単語ターゲット1900の学習画面を 例に説明します)



2 マノク でカーソルを移動させ、「常に 試験に出る基本単語800」を選択します。 \*\*\*\* を押すと、選択した項目に含まれる 小分類項目のリストが表示されます。



3 
 マ/ ○ でカーソルを移動させ、項目
 「動詞編300」を選択します。 ・・・・・ を押
 すと、選択した項目に含まれる小分類
 項目が表示されます。



4 本文画面が表示されるまで、2の操作 を繰り返します。ここでは、項目「1-50」を選択し を押すと、本文画面 が表示されます。



<u>+</u>---

英単語ターゲット1900 回常に試験に出る基本単

田町動詞編300
 田丁容詞編200
 田口花詞編300
 田口花記録に出る重要単語70
 田口定ご表述のく難単語400

本文画面

Ŧ

....

I ∎ AA

n

## ツリー形式リスト 🕂 🦳 についての説明

項目の頭に 王 が表示されている場合 は、さらに小分類の項目があることを 示しています。

が表示されている項目を選択して
 ホポ または >を押すと、小分類項目のリストを表示することができます。
 (R6) または <> を押すと、小分類項目

のリストを表示させる前の状態に戻り

のリストを表示させる前の状態に戻り ます。 📰 が表示されている場合は、その項目には、それ以上表示でき る小分類項目がないことを示しています。

●スタイラスを使う場合は、項目を直接タップすると小分類項目のリストが表示されます。 同じ項目を再度タップすると、小分類項目のリストを表示する前の状態に戻ります。

#### 進捗の記録

リスト上に進捗の記録が表示されま す。

すでに学習(テスト)し終えた項目 は、項目の頭にあるボックスが黒く塗 りつぶされて表示されます。途中まで 学習(テスト)し終えた項目は、ボッ クスが灰色に塗りつぶされて表示され ます。



学習の進捗が記録されるコンテンツ については、リスト上で、すでに学習 し終えた項目を選択した場合、「もう 1度学習しますか?」というメッセージ が表示されます。 () / ()> で「はい」 か「いいえ」を選択して (\*\*\*\*) を押しま す。また、途中まで学習した項目を選

Ē	を単語ターゲット1900 ■ 営作対略に出る其本単語900	
	■ 前詞編300	
	■ <u>1 - 5U</u> ■ 51 - 100 □ 101 150	
	学習済み単元 🛛	
	№ もう一度学習しますか?	
	(まい) <b>しい</b> え	
Ξ.	ロ 常に試験に出る重要単語700 ロ ここで差がつく難単語400	₽ #A
E E	18、63、63、64、63、63、63、63、63、63、63、63、63、63、63、63、63、	E af ₹

択した場合には、「最初から学習しますか?」というメッセージが表示されますので、この場合にも「はい」か「いいえ」を選択して \*\*\*\* を押します。

テストの場合は、最後までテストし た項目を選択した場合にのみ、「この単 元はテスト済みです」というメッセージ が表示されます。 () / )> で「再テス トする」か「不正解の問題をテストする」 のどちらかを選択して \*\*\*\* を押してく ださい。

	● 第8ターゲット1900 ■ 常に試験に出る基本単語800 ■ 動詞編300	<b>†</b>
	■ <u>1 - 50</u> □ 51 - 100 □ 101 - 150	
6	<u>テスト済み単元</u> ② この単元はテスト済みです 再テストオス 「「「「「「「」」」、 本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本	
: +: +:	<ul> <li>ロ 常に試験に出る重要単語700</li> <li>ロ ここで差がつく難単語400</li> </ul>	P
		н С

●ロイヤル英文法と公式集、世界史・日本史年代暗記ターゲット以外の学習コンテンツで学習・テストの進捗が記録されます。

## テスト結果グラフ表示

英単語(英熟語)ターゲット、英単語(英熟語)ターゲット BRUSH-UP、英単語ターゲットディクテーションでは、テストの 正解率をグラフで表示することができます。

検索画面から、 ✓ 

 でカーソルを移動
 させ、「⇒テスト結果」を選択します。

 を押すと、テスト結果画面が表示されます。各単元の正解率がグラフで表示されます。

- ●単元の最後までテストしていない場合も、テスト結果 が表示されます。
- テスト結果は、学習設定画面で削除することができます。 ( 137 77ページ参照)



# チェックボックス

学習コンテンツでは、見出しの頭にチェックボックスが設けられて います。覚えた単語や、見直したい項目などにチェックを入れてお くことができます。

(ロイヤル英文法、英単熟BRUSH - UP、英単語ターゲットディクテーション、センター試験リスニング以外のすべての学習コンテンツにチェックボックスが設けられています。)



クスを直接タップするとチェックを入れる ことができます。

再度タップするとチェックマークを外すこ とができます。

- 学習設定画面で、チェックマークをまとめて解除することもできます。 (設定の方法と設定内容 ☞ 76、77ページ参照)
- チェックマークを入れた単語は、学習設定・設定画面で表示・非表示の設定を行うことができます。(設定の方法と設定内容 ☞ 76、77ページ参照)

# 学習設定の方法

学習コンテンツでは、設定画面で、学習・テスト画面の表示方法や 順序を設定することができます(ロイヤル英文法以外の学習コンテ ンツすべてで学習設定を行うことができます)。

(ここでは、古文単語・熟語ターゲット400の学習設定画面を例に説明します。)





古文ターゲット40	00		
▶表示方法:			4
意味隠し	単語隠し	すべて	
表示順:			
単語順	ランダム		
チェック済み:			
表示する	表示しない		
チェック済み単語	のチェック解除		
学習記録削除			R
設定終了			ĂĂ
③ 表示方法を変更	更します		$\neg \mathbf{n}$
[⑥ ⑨]キーで	変更してください		₽

3 ● ~ で「設定終了」を選び ● を押すと、設定した内容が保存・反映されます。

古文ターゲット4	00		
表示方法:			- ↓
意味隠し	単語隠し	すべて	m
表示順:			
単語順	ランダム		
チェック済み:			
表示する	表示しない		
チェック済み単語	師のチェック解除		
学習記録削除			
(			
P az JE #? 1			_ <u>^A</u> _
登 設定を終了し:	ます		
[ lill:	で終了します		
L IN ALL -	CTELUX 9		

設定終了:設定内容を保存します

#### 設定項目とその内容

以下を参考に項目を選んで設定してください。モードによって設定する項 目は異なります。

表示方法		学習画面での単語の表示方法を選択します。
	意味隠し	単語の意味・解説部分を隠して表示します。
	単語隠し	意味・解説部分は表示し、単語を隠して表示します。
	すべて	単語・意味・解説のすべてを表示します。初期設定では「すべて」に
		設定されています。
表	示順序	単語の表示順、テストの出題順を選択します。
	単語(項目)順	コンテンツに収録されている順番に表示します。
	ランダム	単語や問題の順序を入れ替えて表示します。
F	ェック済み	チェックマーク(🖌 )を入れた単語の表示を選択します。
	表示する	チェック済み単語を含むすべての単語を表示します。初期設定では
		「表示する」に設定されています。
	表示しない	チェック済み単語を表示しません。
F	エック済み単語の	チェックマーク(🗹 )を入れたすべての単語からまとめてチェッ
チェック解除		クマークを外します。
ĒC	録削除	学習の進捗記録、テストの記録を削除します。
	学習記録	学習進捗の記録をすべて削除します。
	テスト記録・結果	テスト進捗記録とテストの結果(グラフ)をすべて削除します。

· 表示方法

公式集では、公式/キーワードを隠して表示します。

·記録削除

各項目を選択して \*\*\*\* を押すと、確認メッセージが表示されます。記録を削除してよい場合は、

英単語(英熟語)ターゲットでは、 「学習/テスト結果削除」を選択し ● \*\*\* を 押すと、まずどの記録を削除するかを 選択する画面が表示されます。 ≪ / ● でカーソルを移動させ、削除したい 記録を選択します。 ● \*\*\* を押すと確認 メッセージが表示されますので、記録

英単語ターゲット1900	
	<b>↓</b>
表示方法:	
意味隠し 単語隠し すべて	
学習/テスト結果削除 🛛	
浄: 選択されている学習/テスト結果を削除します	
学習結果 単語テスト結果	
▶: 例文テスト結果 すべて	
設定終了	B
	ĂΑ
沿:学習/テスト結果を削除します	n
↓ <u>[訳</u> ・決定]キーで設定します	₽

を削除してよい場合は、 <) / )> で「はい」を選択して 🕬 を押します。

#### 表示内容で「意味隠し」を選択した場合

本文画面を表示させると、単語の意味 が隠されて表示されます。

(操作方法について 🕞 103ページの1~3参照)

☆ を押すと、意味が表示されます。

再度 <sub>xiel</sub> を押すと、次の見出し語 の本文画面が、意味が隠されて表示 されます。



表示内容で「単語隠し」を選択した場合

本文画面を表示させると、単語が隠されて表示されます。 爆作方法についてで103ページの1~3参照)

☆ を押すと、単語が表示されます。

再度 を押すと、次の見出し語 の本文画面が、単語が隠されて表 示されます。



ロイヤル英文法を使う

英語の読み書きや口語英語に必要な文法や語法を調べることができ ます。

# キーワードを入力し、日次から検索します

#### 「かんけい(関係) | を入力し、日次から関係代名詞 「例題] の項目を調べます

ロイヤル英文法 目次検索

⇒目次から探す

⇒会話慣用表現

⇒ロイヤル英文法-問題集へ

♀: ⊗ ⊗ キーで検索方法を選びます 日次のキーワードから検索します

例文検索【

⇒几例 徹底例解

- メニュー画面からロイヤル英文法を選 んで(\*\*\*\*)を押し、ロイヤル英文法の検 索画面を表示させます。

2 目次検索欄に文字入力キーを使って キーワードを入力します(ここでは 「かんけい」と入力します)。画面に入 カレた言葉を含む日次項日が候補表示 されます。

(文字入力についてで~21ページ参照)

- 収録されていない言葉を入力した場合は、 "一致 する目次がありません。検索条件を変えるか、さ
  - らに条件を入力してください"のメッセージが表示されます。
- 3 🔊 でカーソルを移動させ、調べ たい項目を選択します(ここでは「第 1節 関係代名詞 | を選択します)。 次に(Wrike)を押して、本文画面の該当筒 所を表示させます。



茁 [改訂新版]



Ŧ

...

1 ......

旺文社 ĂA **i**O

# 入力した英単語を含む例文を調べます

[例題]「who」を入力し、例文を検索します

ロイヤル英文法の検索画面を表示させ、、でカーソルを例文検索に移動させます。



- 2 文字入力キーを使って英単語を入力し ます(ここでは「who」を入力しま す)。画面に入力した単語を使った例文 が候補表示されます。
  - 複数の英単語を (20) で結んで入力すると、入力 した単語をすべて含む例文を検索することができ ます。
  - ●収録されていない単語を入力した場合は、"一致 する例文がありません"というメッセージが表示 されます。
- 3 でカーソルを移動させ、調べたい例文を選択します(ここでは「Who was at the door?」を選択します)。次に を押して、本文中の例文を表示させます。

ロイヤル英文法	1
例文検索(who)	Ŧ
Who did he give it to ?	m
Heaven helps those who help themsel⊳	
He shivered like a man who was very ▷	
Who was at the door ?	
"Who invented the steam engine ? "▷	
Who do you think that man is ?	
Do you know who that man is ?	
Who knows ? (=Nobody knows.)	
Who doesn't know ? (=Everybody kno⊳	E
I trust no one who does not love th⊳	ĂA
In the country which is now England⊳	S
Harry is the only person who can do⊳ 🗸	L+

<b>ロイヤル英文法</b> 第1章 文 Who was at the door ? (戸口にだれがいましたか) (cf. Someone was at the door.) Which street goes to the station ? (どの通りが駅へ通じていますか) (cf. This street goes to the station.)	_	<b>↑</b> <b>↓</b> Ⅲ
2 疑問文の作り方 (1) be動詞の場合:(be動詞+主語)の順 になる。 That dress was expensive. (その服 は高価でした)	~	t 5 🕅

# 目次一覧から調べます

# [例題] 「⇒目次から探す」から「関係代名詞」の項目を調 べます

■ ロイヤル英文法の検索画面を表示させ、 でカーソルを「⇒目次から探す」に移動させます。



2 ● を押すとツリー形式の項目リスト が表示されます。 ● / ▲ で項目を選んで ● で項目を選んで ● を押します。この操作を繰り返し、選択した項目の本文画面を表示します。ここでは「第18章 関係詞」→ 「第1節 関係代名詞」→「298 関係代名詞の機能と種類」の順に選択します。



(ツリー形式リスト - 項目の選択方法 🕞 72ページ参照)

▲文画面で を押すと次の項目が表示されます。



### 会話慣用表現を調べます

収録された例文の中から、会話慣用表現をカテゴリー別に調べるこ とができます。

[例題] 「⇒会話慣用表現」から「挨拶」に使われる表現を 調べます

■ ロイヤル英文法の検索画面を表示させ、 でカーソルを「⇒会話慣用表現」に移動させます。

2 ● \*\*\* を押すとカテゴリーが一覧表示されますので、 ● / ● でカーソルを移動させ、調べたいカテゴリーを選択します(ここでは「挨拶」を選択します)。 ● \*\*\* または ● を押すと、選択したカテゴリーに含まれる慣用表現リストが候補表示されます。



ロイヤル英文法	1
	<b>↓</b>
Be seeing you.	m
Had a good time, did you ?	::::
Have a nice day.	
How are you ?	
How do you do ?	
How is it going with your family ?	
How you been f	
I on looking forward to prove at	R
I all looking forward to seeing yp	
I hope to see you again.	ÀΗ
j think I had better leave now.	n
📔 I was very glad to be invited. 🗸	┙

3 ○ Cカーソルを移動させ、調べたい表現を選択します(ここでは「How you been?」を選択します)。次に ● \*\*\* を押して、本文画面中の会話慣用表現を表示させます。



●関連モードへの移動

1の画面で「⇒ロイヤル英文法 - 問題集へ」を選ん

で (\*\*\*\*を押すと、ロイヤル英文法問題集モードへ移動することができます。ロイヤル英文法 問題集モード画面で「⇒ロイヤル英文法へ」を選択すると、ロイヤル英文法のモードに切り替 わります。 ロイヤル英文法問題集を使う

メニュー画面から、ロイヤル英文法 - 問 題集を選んで ☞★★ を押し、ロイヤル英 文法問題集の画面を表示します。



2 「⇒ロイヤル英文法 - 問題集」が選択された状態で、 №\*\* を押すとツリー形式の項目リストが表示されます。

ロイヤル亨	5文法	問題集	1
⊞□開算	文		Ĵ.
Ⅲ□第2章	名詞		
Ⅲ□第3章	冠詞		<u> </u>
Ⅲ□第4章	代名詞		
⊞□第5章	疑問詞		
🖽 🗆 Review	Test		
⊞□第6章	形容詞		
⊞□第7章	副詞		
⊞□ 第8章	比較		
🖽 🗆 Review	Test		
⊞□第9章	動詞		
Ⅲ□第10章	時制		
田口第11章	助動詞		
🗄 🗆 Review	Test		
Ⅲ□第12章	不定詞		× 1
Ⅲ□第13章	分詞	v	₽

ツリー形式リスト

3 ○ 「○ で項目を選んで (\*\*\*\*\* を押しま す。この操作を繰り返し、選択した項 目の本文画面を表示します。 ここでは、「第1章 文」→「No.1」→「出 題1」の順に選択します。 (ツリー形式リスト - 項目の選択方法 (\*\*\* 72ペー ジ参照)

ロイヤル英文法 問題集	720	t
□1-1 《出題》  次の文の文型を下のI~¥のうちから選び、記号で   えなさい。	?答 [	•
The space shuttle goes round the Earth once every 90 minutes.	э	
I.S+V I.S+V+C II.S+V+0 IV.S+V+0+0 V.S+V+0+C		
?②: 答えを考えてください [訳・決定]キーで解答画面を表示します		Ω ל

本文画面

4 本文画面で 🕬 を押すと、解答が表示 されます。

● 解答とともに、ロイヤル英文法の参照項目が表示 されます。参照する場合は ■ を押すと参照項 目が表示されます。参照画面で ■ を押すと、 解答表示画面に戻ります。



▶ (ਸ਼・\*\*\*)を押すと次の本文画面が表示されます。

● 本文画面の設定を行うことができます。

1の画面で、 (マノ) 合でカーソルを移動させ「設定」を選択します。

(\*\*\*\* を押し、設定画面を表示します。

(設定の方法と設定内容 13 76、77ページ参照)

● 関連モードへの移動
 1の画面で「⇒ロイヤル英文法へ」を選んで ●\*\* を押すと、ロイヤル英文法のモードへ移動することができます。ロイヤル英文法モード画面で「⇒ロイヤル英文法-問題集へ」を選択すると、問題集のモードに切り替わります。

英単語・英熟語ターゲットを使う

英単熟語検索のほか学習、単熟語テスト、例文テストなどを使い、 英単熟語について効果的に学習することができます。

# 英単語を入力し、単語の意味を検索します

- 「例題」「accomplish」を入力し、英単語の意味と例文を調 べます(ここでは英単語ターゲットの場合を例として説明し ます)
- メニュー画面から英単語ターゲットを 選んで (\*\*\*\*)を押し、英単語ターゲット の検索画面を表示させます。

⇒子習 ⇒単語テスト	<b></b>
⇒例文テスト	
⇒学習設定 	
⇒テスト結果	
英単語ターゲット 1900	R
英単語ターゲット 1900 	I ≊Aà

吾ターゲット1900

2 スペル入力欄に文字入力キーを使って 単語を入力します(ここでは 「accomplish」を入力します)。 画面に 入力文字に該当する英単語がアルファ ベット順に候補表示されます。

- 収録されていない単語を入力した場合は、その単 語に一番近いものから表示されます。
- 英塾語ターゲットの場合は、複数の英単語を「&」 で結んで入力すると、入力した単語すべてを含む 熟語が候補表示されます。複数の単語を入力する ことで、候補を絞り込んで検索することができま す。

英単語ターゲット1900		1
スペル【accomplish_	]	Ŧ
accomplish	^	m
accord		::::
account		
accumulate		
accurate		
accuse		
accustom		
ache		_
achieve		E
acknowledge		۴A
acquaintance		n
acquire	v	لب





● 

◆ でカーソルを移動させ、調べたい英単語を選択し

◆ でカーソルを移動させ、調べたい英単語を選択し

◆ であっては「accomplish」を選択します)。

選択した英単語の意味と例文が表示されます。



# 英単語の意味と例文を学習します

[例題] 英単語「動詞編300・1-50」の単語を学習します (ここでは英単語ターゲットの場合を例として説明します)

英単語ターゲットの検索画面を表示し ます。

マカーソルを移動させ、「⇒学習」 を選んで (\*\*\*\* を押すと、ツリー形式の 項目リストが表示されます。



2 ○ / ○ で項目を選んで \*\*\* を押し ます。この操作を繰り返し、選択した 項目の本文画面を表示します。ここで は、「常に試験に出る基本単語800」→ 「動詞編300」→「1-50」の順に選択し ます。

(ツリー形式リスト - 項目の選択方法 🕞 72ページ参照)

英単語ターゲット1900	t
□□常に試験に出る基本単語800	<b>↓</b>
:::::□ 9569編300	m
-101 - 100	<u> </u>
-151 - 200	
□ 201 - 250	
□ 251 - 300	
Ⅲ□形容詞編200	
王口名詞編300	
国口常に試験に出る重要単語700	
出口とこで差かつく難早譜400	12
	μĂΑ
	n
	÷

**3** <sub>(1)</sub> を押し、次の単語を表示します。



4 各項目の英単語(英熟語)をすべて学 習し終えると、「この単元をテストし ます」というメッセージが表示されま す。 
(▲) / (▶) でカーソルを移動さ せ、「はい」か「いいえ」を選んで (■・\*\*) を押します。

 文単語ターケット1900 □ require[rikwaiar](50) を必要とする:を要求する □ requirement醫必要条件:要求(物) 1 According to current statistics, 単元のテスト ない 取すの統計によると、アメリカ人の 部での単元をテストします はい 最新の統計によると、アメリカ人の 部でありたいうことである。

●本文画面の設定を行うことができます。
 1の画面でカーソルを移動させ、「⇒学習設定」を選択します。
 ● 本文画面の設定を行うことができます。
 (設定の方法と設定内容 ● 76、77ページ参照)

#### 再度学習するときは

リスト表示画面で一度学習した単元を 再度選択した場合は、"もう一度学習 しますか?"のメッセージが表示され ます。

() でカーソルを移動させ、「はい」または「いいえ」のどちらかを選択します。



# 単語をテストします

[例題] 英単語「動詞編300・1-50」の単語をテストします (ここでは、英単語ターゲットの単語テストを例として説明し ます)

英単語ターゲットの検索画面を表示し ます。

マカーソルを移動させ、「⇒単語 テスト」を選んで ※\*\*\* を押すと、ツ リー形式の項目リストが表示されます。



2 ● / ● で項目を選んで ● \*\*\* を押します。この操作を繰り返し、選択した項目のテスト画面を表示します。ここでは、「常に試験に出る基本単語800」 →「動詞編300」→「1-50」の順に選択します。

英単語ターゲット1900 † ↓ □□常に試験に □□動詞編300 Ē п .... 51 n 101 -150 200 П 151 D 201 п 251 300 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1
 □ 1 田口常に試験に出る重要単語700 田口ここで差がつく難単語400 ₽ 44 **2** 

(ツリー形式リスト - 項目の選択方法 🕞 72ペー ジ参照)

3 空欄の箇所に文字入力キーを使って英 単語を入力します。



英単語ターゲット1900 worship を崇拝する	1/50 <b>↑</b> ↓

5 ※※を押して次の英単語テスト画面を表示します。

- ●ここでは、単語テストを例に説明しましたが、例文テストも同じ手順でテストすることができます。
- 英単語(英熟語)単語テスト/例文テストは、テストの正解率をグラフで表示することがで きます。

(テスト結果グラフ表示 🍞 74ページ参照)

 ● 関連モードへの移動 1の画面で「⇒ターゲットBRUSH-UPへ」を選んで \*\*\* を押すと、BRUSH-UPのモード へ移動することができます。
 BRUSH-UPモード画面で「⇒英単語ターゲットへ」を選択すると英単語ターゲットのモー ドに切り替わります。

英単語ターゲットディクテーションを使う

ディクテーションでは、収録されている単語または例文の音声を聴 き取り、スペルを入力して学習することができます。

# 単語テストをします

メニュー画面からターゲット1900ディ クテーションを選んで (\*\*\*\*)を押し、英 単語々ーゲットディクテーションの画 面を表示します。

2 「⇒単語テスト」が選択されている状態 で「\*\*\*\* を押すと、ツリー形式の項目リ ストが表示されます。 💎 🦯 🏳 で項目 を選んで \*\*\*\* を押します。この操作を 繰り返し、選択した項目のテスト画面 を表示します。

> ここでは、「常に試験に出る基本単語 800 |→「動詞編300 |→「1-50 |の順に選 択します。

(ツリー形式リスト - 項目の選択方法 GP 72ページ参照)

- テスト画面を表示すると、自動的に単 語の発音が再生されます。聴き取った 単語のスペルを文字入力キーを使って 入力します。正しいスペルのみ入力す ることができます。
  - 発音を繰り返し聴く 発音が聴き取れなかった場合は、(発音)を押すと 何度でも繰り返し聴き直すことができます。



本文画面

ツリー形式リスト



■ロ常に試験に出る重要単語700 ■ロここで差がつく難単語400

#### ヒントを使う



単語の意味表示

示されます。

4 入力し終わると **○**KI と表示されます。 ■ \*\*\* を押し、次のテスト画面を表示します。



● 入力し終えると英単語ターゲットの参照NOが表示されます。
 \*\*\*\*\*\*
 参照する場合は ())
 を押します。参照画面で (\*\*) を押すとディクテーション画面に戻ります。



# 英単語・英熟語ターゲットBRUSH-UP TESTを使う

英単語・英塾語ターゲットで学習した単塾語を、択一問題でテスト することができます。

# 英単語をテストします

[例題] 「動詞編300・三択問題1~50 をテストします

メニュー画面から英単語ターゲット 1900 BRUSH-UPを選んで (\*\*\*\*) を押 し、英単語ターゲット1900 BRUSH-UP TESTの画面を表示させます。



2 「⇒BRUSH-UP テスト」が選択されてい る状態で
(\*\*\*\*)を押すと、ツリー形式の へで 項目リストが表示されます。 項目を選んで、\*\*\*\*を押します。 この操作を繰り返し、選択した項目の テスト画面を表示します。 ここでは、「常に試験に出る基本単語



ツリー形式リスト

800 |→「=択問題で定着度をチェック |→「動詞編300 |→「=択問題1~50 | の順に選択します。

(ツリー形式リスト - 項目の選択方法 17 72ページ参照)

3 < / / ♪ を使ってカーソルを移動させ、選択肢の中から解答を選択し、 \*\*\*\* を押します。



本文画面

● 画面下に正解か不正解かが表示されます。

約2秒後、正解の単語が表示されます。

ターゲット1900 №0.005 ~を達成する ⓓ achieve ③ adapt	BRUSH-UP TEST	5/50 <b>↑</b> ↓ Ⅲ
6	)正解	t 5

参照NO.

● 正解の単語とともに、英単語ターゲットの参照 NO.が表示されます。参照する場合は ■ を押 します。参照画面で ■ を押すと解答表示画面 に戻ります。

ターゲット19	00 BRUSH-UP TEST	5/50 🛉
No.005 ~を達成する		<b>↓</b>
í achieve ③ adapt	© accumulate	
achieve (	藏[]5)	
浴[関連]キ~	-でターグット1900の画面を表示 よ、の次の問題を表示します	ಸಿಕ್ 🖸
Lan, WET	イーで八の问題を扱小します	4

5 🐨 を押して、次の問題を表示します。

● テスト画面の設定を行うことができます。 1の画面で、カーソルを移動させ「⇒設定」を選択します。 (\*\*\*\* を押し、設定画面を表示しま す。

(設定の方法と設定内容 13 76、77ページ参照)

● 英単語(英熟語) BRUSH-UPでは、テストの正解率をグラフで表示することができます。 (テスト結果グラフ表示 ☞ 74ページ参照)

● 関連モードへの移動 1の画面で「⇒英単語ターゲットへ」を選んで ★★★★ を押すと、英単語ターゲットのモードへ移 動することができます。英単語ターゲットモード画面で、「⇒ターゲットBRUSH-UPへ」を選 択すると、BRUSH-UPのモードに切り替わります。

# 英検Pass単熟語(3級・準2級・2級)を使う

英検に出題される英単熟語を検索、学習することができます。 英単語を入力し、単語の意味を検索します

1 メニュー画面から英検Pass単熟語を選んで<sup>●●●●</sup>を押し、英検Pass単熟語の 検索画面を表示します。



2 単語を検索する場合は「単語」欄に、熟語を検索する場合は「単語」欄にカーソルを移動させます。文字入力キーを使って単語を入力します。

熱語欄では、複数の英単語を(\*\*)で結んで入力 すると、入力した単語すべてを含む熟語が候補表 示されます。複数の単語を入力することで候補を 絞り込んで検索することができます。

英検Pass単 2級	1
単語 (insurance)	₽
insurance ^	)
insure	
intellectual	
intensive	
intention	
interfere	
interrupt	
intervention	
invade	E
invest	ăА
investigate	n
involve v	₽

3 
 ○ / ○ でカーソルを移動させ、単語
 (熟語)を選んで ■★★ を押します。
 選択した単語の意味と例文が表示され
 ます。



# 英単熟語の意味と例文を学習します

英検Pass単熟語の検索画面を表示しま す。 でカーソルを移動させ、「⇒学 習」を選んで <sup>■・★★</sup>を押すとツリー形式 の項目リストが表示されます。





ツリー形式リスト

# 3 本文画面で \*\*\*・ を押すと、次の単語の 本文画面が表示されます。



本文画面

●学習画面の設定を行うことができます。
 1の画面で、カーソルを移動させ「⇒学習設定」を選択します。
 ● を押し設定画面を表示します。

(設定の方法と設定内容 177ページ参照)



センター試験リスニングテスト対策のトレーニングとテストを行う ことができます。

リスニング対策トレーニングを行う

- メニュー画面からセンター試験リスニング対策を選んで \*\*\*\* を押し、センター試験リスニング対策の画面を表示します。
- 2 マカーソルを移動させ、「⇒リ スニング対策トレーニング」を選択しま す。 <sup>(\*\*\*\*</sup>を押すと、ツリー形式の項目 リストが表示されます。
  - ♥ ご で項目を選んで ■\*\*\* を押します。この操作を繰り返し、選択した項目の出題画面を表示します。



ここでは、「センター試験リスニング対策問題」→「問題1-1」の順に選択します。

(ツリー形式リスト - 項目の選択方法 🕞 72ページ参照)

まず最初に、テスト方法についての説明画面が表示されます。



説明画面

4 <sup>∞</sup>\*\*\* を押すと出題画面が表示され、自動的に音声が再生されます。

● 音声を繰り返し聴く 音声が聴き取れなかった場合は、 (発音) を押すと何 度でも繰り返し聴き直すことができます。



<mark>センター試験 - リスニング対策</mark> 問題 <b>1</b> 渺What is the boy going to wear to the party?		<b>↑</b> ↓
	5	
#P音•##### 区 ② 選択した解答は ③ です。よろしいですか	ļ	
	_	<b>(</b> ):
<u> </u>		t 5

正解か不正解が表示され、約2秒後に 解説画面が表示されます。 \*\*\*\* を押す と項目リストの画面に戻ります。

120分子記録 <b>ーリスニング対</b> 録 ビビ学)の (年齢)の 後年齢)の問題1 節もって覚問文に目を通すと、「男の子がパーティー に何を着ていくかんが覚問になっているので、男の子 の発言に注意して聞くようでする。最後の発言の、 forset dout a necktie and wear gv Jeans (ネッ タイ(なやめて、シーンスを着る)の部分から、正解は 3。	<b>↑</b> <b>↓</b> III III
Boy: Am I supposed to wear something formal to the party?(パーティーにはフォーマルな服装をし ていくことになっているの) Girl: I don't think so. 1'm soing to wear my (沪(記)・決定]キーでメニューに戻ります	tδ

リスニング模試を行う

1



2 を押すと出題画面が表示され、自動的に音声が再生されます。

22.ター記録 - リスニング対策  第週1 ここでは問いから聞きであります。 ここでは問いから聞きであります。 それぞれの英文に問いが一つあります。 高えとして 最も適当なものを、四つの選択肢のうちから一つず つ選がなさい。解答する時は数字キーを押してくだ さい。 準備が出来たら[訳・決定]キーを押して開始してく ださい。	<b>↑</b> <b>↓</b> 
℃[訳·決定]キーで開始します	t 5

文字入力キーを使って、選択肢の中から適切と思われるものを選択し、番号を入力します。解答を入力すると次の出題に移ります。



- Δ すべての問題を解き終えると、結果画 面が表示されます。得点と各問題の正 解・不正解が○×で表示されます。
  - 得点は1問2点で計算されます。実際のセンター 試験とは採点基準が異なります。

センター記 結果 <u>34</u>	L. 点	ーリスニ	ング	対策			<b>↑</b> ↓
問題1 問1 問4	8	問2 問5	ò	問3 問6	8		•••
問題2   問7   問10   問13	000	問8 問11	X X	問9 問12	8		
問題3A 問題3A 問題3B	x	問15	х	問16	0		
問17 問題4A	0	問18	Х	問19	0	v	
☆[関連] [訳·決	キーで 定]キ	♪解説選 一で初期	択り、 順面で	ストを表 同に戻りす	示します ミす		τS

カッカー試験=リフニッガ対策

単語帳設定

5 (闘)を押すと、参照解説リストが表示 されます。 文/ 今 でカーソルを移動 させ、参照したい解説を選択します。 (M·\*\*)を押し、選択した解説を表示しま す。解説画面で(展る)を押すと、参照 解説リスト画面に戻ります。 解説を参照しない場合は結果画面で

(R·xz) を押すと、センター試験リスニ ング対策の初期画面に戻ります。

 ● テスト画面の設定を行うことができます。 1の画面で、カーソルを移動させ「⇒設定」を選択します。 (\*\*\*\* を押し、設定画面を表示しま す。

(設定の方法と設定内容 (2) 76、77ページ参照)

		11-22				
解説リスト					L	
⇒解	; 問題1	問1			<u> </u>	
⇒解診	( 問題1	問2			<u> </u>	
⇒解診	? 問題1	問3				
⇒解説	1 問題1	問4				
⇒解説	1 問題1	問5				
⇒解説	1 問題1	問6				
⇒解説	1 問題2	問7				
⇒解説	1 問題2	問8				
⇒解説	1 問題2	問9				
⇒解説	1 問題2	問10				
⇒解説	1 問題2	問11				
⇒解診	1 問題2	問12		v		
:〇: 表示	する解説	を選択! ア	[訳-沖定]を		~	
	ງ ມ/ກາຍເ :] է	は思雨雨で	同じたたい	enox,	-1	
したる	$\gamma_1 + - C r$	向不回回に	伏りより		4	

#### 出題形式の概要

#### [問題1]

短い対話文を聞き、問いに答えます。 画面に表示されている選択肢の中から、答えとして最も適切と思われる ものを選択し、番号を入力します。

#### [問題2]

短い対話文を聞き、問いに答えます。

画面に表示されている選択肢の中から、対話文に続く応答として最も適切と思われるものを選択し、番号を入力します。

問題3はAとBの2つの部分に分かれています。

#### [問題3A]

短い対話文を聞き、問いに答えます。

画面に表示されている選択肢の中から、答えとして最も適切と思われる ものを選択し、番号を入力します。

#### [問題3B]

少し長めの対話文を聞き、3つの問いに答えます。

画面に対話文に関する問いと選択肢が表示されますので、答えとして適切と思われるものを選択し、出題順に番号を入力します。

\* 問題と選択肢が2画面以上にまたがって表示されますので、画面をスクロールしてくだ さい。取扱説明書内 CF 155~158ページにも掲載してありますのでご参照ください。

問題4はAとBの2つの部分に分かれています。

#### [問題4A]

短い講義を聞き、問いに答えます。

画面に表示されている選択肢の中から、答えとして最も適切と思われる ものを選択し、番号を入力します。

#### [問題4B]

短い講義を聞き、3つの問いに答えます。

画面に講義に関する問いと選択肢が表示されますので、答えとして適切 と思われるものを選択し、出題順に番号を入力します。



[例題]「双無き(さうなき)」の語義を調べます

メニュー画面から古文単語・熟語ター ゲット400を選んで \*\*\*\* を押し、古文 単語・熟語ターゲット400の検索画面 を表示します。



2 読み入力欄に文字入力キーを使って語 句を入力します(ここでは「さうなき」 を入力します)。画面に入力文字に該 当する語句が五十音順に候補表示され ます。

(文字入力について 12 21ページ参照)

● 収録されていない語句を入力した場合は、その語 句に一番近いものから五十音順に表示されます。





# 古文単語・熟語を学習します

古文単語・熟語ターゲット400の検索 画面を表示します。 ♥ でカーソルを 移動させ、「⇒学習」を選んで ♥・\*\* を押 すとツリー形式の項目リストが表示さ れます。







(ツリー形式リスト - 項目の選択方法 13 72ページ参照)

ツリー形式リスト

本文画面で、、、を押すと、次の単語の本文画面が表示されます。

古文ターゲット400 1	/18   🕇
<b>ロうし【</b> 憂し】	i
《意味》	-
250	
《例文》	
¶_Lうし」と見し世ぞ今は恋しき	
(LつらいJと思った時が今から思えば恋しいも	の
( だ。)	
《解說》	
「心曼し」も同じ意味です。	
	_≦f
	0
	-

● 学習画面の設定を行うことができます。

本文画面

1の画面から、 ▼ でカーソルを移動させ、「⇒学習設定」を選択します。 \*\*\*\* を押し設定画面 を表示します。

(設定の仕方と設定内容 13 76、77ページ参照)



# 問題を解きながら漢字を学習します

- [例題] 「書き取り 最頻出A250・1~25」を学習します (ここでは、漢字ターゲット1700の書き取りを例として説明し ます)
- メニュー画面から漢字ターゲット1700 を選んで \*\*\*\* を押し、漢字ターゲット 1700の画面を表示します。



- 2 マノク でカーソルを移動させ、「⇒学習 書き取り」を選んで を押すと、ツリー形式の項目リストが表示されます。
  - 漢字ターゲット1700では、「⇒学習 書き取り」
     と「⇒学習 読み方」の2種類ありますので、どちらかを選択します。



3 ○ ○ で項目を選んで \*\*\*\* を押しま す。この操作を繰り返し、選択した項 目の本文画面を表示します。 ここでは、「書き取り - 最頻出A250」→ 「1~25」の順に選択します。 (ツリー形式リスト - 項目の選択方法 ☞ 72ペー ジ参照)

決定シーブット1700 1/25 □ 診察取(1) 《出題》 事件の[リンカク]が浮かび上がる。	
☆ 漢字を考えてください [訳・決定]キーで解説画面を表示します	t 5

**4** 学習画面で \*\*\*\* を押すと、正解と解説 が表示されます。再度 \*\*\*\* を押し、次 の問題を表示します。

<u>決定なっプターブターブター1700</u> 1/28 □ 記念取(1) (生理) 事件の[リンカク]が浮かび上がる。 《解説》 単命享Ⅰ ● アウトライン。	
☆[訳・決定]キーで次の問題を表示します	t 5

● 学習画面の設定を行うことができます。
 1の画面から、 でカーソルを移動させ「⇒学習設定」を選択します。
 ● を押し、設定画面を表示します。
 ● (別ののカナン)

(設定の方法と設定内容 🗊 76、77ページ参照)

世界史・日本史年代暗記ターゲットを使う

世界史・日本史上の事柄を年号から調べることができます。また、語呂か らも検索ができ、年号と語呂の両方を使って絞り込み検索ができます。

# 年号を入力し、年号から検索します

#### [例題]「1519」の年号について調べます (ここでは世界史年代暗記ターゲットの場合を例として説明します)

メニュー画面から世界史暗記ターゲットを選んで ☞\*\*\* を押し、世界史年代暗記ターゲットの検索画面を表示させます。



2 年号入力欄に文字入力キーを使って年 号を入力します(ここでは「1519」を 入力します)。

> 画面に入力年号に該当する項目が年号 順に候補表示されます。

- 収録されていない年号を入力した場合は、"見出し 語にありません"のメッセージが表示されます。

☞★★▼ を押して、本文画面を表示させま す。

● 見出し語には、年号と語呂が表示されます。

世界史年代暗記ターダット315 年号 【1513] 語名 【 1519年 一言【いちごん】「行く」とマ♪】	↑ ]↓ ]Ш
	t 5 🕅

世界史年代暗記ターゲット315	1
ロ1519(いち ごん い く) 一言【いちごん】「行く」とマガリャンイ ス氏	<b>↓</b> Ⅲ
マガリャンイス(マゼラン)の世界周航 (~22) 1519年、マガリャンイスは、スペイン 王室の命令で、世界一周の大航海に出	
発した	t5₩
「日本史年代暗記ターゲット」で年号から検索する場合も、1~3の操作方法で検索することができます。

### 語呂を入力し、語呂から検索します

[例題]「いちご」の語呂を入力し、検索します

世界史年代暗記ターゲットの検索画面 で、 を押してカーソルを語呂に移動 させます。 語呂を入力します(ここでは「いち ご」を入力します)。 入力した語呂に該当する年号が年号順 に候補表示されます。 (文字入力について (27 21ページ参照)

世界史年 年号 語呂 1517年 1519年 1533年	代暗記ターグット315 (しいちご) 一部[否(いな)]とルター(い 一言(いちごん)]行く」とマト 一期敵々インカ国	<b>↑</b> ↓
		t 5 🖑 词

2 アノー でカーソルを移動させ、項目 を選択します。 次に \*\*\*\* を押して、本文画面を表示さ せます。



### 年号と語呂を入力し、絞り込み検索をします

### [例題]「19」の年号と「ひと」の語呂を入力し、絞り込み 検索をします

年代の検索画面で年号を入力します。 その後、 → を押してカーソルを語呂 に移動させ、語呂を入力します(ここ では「19」「ひと」を入力します)。

入力した年号と語呂に該当する項目が 絞り込み検索され、年号順に候補表示 されます。

次に (\*\*\*\* を押して、本文画面を衣示さ せます。

 カーソルを語呂に移動させた後、年号を入力しな おすには、
 でカーソルを年号入力欄に戻しま す。





### 重要年代について学習します

世界史年代暗記ターゲットの検索画面 を表示させ、 ♥ で「⇒学習」を選択 します。

2 を押すと、世界史年代暗記学習の リスト画面が表示されます。

●世界史年代暗記ターゲット・日本史年代暗記ター ゲットのリスト画面では文字サイズの変更はでき ません。

リストから学習したい項目を選択し、
 ア・メモ を押します (ここでは「入試に出る超重要年代106」を選択します)。

「入試に出る超重要年代106」のリス ト画面が表示されます。

 ぐ学習したい項目を選んで

 を押すと、本文画面が表示されま

 す。

 ・ を押すと、前見出し画面、次見出し
 ・ 適面に移動できます。



公式集を使う

公式集 ⇒数学公式集

⇒物理公式集

⇒無機化学のキーワード

⇒**有機化学のキ**ーワード ⇒**学習設定** 肝文社監修

② ● ● キーで選びます 数学公式のメニューを表示します

数学公式集

■数学[[1]~[38]

Ⅲ数学A [39]~[80] Ⅲ数学Ⅲ [81]~[142]

Ⅲ 教学B [143]~[180]

・数学公式集
・物理公式集
・無機化学のキーワード
・有機化学のキーワード

公式集には4種類のコンテンツが収録されています。 ここでは、まず数学公式集と物理公式集について説明します。

### 数学公式集と物理公式集を学習します

メニュー画面から公式集を選んで \*\*\*\* を押し、公式集の画面を表示します。

2 ○ ○ ○ でカーソルを移動させ、「⇒数 学公式集」か「⇒物理公式集」のどちらか を選択します。 \*\*\*\* を押すとツリー形 式の項目リストが表示されます。

3 ○ / ○ で項目を選んで \*\*\*\* を押しま す。この操作を繰り返し、選択した項 目の本文画面を表示します。 ここでは、数学公式集「数学 I J→「第1 章 数と式J→「乗法公式 (I)」の順に 選択します。

Ī

.....

...

C.

t

Ī

.....

...

教学公式集	V (5)
口[1]乗法公式(])(★★★)	
$(a+b)^2 = a^2 + 2ab + b^2$	
$(a-b)^2 = a^2 - 2ab + b^2$	
$(a+b)(a-b) = a^2 - b^2$	
$(x+a)(x+b) = x^{2} + (a+b)x + ab$	
$(ax+b)(cx+d) = acx^{2} + (ad+bc)x + bd$	
XCOMERIE:	
最初の 4 つの公式は、すでに中学校で学んだ	もの
であるが、知識を整理するために、 ここにまと	めて

(ツリー形式リスト - 項目の選択方法 🕼 72ペー ジ参照)

• 本文画面で 🚛 を押すと、次の公式の本文画面が表示されます。

Δ

- ●ページスクロールアイコンは、画面右
   上、 
   ④ の左に表示されています。
- スクロールアイコン 数字24549 約7[1]~[38] () [(a + b)<sup>2</sup> = a<sup>2</sup> + 2ab + b<sup>2</sup> (a - b)<sup>2</sup> = a<sup>2</sup> - 2ab + b<sup>2</sup> (a + b)(a - b) = a<sup>2</sup> - b<sup>2</sup> (x + a)(x + b) = x<sup>2</sup> + (a + b) x - ab (ax + b)(cx + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd (at + b)(x + d) = acx<sup>2</sup> + (ad + bc) x + bd

スマートアイコン表示

本文画面エリア



- ●数学公式集の本文画面で表示される★は、重要度を示しています。★の数が多いほど、重要な公式であることを示しています。
- ●物理公式集の本文画面で表示される(A)、(B)、(C)は重要度を示しています。(A)が最も重要な公式で(B)→(C)の順となります。

### 無機化学のキーワードと有機化学のキーワードを 学習します

公式集の画面を表示します。 ✓
でカーソルを移動させ、「⇒無機化学の キーワード」か「⇒有機化学のキーワー ド」のどちらかを選択します。
★ を押すとツリー形式の項目リスト が表示されます。



2 ○ ごうしんでです目を選んでです。を押します。この操作を繰り返し、選択した項目の本文画面を表示します。ここでは、「⇒無機化学のキーワード」→「[1]原子の構成粒子」の順に選択します。



ツリー形式リスト

3 本文画面で、 を押すと、次の本文画 面が表示されます。

ジ参照)

<mark>無機化学のキーワード</mark> [1] 原子の構成♪ <u>(</u> ロキーワード[1]
原子の構成粒子
(t
赐子·中性子·電子
※書記の記念記金2000 原子は、陽子と中性子からなる原子核と、そのまわりを わっている電子からできている。陽子の数が原子番号 電子の数も原子番号に等しい。

本文画面

# 複数辞書検索機能を使う

調べたい語句を、収録した辞典の内容から同時に調べることができ ます。語句の語義や漢字、英訳などをまとめて調べたい時に大変便 利です。

- 読み(日本語検索):大辞林・古語辞典・漢字源・和英辞典・世 界史事典・日本史事典・生物事典・四字熟 語・故事ことわざ
- スペル(英語検索):英和辞典·英英辞典·語義イメージ辞典· 英単語ターゲット·大辞林(略語検索)

## 日本語の読みを入力し、語義や漢字、英訳などを 同時に検索します

[例題]「いん」を入力し、複数の辞典で同時に検索します

を押し、複数辞書検索の検索画面を表示させます。

2 読み入力欄に文字入力キーを使って単語を入力します(ここでは「いん」と入力します)。画面に入力文字に該当する語句が収録辞典を表示するアイコンとともに五十音順に候補表示されます。

(文字入力について 🕞 21ページ参照)



- 3 
   ⑦ / でカーソルを移動させ、調べたい語句を選択します。次に
   ◎ \*\*\* を押して、語義や漢字、または英訳の本文画面を表示させます。
  - どの辞典にも収録されていない語句を入力した場合は、入力した語句に一番近い語句から 五十音順に表示されます。

● 複数辞書検索の本文画面で (▲ / ▲ ● を押した場合は、複数辞書検索の中でヒットした前後の見出し語の本文画面を表示します。

## 英単語を入力し、英文での意味表示、和訳、略語 などを同時に検索します

[例題] 英単語「aid」を入力し、複数の辞典で同時に調べます

複数辞書検索の検索画面を表示させま す。

♥でカーソルをスペル入力欄に移動させます。

- 2 文字入力キーを使って英単語を入力します(ここでは「aid」を入力します)。画面に入力文字に該当する語句が収録辞典を表示するアイコンとともにアルファベット順に候補表示されます。
  - どの辞典にも収録されていない単語を入力した 場合は、入力した単語に一番近いものからアル ファベット順に表示されます。





● 画面上に表示されるアイコンは以下の辞典を表します。

英和:	英和	語義イメージ:イメーシ	大辞林(略語)	: 大部村
英英:	英英	英単語:英単		

- 3 
   マーク でカーソルを移動させ、調べたい語句を選択します。次に ∞∞∞
   を押して、英文での意味や和訳、または略語などの本文画面を表示させ
   ます。
  - 複数辞書検索の本文画面で (▲) / (▲) を押した場合は、複数辞書検索の中でヒットした前後の見出し語の本文画面を表示します。

ディクショナリーリンク機能を使う

### ディクショナリーリンクを使ってジャンプします

表示中の見出し語と同じ見出し語が他の辞典にある場合、画面にリン クアイコンが表示されます。

スタイラスを使って、他の辞典に移って調べることができます。

[例題] 英和辞典の本文画面から英英辞典の本文画面にジャン プします

英和辞典で「various」の本文画面を表示させます。 (検索方法 (2) 34ページの1~3参照) 画面右横にリンクアイコンの 目が表示されます。英英辞典にも同じ見出し 語が収録されていることを示します。 (リンクアイコン (2) 25ページ参照)



- 2 スタイラスで 自をタップします。すると、英英辞典の「various」の本文画面にジャンプします。
  - ●表示中の見出し語と同じ見出し語が他の辞典 にない場合は、リンクアイコンは表示されま せん。
  - 画面上の ▲ をスタイラスでタップすると、 ジャンプ先の本文画面からもとの画面に戻り ます。または、 ▲ を押しても戻ることがで きます。

オックスフォード英英 various	1
<b>vari</b> ·ous /'veəriəs; AmE 'ver-;	1
vær-/	m
adj.	
1 <u>several</u> different:	EJ
EXAMPLE	-
2 ( <i>formal</i> ) having many different	
<u>_features</u> :	
EXAMPLED	
	ăA
	n N
	₽

# マルチジャンプ機能を使う

### 指定した辞典へジャンプします

調べた語句の意味や、例文の中に使われている単語、参照記号(→) を足掛かりとして、他の辞典または参照見出しに移ってそれらの意 味をさらに詳しく調べることができます。

[例題] 「various」の本文画面中の「複数」の意味を調べます

英和辞典で「various」の本文画面を表 示させます。 (検索方法 **(そ)** 34ページの1~3参照)



- - ジャンプを解除する場合は、 (R6) を押してください。

<u>ジーニアス英和 various 回 J</u>	t
* <b>var-i ·ous</b> /véəriəs, ((米+))vér-/ ④	Ŧ
[ <u>→</u> vary]	
1  通例限定  さまさまな,いろいろな,	EE
植々の, それぞれ異なる((◆(1))	-
differentと違って、回種類の複類の	
物・事・人が見ていに異なる」の意いにと	ø
必ず複数名詞を持つ、【3】限定的に、	ž
用いることが多く,秋述的に用いるの	Ř
	AL
Z (@CC戦X) LPR定」 いくつかの (gourge)) タイカ(mony)/▲ X ボ湾地	23
(Several),多くの(Illany)/(▼必り複数 v	┙

- 3 
  を押すとジャンプ先の候補リスト
  が表示されます。
  - どの辞典へジャンプさせるかがはっきりしている場合は、
     毎4
     毎4
     毎4
     を押す代わりにジャンプ先の辞典
     キーを押すと直接指定の辞典へジャンプします
     (指定したジャンプ先に該当の見出し話がない場合は
     (見つかりませんでした"とメッセージが表示されます)。



- ▼/ へ でカーソルを移動しジャンプ先を指定します。その後、再度 ★★★ を押してジャンプを実行します。(ここでは「広部構ふくすう【複数】」 を選びます)。
- 4 大辞林の「複数」の本文画面が表示され ます。
  - 複数の候補がある場合、リスト表示されますので、 √ でカーソルを移動し、ジャンプ先を 指定します。候補が一語しかない場合、直接その 語の本文画面にジャンプします。



ジャンプ先を指定するウィンドウは、選択している語句によって2つに分類されます。			
①:日本語を選択している場合、次の辞	②: 英語を選択している場合、次の辞		
典がジャンプ先の対象となります。	典がジャンプ先の対象となります。		
大辞林 大辞林	英英英英辞典		
和英 ジーニアス和英辞典	英和 ジーニアス英和辞典		
漢字源 漢字源	イメージ 語義イメージ辞典		
四字、四字熟語	英単 英単語ターゲット		
古語 古語辞典	大药林 大辞林略語検索		
世界史世界史事典			
日本史 日本史事典			
故事 故事ことわざ辞典			
<u>生物</u> 生物事典			



### 参照ジャンプを実行します

訳語や語義を調べている際に「→」 が画面上に表示された場合は、 その単語や語句の参照語にジャンプすることができます。

[例題]「various」の本文画面中にある参照語「vary」にジャ ンプします(117ページ操作1からの続き)



3 「→」が反転表示されている状態で (\*\*\*\* を押すと、参照語「vary」の本文 画面へジャンプします。

ジーニアス英和 vary	1
* <b>var-y</b> /véəri, ((米+))vǽri/④	Ŧ
(同音very;題音berry, bury)[「変る」が	m
本義」國variable(形), various(形),	
variation(名)	EE
$\Box_{\mathbf{a}}^{\text{m}(-\cdot \text{les}/-z/;-\cdot \text{lea}/-a/;\sim \cdot \text{ing})}$	ı
質などの占で) …によって/…から	Ĵ
…まで/…の間で]変る,変化[変動]す	Q:
る[with, according to/from	E
to/between] (◆changeと異なり	ấA
<u>_部分</u> 的にしだいに変ることをいう》	n
例文》	∕⊷

生物辞典の本文画面に 国 が表示されてい る場合は、 / / / / ) でカーソ ルを移動させ、 国 を反転させて を押 すと、参照画像を表示させることができま す。

(手順は参照ジャンプと同様です 119ページ参照)



### 2文字以上の熟語を選択する場合

ジャンプしたい単語が2文字以上である場合は、 2020 を押した後 2020 (2020) () でカーソルを選択したい語句の最初の文字まで移動させます。次に 2020 を押 すと画面上の [] が反転します。その後、 () を押して反転文字範囲をひろげてく ださい。

● 記号や記号を含む文字列は選択できません。

● (№)を押すとジャンプを解除します。

#### スタイラスで画面上の文字を選択する場合

スタイラスで画面上の文字を選んでジャンプすることができます。

1文字を選択する場合は、スタイラスで1回タップして選択し、反転した文字をもう1度タップするとジャンプ先の候補リストが表示されます。

2文字以上を選択する場合は、最初の文字を選択し、スタイラスを画面から離さ ずに最後の文字までスライドさせます。スライドさせた箇所が黒く反転表示され ますので、反転した箇所をタップするとジャンプ先の候補リストが表示されま す。

# 関連語句を調べる

### 慣用連語、複合語、成句、句動詞を表示します

英英辞典、英和辞典、和英辞典、古語辞典の本文画面右上に次の マークが表示されている場合は、その見出し語を使った慣用連語、 複合語、成句、句動詞のリスト画面にジャンプすることができま す。

英和辞典	古語辞典
英英辞典	和英辞典

[例題] 英和辞典の本文画面から成句リストにジャンプします (ここでは英和辞典の場合を例として説明します)

英和辞典で「apple」の本文画面を表示 させます。画面右上に ြのが表示されて いることを確認します。

(検索方法 🕞 34ページの1~3を参照)



2 愛愛を押して、「apple」の成句リストを表示させます。

でカーソルを移動させ、調べたい成句を選択します(ここでは「apple of discord」を選択します)。

●スタイラスを使う場合は、本文画面右上のアイコン つをタップすると成句リストが表示されます。

ジーニアス英和 apple	1
成句リスト	٦Ì,
ápple of díscord	
pólish ápples [the ápple]	
the apple of O´s [the] eye	
the apple of love	
the apple of Sodom =the Dead Sea ap⊳	
	R
	t 5

3 次に (\*\*\*\*) を押して、本文画面該当箇 所を表示させます。



### [例題] 英和辞典の本文画面から複合語リストにジャンプします

英和辞典「apple」の本文画面右上に覆 が表示されていることを確認します。

ジーニアス英和 apple 回復	
<b>≭ap·ple</b> /ǽpl/ <b>€</b> _	1
<b>⊢</b> ☎(@~s/-z/) ©	m
1 リンゴ《◆fruitの中で最も典型的なも	› 🖽
のとされる; cf. →carrot, →robin》;	EE
=▲~ tree	
[9] X 9 [47] = ¥ 5	
<u>脾説</u> クロンデバス例た用字//anab a. love a.	<b>e</b>
4 リンコにW/2未夫(Clab **, IOVE **,	- á
May つるこ//.   3 (形, 缶たどが) リンゴに付たたの・((半	Ř
「「「の」」となどがフラコにしてものが、	ା <sub>ଜନ</sub>
▲ [the A~] ((米俗))=→Big Apple	0
5 (米俗) 白人べったりのインディアン	نہ 🗸

- 2 <sup>\*\*\*\*\*</sup> を2回押して、「apple」の複合語 リストを表示させます。 ● / ▲ でカーソルを移動させ、調べ たい複合語を選択します(ここでは 「~butter」を選択します)。
  - ●本文画面上に 句が表示されている場合は、先に 成句リストが表示されます。複合語リストを表示 するためには、2回 ● を押してください。

ジーニアス英和 apple	11
複合語リスト	ļİ.
~ brándy	m
~ bùtter	
~ pie	
~ sauce	
~ trée	
	10
	ÀΠ
	n
	4

- 複合語リスト画面で (闘) を再度押すと、本文画面に戻ります。
- スタイラスを使う場合は、画面右上のアイコン **閥** をタップすると複合語リストが表示されます。

3 次に www を押して、本文画面該当箇 所を表示させます。

ジーニアス英和 apple	回摑 ↑
⊠~ bùtter	^ ₽
リンゴジャム.	
题~ pie	
→ 兄山市 阔~ Sauce	EE
▲ 見出語	
⊠~ trèe	_
─ リンゴの木.	Ţ
	<b>1</b>
	AH A

古語辞典で慣用連語・複合語リストを表示させる場合も、英和辞典の操作方法 と同じです。 和英辞典の本文画面で ()) を押すと複合語リストが表示され、もう1度 ()) 本文画面に戻ります。 英英辞典で本文画面右上に [][[]の両方が表示されている場合、 ()) を押すと まず成句 ([]]) リストが表示されます。句動詞 ([]) リストを表示させるに は、もう1度 ()) を押してください。

単語帳を使う

各辞典に収録されている単語を単語帳に登録することができます。また、登録した後に指定した単語帳に分類することもできます。

### 覚えたい語句を単語帳に登録します

### [例題] 34ページで調べた英単語「head」を単語帳に登録 します

英和辞典で「head」の本文画面を表示 させます。 (検索方法 **にず** 34ページの1~3参照)



2 ■■ 押すと、画面に"単語帳に登録されました"のメッセージが表示され、 表示中の単語本文画面が単語帳に登録されます。

●単語帳には合計1000件の単語を登録することが できます。

ジーニアス英和 head	回閥	1
thead /héd/@		<b>↓</b>
▲圖→成句→圖→圖→個→成句・	▲分離	i
複合語		
-📲 🥵 ~s/hédz/) 🖸		EE
	مد مد ۱	١m
単海岬(クジジントカナー) た		
手詰板に豆球されました		
		ן 🖗
例文》		-  {
2 頭脳 理性 分別(intellect): […	・に対	R
する](実際的)才能[for]	,0,,	"Ã
例文多		0
3 「通例the ~] (部局などの)長	頭(か)	
	****	VI 🖵

単語帳は、大辞林・英和辞典・和英辞典・英英辞典・漢字源・生物事典・ 古語辞典・語義イメージ辞典・世界史事典・日本史事典・四字熟語辞典・ 故事ことわざ辞典・英単語ターゲット1900・英熟語ターゲット1000で使 用することができます。 ※上記以外の辞典・モード、例文検索で表示された本文画面は単語帳に登録できま

せん。

### 単語帳を活用します

### 登録した単語を分類します

[例題] 124ページで登録した英単語「head」を単語帳No.1に分類します (ここでは単語が複数登録されている場合を例に挙げます)

- - スタイラスを使う場合は、分類表示を直接タップ します。
- 3 分類先がプルダウン表示されますの で、 ○ でカーソルを移動させ、分類先 の単語帳を選択します(ここでは「単語 帳N o.1」を選択します)。
- - 分類先を変更したい場合は、同じ手順で分類先を 選択しなおします。
  - 単語の分類を行う場合は、必ず分類したい単語の 本文画面を表示した状態で ■ を押してください。リスト画面では分類はできません。



125

### リスト画面で表示する単語帳を選択します

# [例題]「単語帳No.1」に分類されている単語のみリスト表示します

- ■■■ を押して、単語帳リスト画面を表示します。
  - 画面右上の表示が「すべて表示」になっている場合は、単語帳に登録されている単語がすべて表示されています。

単語帳	13件   ▶オブ	ション ▶す	べて表示	t
	cc[blind_carbor	.▷ 未設5		ŧ
□ 與和*	head	単語	🖩 No. 1 📲	-
	various	未設知	2 1	
	apple	未設知	2 [	
	subordinate	未設知	2	
	tàke cáre of O	未設知	2	
	loon	未設知	2	
	hold_'on	未設定	2	
🗆 🖼翻 き	きら【*綺羅】	未設定	2	
□ ð	ちまあし【雨脚・「	恥 未設5	2	
	島く猫(ねこ)は聞	診 未設5	E A	ŝA
口 和悪) &	かいよ【名誉】	未設定	2	n
□ 古語 *	わ ぶ【侘ぶ】	未設定	2	μ

- 2 た押すと画面上のオプションメ ニューがプルダウン表示されます。 ● でカーソルを右に移動させると、 表示項目がプルダウン表示されます。 ● でカーソルを移動させ表示項目を選 択します(ここでは「単語帳No.1」を 選択します)。
  - を押すと、「単語帳No.1」に登録 されている単語のみがリスト表示され、 画面右上の表示項目が「単語帳No.1」に変わります。
    - ●表示したい単語帳を切り替えたい場合には、同じ 手順で表示させる単語帳を選択しなおします。 「すべて表示」を選択すると、単語帳に登録され ている単語すべてが表示されます。
    - スタイラスを使う場合は、表示項目を直接タップします。

ij	語帳	13件	▶オプ∶	ション	▼すべて	表示	<b>†</b>
	大翻歌	bee[blind	. carbon	▶ 未記	すべてき	表示	Ŧ
	英和:	head		単計	単語帳	No.1	m
	*	various		未記	単語帳	No.2	
	*	apple		未記	単語帳	No.3	_
	+	subordin	ate	未記	未設定		
	英和成*	'tàke cár	e of O	未記	定		
	英英)	aoon		未記	定		
	英英武士	hold 'on		未記	定		
	気部構え	きら【▼綺	羅】	未記	定		
		あまあし	【雨脚·雨	⊉ 未讀	定		
	大辞慣「	鳥く猫(扌	aこ)は鼠	1)未記	定		ÃΑ
	和夏	めいよ【彳	Z誉】	未記	定		n
	古語:	わぶ【作	ERSKI	未記	定		↵



### マーカー機能を使います

- を押して単語帳リスト画面を表示 させます。
   で学習したい単語 を選択して
   を押し、本文画面を表示させます
   ここでは「head」を選択 します)。
- 2 本文画面表示中に 23 を押すと、画面 上部に Mが表示されます。 √ ▲/
  () / ○ でアンダーラインを引きたい 箇所の文頭にカーソルを移動させ、
  (2) を押します。
- 3 → でアンダーラインを引きたい箇所 の終わりまでカーソルを移動させ、 →★★★ を押します。

- 4 選択した箇所にアンダーラインが引かれて表示されます。
  - スタイラスを使う場合は、本文画面表示中に画面 右の ∮ をタッブすると、画面上に M が表示され ます。アンダーラインを引きたい箇所の文頭から 文末までをスタイラスでスライドさせ黒く反転さ せます。反転した箇所をタップすると、選択した 箇所にアンダーラインが引かれて表示されます。
  - 登録した単語1つにつき、5箇所までアンダーラインを引くことができます。

単語帳	:単語帳 No.1	t
□*head_/héd/@	• • • · · · · · · · · ·	ŧ
▲醫▲成句▲團▲ 地心語	馏▲目▲成句▲分離	
-   複合語 - <b>L図(の</b> ang/háda/)(	n	<u></u>
「圓(圖~S/IIEUZ/) ( 1	し しんしょう しんしょ しんしょ	EE
	anのクエの向力とで Z形交詞conhalic)	iii)
例文3)	CUN-Harlockingiton	
解説》		Ĵ
例文》		۲
2 頭脳,理性,分別	(intellect);[…(こ対	Ľ
(実際的)ス	f能[for]	Ă۴
例文》		ŝ
3 [通例the ~] (晋	#局などの)長,頭(か ↓	<u>ل</u>
単語帳	M.単語帳 No.1	Î
□ <b>*head</b> /héd/�ŧ		Į
▲齧▲成句▲翻▲	⑭▲圓▲成句▲分離	
複合語	_	
- <b>⊢⊠(@</b> ~s/hedz/) l		EE
<b>Ⅰ 興</b> , 自《◆自(nec	<u>関から</u> 上の部分をさ	語
	K形容詞cephalic》	
191 <u>×</u> 9 67=8×		P
<u>用牛 市兄</u> 父 (仮)		á
2 頭脳 理性 分別	(intellect) · [(マタナ	Š.
- オス)(宇隆的)っ	(IIIにIICOL),( (C))」 と能[for]	δĒ
- 例文》	I HELI OI J	ic.
3 [通例the ~] (#	8局などの)長.頭(か 🗸	ب
単語版	M 単語帳 No.1	4
里語版 □ <b>*head</b> /héd/ɗ£	M 単語帳 No.1	1 1
単語版 □*head /héd/低 ▲ 留→成句→聞→	<u> </u>	<b>↑</b>
<b>単簡限</b> □ <b>*head</b> /héd/�� ▲ <b>褞</b> →成句→ <b>団</b> → 複合語	<ul> <li>■ 譜號 No.1)</li> <li>● ▲ 億 ▲ 成句 ▲ 分離</li> </ul>	<b>↑ ↓ Ⅲ Ⅲ</b>
<b>単語版</b> □ <b>*head</b> /héd/低 → <b>留</b> →成句→ <b>鬪→</b> 複合語 <b>一留(쪦</b> ~ <u>s/hédz/)〔</u>		
<ul> <li>里台板     <li>□ *head /héd/係     <li>▲ 盆 ム 成句 ▲ 國 ▲</li> <li>複合語</li> <li>→ 褶(@~s/hédz/)(</li> <li>1 頭,首(▲▲ 真), no</li> </li></li></ul>	<ul> <li>■単語帳 No.1)</li> <li>●▲ 個 → 成句 → 分離</li> <li>○</li>     &lt;</ul>	
<ul> <li>里語吸</li> <li>□*head /héd/%:</li> <li>▲ 圖 → 瓜句 → 圖 → 複合語</li> <li>● 留(@~s/hédz/)(</li> <li>1 頭, 首《◆首(neo す:▲比爾》《外考</li> </ul>	<u>■単語帳 №.1</u> 他へ自へ成句へ分離 C Rから上の部分をさ R形容詞cephalic》	
<ul> <li>単語域</li> <li>□*head /héd/0k</li> <li>▲ 2 へ成句 ▲ 図</li> <li>複合語</li> <li>一 2 ( 2 ~s/hédz /) (</li> <li>1 頭 貫紙 ▲ 首 ( neo す; ▲ 比較) ※/h ジ</li> <li>例文》</li> </ul>	■単語帳 No.1 ● ▲ ● ▲ 成 句 ▲ 分離 C のから上の部分をさ 来形容詞cephalic》	
<ul> <li>単語版</li> <li>□*head / héd/④:</li> <li>● 成句 ▲ 動</li> <li>● 成句 ▲ 動</li> <li>● (劉・s/hédz/) 「</li> <li>1 回用当《● 言(和のの)</li> <li>す: ▲ 認知》(秋与)</li> <li>● 開設》</li> <li>● 解説》</li> </ul>	<ul> <li>■ 注語帳 No.11</li> <li>● へ 自 へ 成 句 へ 分離</li> <li>○</li> /ul>	▲●■ⅢऍЁ ♀~
中語10度     は     は     は     は     は     は     は     は     は     ん     は     ん     ら     は     し     ま     た     ら     た     ら     ム     し     ま     し     ま     た     の     し     た     の     し     ま     し     し     ま     し     し     た     の     し	■単語帳 No.11 ● - ● - 成句 - 分離 ③ R からこの部分をさ R形容詞cephalic》 (intellect) - ((こす)	▲●■Ⅲⅲ ♀♀
中語10年 日本head /héd/08: ▲ 28→成句 ▲ 30→ 複合語 です。 すま、 の方の 阿文 阿文 阿文 阿文 阿文 アス 留職 マス て、 日本 です。 て、 の方で、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 のので、 のでの、 のでの、 のでの、 のでのでのでのでのです。 のでのでのでのです。 のでのでのでのです。 のでのでのです。 のでのでのです。 のでのでのです。 のでのでのです。 のでのでのです。 のでのです。 のでのです。 のでのです。 のでのです。 のでのです。 のでのです。 のでのです。 のでのです。 のでのです。 のでのです。 のでのです。 のでのです。 のです。 のです。 のです。 のでのです。 のでです。 のでです。 のでです。 のででです。	<u> 図単語帳 №.11</u> <b>⑫ - 億 -</b> 成句 <b>-</b> 分離 ③ ③ かたう <b>-</b> の部分をさ K形容詞cephalic》 (intellect);[…(こ対 +をEfacl	▲●■圓直直■●●
中語106     □ <b>*head</b> /héd/④     · <b>*2</b> 3 • 成句 • <b>國</b> • · <b>*</b> 26 • 成句 • <b>國</b> • · <b>*</b> 2(③ • s/hédz/) [     1 <b>照用 (* * 5</b> · hédz/) [     1 <b>照</b> (* 5 · hédz/) [     1 <b>以</b> (* 5 · hédz/) [     1 <b>い</b> (* 5 · hédz/) [     1 <b>い</b> (* 5 · hédz/) [     1 <b>い</b> (* 5 · hedz/) [     1 <b>い</b> (	図単語帳 №.11 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (	▲●■■■■■●●●
中語10度     □ <b>*head</b> /héd/④:     ▲ 28 - 成句 ▲ 30 - 10 → 10 → 10 → 10 → 10 → 10 → 10 → 1	<b>四</b> 単語帳 No.11 <b>ゆ - ●</b> → 成句 → 分離 う ( <i>intellect</i> );[…(こ対 f能[for] 80 局などの)長、額(か ↓	↓ 2 2 √ ④ 6 ● ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
<ul> <li>中語16番</li> <li>□ thead /héd/④:</li> <li>▲ 溜→成句▲ 副→</li> <li>複合語(一個)→ 国→</li> <li>複合語(一個)→</li> <li>(個)→ 5/hédz/)(</li> <li>1 頭見((個)→ 5/hédz/)(</li> <li>1 面向)</li> <li>1 面向)&lt;</li></ul>	図単語順 No.11 ゆ・●・成句・分離 ③ かたうこの部分を含 解子容詞oephalic》 (intellect);[…に対 f能[for] 卵局などの)長、頭(か、	↓ 2 2 5 € 6 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
中語は 日本pead /héd/④: 一番●→成句→園→ 複合語 一書(●~s/hédz/)( 町町首《▲首(mee すっ)(東西)( 函支) 麗政) 函支) 2 頭脳,理性、分別 する)(実際的)> 函支) 3 [通例the ~] (音	図単語帳 №.1 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	▲●□□□■●●●
中語166 □ thead /héd/④t - 28 - 成句 ▲ 動 → 液合語 - 28 (急から/hédz/) ( 1 5日 - 20 (美際的)の 「 1 5日 - 20 (美際的)の 「 2 5日 (美際的)の ③ (美際的)の ③ (通例the ~] (音 ■ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	御・倉・成句・分離 のからしの部分をさ 形容詞cephallo》 (intellect);[…(こ対 f能[for] 部局などの)長,頭(か ↓ 単語順 No.11	●● 「▲」別以「●⑤。 前回回 ●●
中語16歳     「注意16歳     「かられく使:     「注意16歳     「「「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」	田津語陳 No.11     御・●・成句・分離     ⑦	●● 【】513√④⑤。 頭頭頭目●●
中語は表 は、中語は、 は、中語は、 は、一部では、 は、一部では、 は、一部では、 は、 で、 は、 で、 は、 い、 は、 い、 は、 い、、 い、 い、 い、、 い、、 い、、 い、、 い、 、 、 、 い、 い、	図 単語帳 No.11   個 小倉 → 成句 → 分離   (D) から 上の部分をさ   R形容詞cephalio   (intellect);[… に対 fiを[for]   約 約 の しの   約 約 の しの   1 御 本 〇 → 分離	▆▆✦➡ [f2??<@?? ▣ॿ✦➡]
中語16 二	<ul> <li>図単語帳 №.1</li> <li>(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)</li></ul>	●●■■■■●● 「~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~
中語16歳     「注意16歳     「ご 16歳     「ご 16歳     「ご 16歳     」	御・●・成句・分離 のから・の部分をさ のから・の部分をさ のから・の部分をさ のから・の部分をさ のです。 のでです。 のでのでです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のです。 のででので、 のででのででで、 のででので、 のででのでので、 のででのでのでで、 のででのでのでので、 のででのでのでででででで、 のででのでででででででででで	●●□□■●● 「~~ ~ ~ ~ ~ ● ● ●
中語10年 日本自由 / héd/④: 一部一番(小éd/④: 一部一番(小éd/④: 一部(●~s/hédz/)( 1 頭尾(●~s/hédz/)( 1 頭尾(●~s/hédz/)( 1 頭尾(● 2 頭脳:理性、分別 する)(実際的)。 回文》 3 「通例the ~](套 二計画は / héd/④: - 〇音→成句→ 箇→ 複合語 一部1640/01 二計画1640/④: 一部1640/01 二前一〇一一〇二〇〇 二前の1640/01 二の1640/01 二前の1	<b>四</b> 単語帳 No.11 <b>御・御・</b> 成句→分離 () () () () () () () (	●●□□■●●
中語16度     「「中国16」/小信d/④E     「「「「「「「「」」」」」     「「」」     「「」「「」」     「「」「」」     「「」」     「「」」     「「」」     「「」」     「「」」     「「」」     「「」」     「「」」     「「」」     「「」」     「「」」     「「」」     「「」     「「」     「「」」     「「」     「「」     「「」     「「」     「「」     「「」     「「」     「「」     「「」     「「」     「「」     「     「」	田津語帳 No.11     他 - ● → 成句 → 分離     ①     ①     から」 - の部分をさ     形容詞cephallo     べ     にす     がら」     で     の	● ■■■■●● ↓ 2 2 2 ④ ③ ■ ■■■■●●
中語10歳     「計合相(小信(小信)     「第合相(小信(小信)     「第一番(小信)へ信:     「第一番(金)-S/hédz/)(     「第二番(金)小信(小信)     「第二番(金)小信(小信)     「第二番(金)小信(小信)     「第一番(金)小信(小信)     「第一番(金)小信(小信)     「第一番(金)-大信(小信)     「第一番(金)-大信(小信)     「第一番(金)-大信(小信)     「第一番(金)-大信(小信)     「第三番(金)-大信(小信)     「第三番(金)-大信(小信))     「第三番(金)-大信(小信)))     「第三番(金)-大信(金)(右)-(3)(3)-(3)(3)-(3)(3)-(3)-(3)-(3)	御・●・成句・分離 のから・の部分をさ 形容詞cephalic》 (intellect):[…(こ対 f能[for] 部局などの)長,頭(か ↓ 単語帳 No.11 個・●・成句・分離 C) Rがら上の部分をさ R形容詞cephalic》	▲●■■■■●● 【】がくるる 重更更■●●
中語10-5     □ thead /héd/④:     ▲ 23→ 成句 ▲ 33→ 成句 ▲ 33→ 成句 ▲ 33→ 成句 ▲ 33→ ん句 ▲ 33→ ん句 ▲ 33→ ん句 ▲ 33→ んう ▲ 33→ ん 33→ ん 33→ ん 33→ ん 33→ ん 33→ 0 → 33→ 0	〇里語帳 No.11     〇一 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	(●● ■■■■●● ↓ ↓ ↓ ↓ ●● ■■■■● ● (●)
中語105     □      ホーロ4 / héd/④ε     ・          · ▲          · 本          · 福山         · 本          · 南         · 小          · 南         · 小          · 南         · 小          · 南         · 小          · 南         · 小          · 南         · 小          · 南         · 小          · 南         · 小          · 南         · 小          · 南         · 小          · 南         · 小          · 南         · 小          · 南         · · 和         · · 和         · · · ·	田津語帳 No.11     他・自→成句→分離     ①     から」の部分をさ     ドが容詞cephallo》     (intellect);[… に対     f能[for]     部局などの)長、頭(か 、     単語帳 No.11     他・自→成句→分離     ①     から上の部分をさ     形容詞cephallo》     (intellect);[…に対     (intellect);[…に対	¢<@? Intervention (1) 22 < @? Intervention (1) 22 < @
中語16歳     「読んの「「「「「」」     「「」     「」     「「」     「」     「「」     「」     「「」     「」	御・●・成句・分離 のからーの部分をさ 形容詞cephalic》 (intellect):[…(ご対 f能[for] 部局などの)長,頭(か v 単語限 No.11 御・●・成句・分離 C) ( <i>intellect</i> ):[…(ご対 f能[for] (intellect):[…(ご対 f能[for]	treventer and a sector and a s
中語105     □ thead /héd/④:     ▲ 23→成句 ▲ 33→成句 ▲ 33→ 市合式 / 小園 ▲ 花句 ▲ 33→ で、一部の、一部の、一部の、 回支)     2 頭脳、理性、分別 する」(実際的)> 3 「通例the ~] (約 1 頭,直似 白 / ④ 2 小成句 → 33→ 1 通 / 竹the ~] (約 1 頭,直似 白 / ④ 1 頭,直似 白 / ④ 1 頭,直似 白 / ⑤ 1 頭,直似 白 / ⑥ 1 頭,直(1) 1 頭) 1 頭,直(1) 1 頭) 1 頭,直(1) 1 頭) 1 頭(1) 1 頭,直(1) 1 頭,直(1) 1 頭) 1 頭,直(1) 1 頭,直(1) 1 面) 1 頭,直(1) 1 面) 1 面)	田津語帳 No.11     他 → 億 → 成句 → 分離     で     (intellect);[… に対     řɛ̃(for]     昭高などの)長,頭(か ∨     理語帳 No.11     個 → 億 → 成句 → 分離     ご     (intellect);[… に対     řɛ̃(for]     (intellect);[… に対     řɛ̃(for]     (intellect);[… に対     řɛ̃(for]	▲●■■■■■●●】【】#4~●●■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

### アンダーラインを消します

- アンダーラインを引いた単語の本文画 面を表示させます(ここでは [head] の本文画面を表示させます)。
- 本文画面表示中に (2)2 を押すと、 面面 上に回が表示されます。 アンダーラインを引いた箇所の先頭に カーソルを移動させ、 ())) を押しま す。
- 画面に"選択されているマーカーを削除 します"のメッセージが表示されますの で、カーソルを移動させ「はい」を選択 した後、(W·\*\*)を押します。
- "マーカーが削除されました"のメッセー ジが表示され、アンダーラインが消され た本文画面が表示されます。
  - スタイラスを使う場合は、画面右の 🖉 をタップ すると画面上にMが表示されます。アンダーライ ンの先頭の文字をタップし黒く反転させ、 (19/19) を 押してください。



9 ¶ ∦ ∦ 2 頭脳,理性,分別(intellect);[…に対 する](実際的)才能[for] 図文 n 3 [通例the~] (部局などの)長,頭(か 単語帳 M単語帳 No.1 t □**\*head** /héd/�€ t □\*meau / new ver ▲圖→成句→**圓→個→**目→成句→分離 複合語 **─劉(題**~s/hédz/) ① .... 10.首《◆首(néck)から上の部分を す;▲ЦЦ図》《外来形容詞cephalic》 <u>上の部分をさ</u> 1 ₽ ∰ # 解說例文》 2 頭脳,理性,分別(intellect);[…に対 する](実際的)才能[for] 例文》 n 3 [通例the ~] (部局などの)長,頭(か

▲醤→成句→圓→@→自→成句→分離

<sup>楼</sup>日記 -**超**(観~s/hédz/) ① 1 頭,首《◆首(<u>neok</u>)から上の部分を す;**→世辺**》《外来形容詞cephalic》 例文》

単語帳 No.1

<u>上の部分をさ</u>

t

t

.....

...

単語帳

解説》 例文》

複合

□\*head /héd/@

単語帳 M単語帳 No.1 t □**\*head** /héd/�€ t →28→成句→**圆→®→**(1→成句→分離 複合語 ..... .... **籀(@**~s/hédz/) [C] マーカー削除 資: 選択されているマーカーを削除します (±U) いいえ ₽ ¶ A 例文》 2<sup>1</sup>頭脳,理性,分別(intellect);[…に対 する](実際的)才能[for] 図2<sup>3</sup> n 3 [通例the ~] (部局な<u>どの)長,頭(か</u>

### オプションメニューからアンダーラインを消します

- 1 単語帳リスト画面で を押すと、オ プションメニューがプルダウン表示さ れます。
  - スタイラスを使う場合は、オプションを直接タッ プします。

Ë	「語帳」	13件	▼オプショ	ョン▶す	べて表示	
	大評點b	cc[blind]	C2 単語味識	虚 阮	3	ļ
		nead	単語帳削	除神	E No.1	m
	·*	arious 🗌	マーカー	削除员	2	
	***	apple		未設に	Ē	
	*s	ubordina	te	未設が	Ē	
	<b>英和成</b> *t	tàke cáre	of O	未設定	2	
	英英m	oon		未設定	2	
	展開した	nold 'on		未設定	2	
	尿翻き	\$ら【▼綺羅	翟】	未設定	2	
	Ð	5まあし【	雨脚·雨▷	未設定	2	
	<b>大暗</b> 鳴	鳥く猫(ね	こ)は鼠レ	未設定	2	ÅΑ
	和奥め	いよ【名	誉】	未設定	2	n
	<b>問題</b> *7	わぶ【侘	30	未設計	2	L.

- 2 〒で「マーカー削除」を選択し を選択し、マーカー削除の画面が表示されます。
  - 以下の項目からアンダーラインを削除する単語を選びます。

選択されている単語	リスト画面で選択されている単語の本文画面中の
のマーカーを削除	アンダーラインのみを削除します。
すべて削除	特定の単語帳、または登録されている単語すべての本文
	画面中のアンダーラインを削除します。

選択されている単語のマーカーを削除する場合

で「選択されている単語のマーカーを削除」を選びます。次に(//) で「はい」を選んで \*\*\*\* を押すと、選択されている単語の本文画面からアンダーラインが消されます。



#### すべてを削除する場合

◇で「すべて削除」を選び、
 ◇
 ◇
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○
 ○

 選択した単語や単語帳の中の単語にアンダーライン が引かれていない場合は、"マーカーが登録されて いません"のメッセージが表示されます。



単語帳に登録された単語の本文画面表示中に \*\*\*\* <<br/>
<br/>
<

リスト画面で表示する単語帳を選択した後、特定の単語帳に登録されている単語の 本文画面を表示させ、\*\*\*\* / 、 ー ~ キーを押すと、同じ単語帳に分類されている前後 の単語の本文画面を表示します。

### ✓ チェックボックス

単語帳リスト画面、または本文画面の見出し語の頭にある 🇹 チェックマークボックスに、 — を押すとチェックマークを入れることができます。再度 — を押すと、チェックマークを解除 することができます。

スタイラスを使う場合は、単語の頭にある□チェックボックスを直接タップするとチェックを入 れることができます。再度タップするとチェックマークを解除することができます。

単語帳設定画面でチェックマークをつけた単語の表示・非表示を設定することができます。 (単語の表示設定 131ページ参照)

### 単語帳の設定をします

単語帳 を押して、単語帳リスト画面を表示させます。
 \*\*\*\*\*
 \*\*\*\*\*
 \*\*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*\*
 \*\*\*\*
 \*\*\*\*\*
 \*\*\*\*</l

- スタイラスを使う場合は、オプションを直接タッ プします。
- □ 大評問bcc blind ca 単語帳設定 bc Ŧ 🗆 🛄 🖬 🖬 単語帳削除 雘 .... \*various 末設定 \*apple 'subordinate □ 2000 □ 200 □ 🗰 🗰 \*tàke cáre of O 未設定 ĂΑ 未設定 ŝ

▼オブション ▶すべて表示

<u>単語帳 13件</u>

2 で「単語帳設定」を選択し、 \*\*\*\* を押すと単語帳設定画面が表示されま す。



3 ○/ ○ で設定したい項目を選択し、
 ぐ / ○ で内容を選択します。
 その後、「設定終了」を選択し、
 ●以下を参考に項目を選んで、設定してください。

表	示順	登録単語の表示順序を示します。
	登録順	単語帳に登録した順番です。初期設定は「登録順」に設定されてい
		ます。
	アルファベット順	英単語ならアルファベット順、日本語なら五十音順に表示します。
辞典別		辞典ごとに分けるかどうかを設定します。
	はい	辞典ごとに分けて表示します。初期設定は「はい」に設定されてい
		ます。
	いいえ	辞典ごとに分けることなく登録順またはアルファベット順に表示し
		ます。
チ	ェック済み単語	チェックマーク(🖬 )を入れた単語の表示を設定します。
	表示する	チェック済み単語を表示します。初期設定は「表示する」に設定さ
		れています。
	表示しない	チェック済み単語を表示しません。
表	示方法	単語帳の表示方法を設定します。
	すべて表示	単語、単語の本文内容をすべて表示します。初期設定は「すべて表
		示」に設定されています。
	見出し語を隠す	単語を隠して表示します。
	内容を隠す	単語の本文内容を隠して表示します。
	マーカーを隠す	アンダーラインを引いた箇所を隠して表示します。

#### 表示方法について

表示方法で「見出し語を隠す」「内容を隠 す」「マーカーを隠す」のいずれかを選ん で設定すると、単語帳に登録された単語の 本文画面でそれぞれの項目が隠されて表示 されます。 次に we を押すと、隠されていた内容が表 示されます。



### 単語帳のデータを削除します

各辞典の単語帳に登録したデータは、1単語ずつまたは単語帳ごとに まとめて削除することができます。

### 1単語ずつ削除する

 削除したい単語の本文画面を表示させ ます(ここでは「head」を削除しま す)。

を押すと、画面に"この単語を削除します"のメッセージが表示されます。





3 「はい」を選択した後 ☞★★ を押すと、 "削除されました"が表示され、表示中 の単語が単語帳から削除されます。

単語帳	単語帳 No.1	
□* <b>head</b> /héd/ <b>@</b> ÷		₽
│ <u>→፼→</u> 成句→ໜ→@→열→成	句▲分離	m
	****	트
『甾澤西梅』No. 1.0		
単除されました		
		ÿ
例文》		٩ţ
2 頭脳,理性,分別(intellect);	[…に対	4
「する」(実際的)才能しfor」		ăΑ
	= ==(1.	2
<b>3</b> [通例the ~] (部局などの)	長,顕\ひ ∨	₩.

### 指定項目の単語を削除する

- - スタイラスを使う場合は、オプションを直接タッ プします。
- 2 で「単語帳削除」を選択して \*\*\*\* を押すと、単語帳削除画面が表示され ます。

単語帳 13件	▼オプション	▶すべて表示	
□ 大諦的bcc[blind ca	単語帳設定	定	<b>↓</b>
口 奥和 *head	単語帳削除	「評帳 No.1	
□ *various	マーカー削除	設定	
□ *apple	未	設定	
🗆 †subordinate	: 未!	設定	
∣□ <b>Qanux</b> *tàke cáre c	of 0 未調	設定	
口 英英 moon	未	設定	
🗖 🛄 ihold 'on	未	設定	
🛛 🖼翻きら【*綺羅】	し 未	設定	
ロ あまあし【雨	Ì脚·雨▷ 未	設定	
ロ 🚾 📲 鳴く猫(ねこ	.)は鼠▷ 未!	設定	ĂΑ
口 🌆 めいよ【名誉	うま	設定	n
0 閻闇*わ・ぶ【侘ぶ	】 未	設定	ଡ଼



3 以下の項目から削除したい単語に応じて項目を選びます。

選択されている単語のみ削除	リスト上で選択した単語のみ削除する場合
チェック済み単語削除	チェックを付けた単語を削除する場合
	単語帳Noを選ぶと、選択した単語帳の中のチェック済み
	単語をすべて削除します。
単語帳削除	単語帳ごと、または登録されているすべての単語を削除す
	る場合
	・削除したい単語帳Noを選ぶと、選択した単語帳の中
	のすべての単語を削除します。
	<ul> <li>「すべて」を選ぶと単語帳に登録されたすべての単語を</li> </ul>
	削除します。

- - 削除しない場合は、(№)を押すと単語リスト画面に戻ります。



英単語のつづりがはっきりわからない時は、スペルチェック機能で 曖昧なつづりのまま候補を絞り込むことができます。

[例題] 「fizical」と入力して「physical」を検索してみます

英和辞典のスペル入力欄に、曖昧なつ づりの英単語を入力します(ここでは 「fizical」と入力します)。

- 2 を押すと、入力された文字にスペ ルチェックがかけられ、該当する英単 語が「該当」欄に、候補が「候補」欄 に表示されます。
  - ●該当する語がない場合は、「該当」欄には"見つかりませんでした"と表示され、入力文字に類似した単語が「候補」欄に表示されます。







スペルチェック機能は、英英検索・英和検索のスペル入力欄でのみ使用で きます。

# ワイルドカードサーチ機能を使う

英単語のつづりや曖昧な語句を調べる時に、分かるところまで文字を入力 し、不明なところは「\*」(アスタリスク)または「?」(クエスチョン) を入力して候補を絞り込むことができます。また、語句の最初に「\*」を 付けると、入力した語句が最後につく言葉を逆引きすることもできます。

不明な文字の代わりに入力する「\*」/「?」をワイルドカードといいます。「\*」 は指定文字数に制限がないことを意味します。それに対して「?」は、1つで1文字 のみ指定します。(「??」と入力すれば2文字を指定したことになります。) 「?」を入力するには 🚳 を1回押し、「\*」を入力するには 🚳 を2回押します。

[例題1.] 「ジーニアス英和辞典」で「菊 (chrysanthemum)」の つづりを「\*」(アスタリスク)を使って調べます

「chr\*m」と入力します。

検索対象となる単語は「chr」で始まり、最後 が「m」であれば、その間はどんな文字で何文 字でもかまわないということになります。

ジーニアス英和 スペル【Chr*m Chrism (Chromatic) chromáticism chromium chrysanthemum	
	t 5 🕅

[例題2.] 大辞林で語尾に「そら」のつく語句を逆引きします

読み入力欄に「\*そら」と入力します。

●「そら」が最後につく語句が五十音順に候補表示 されます。

大辞林逆引き検索を使うと、\*を入力せずに逆引き検索することができます。
 (語句の語尾につく文字を入力し、逆引き検索をします (37、32ページ参照)



[例題3.] 「ジーニアス英和辞典」で「信じる (believe)」の 2文字目が、「i」か「e」か曖昧です。「?」(クエ スチョン)を使って調べます。

「b?lieve」と入力します。

検索対象となる単語の文字数は7文字と決め られます。その上で2文字目はどの文字でも よいということになります。?は、単語の文 字数がわかっている時の検索に便利です。

ジーニアス英和 フィペル [b?lieve	1	t
*believe		•
		E KA
		2
		┿

● 該当する候補がない場合は、「見出し語にありません」が表示されます。

●先頭に\*(アスタリスク)を使った場合、検索時間が長くなることがあります。途中で検索を中止する場合は、(ℝ\*)を押してください。「\*」は1カ所だけ入力できます。

ワイルドカードサーチは、語義イメージ辞典・古語辞典・四字熟語辞典・故事こと わざ辞典・世界史事典・日本史事典・複数辞典検索(日英)・和歌・俳句検索・人 名検索と、大辞林(読み・逆引き・略語検索)・英和/英英スペル入力検索・和英 /漢字源読み検索・英単語検索・世界史年代/日本史年代暗記語呂検索・生物事 典・英検Pass単熟語(3級・準2級・2級)単語検索・古文単語・熟語ターゲット400 で使用することができます。



今までに調べた語句や事柄、人名を履歴として一覧表示させ、見出 し語を引き直すことができます。

[例題] 以前に英和辞典で調べた「head」を引き直します

英和辞典の検索画面でカーソルをスペル入力欄に移動させるか、または英和スペル入力検索から表示させた本文画面でを押します。英和スペル入力検索で今までに調べた英単語が履歴表示されます。

ジーニアス英和ー履歴		
*physical		Ī
*various		III)
'subordinate		
*apple		_
*head		
*in		
*begin		
stutter		
sturgeon		_
'sturdily		E
*atmosphere		ÃΑ
*alive		S
*accomplish	v	₽

- 語句は、各辞典各検索モードごとに最新のものか \*accomplish ら50語まで記憶されています(履歴が50語以上 になった場合は、新しく語句を調べる度に、古いものから順に消去されていきます)。
- スタイラスを使う場合は、画面右下の 📑 をタップすると履歴表示されます。
- 2 ○/ でカーソルを移動させ、調べた い英単語を選択します(ここでは 「head」を選択します)。 それから ☞\*\* を押して、本文画面を 表示させます。

を押すと、表示中の単語と同じ辞典またはモード

の前後の見出し語の本文画面が表示されます。

 第二回支援
 head
 回樹

 \* head
 方向
 ●

 \* Control
 ●
 ●

 \* Contr

学習コンテンツのツリー形式項目リストから本文を表示させた場合には履歴が残り ません。それ以外のモードでは履歴が記録されます。

### 履歴を削除します

各辞典の履歴は、1単語ずつ、またはモードごとにまとめて削除す ることができます。

1単語ずつ削除します

英和辞典から履歴リスト画面を表示させます。 マカーソルを移動させ、 履歴リストから削除したい単語を選択します。

ジーニアス英和ー履歴	<b>↑</b>
*physical	1
*various	Ē
'subordinate	
*apple	
*head	
*in	
*begin	
stutter	
sturgeon	
'sturdily	E
*atmosphere	A'A
*alive	2
*accomplish	ب ا

2 ■■ を押すと、履歴削除の画面が表示されます。 ✓ ▲で「選択されている履歴のみ削 除」を選択し、 
✓ ↓ を選択し、 
↓ ↓ を選択し、

ニアス英和ー履歴 t ī physical various iii) ... ·履度削除 ▶ 選択されている履歴のみ削除 \*\* \*\* すべて削除 S ②: 選択されている履歴を削除します s ts \*atmosphere はい いいえ ₽ AA \*alive \*accomplish

- 3 選択した履歴が削除され、履歴リスト画 面または検索画面に戻ります。
  - 削除を中止する場合は(R6)を押すか、「いいえ」
     を選択した後、(R\*\*\*)を押してください。

「ジーニアス英和ー履歴」	
*physical	1
*various	
'subordinate	<b></b>
*apple	
‡in	
*begin	
stutter	
sturgeon	
'sturdily	_
*atmosphere	ð
*alive	ľÃ
*accomplish	n
*behavior, -iour 🗸 🗸	÷

辞典・モードごとに削除します

↓ 英和辞典の履歴リスト表示画面で
↓ 様の
を押すと、履歴削除の画面が表示され
ます。

✓ ▲ で「すべて削除」を選択し、
 ✓ ✓ ● で「はい」を選んで w→xx を
 押します。
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 ■

 <lp>■

 <lp>■<

ジーニアス英和ー履歴	
*physical	∏Į.
*various	m
5 履歴削除 🛛	
** *j 選択されている履歴のみ削除	
* ▼ すべて削除	
○ S 沿: すべての履歴を削除します	
's *: <b>はい</b> いいえ	R
*alive	۲Ã
*accomplish	2
*behavior, -iour	<b>~</b> +

- 2 表示中の辞典・モードの履歴がすべて削除され、検索画面に戻ります。
  - 削除を中止する場合は (№)を押すか「いいえ」を 選択した後、(№)\*\*\* を押してください。
  - ●履歴は各モードごとに登録されています。表示しているモードの履歴だけを削除しますので、別のモードの履歴を削除する場合は、そのモードの履歴を満除する場合は、そのモードの履歴を表示させてから ■■■ を押してください。

ジーニアス英和	t
スペル	Ŧ
成句検索	m
例文検索【	
⇒凡例	
25	
レンーーバム第3版	
│↓→央和辞典	
J GENIUS	E
大修館書店	Ă۹
☆ ⊗ ⊗ キーで検索方法を選びます	2
調べたい語句を入力してください	₽



覚えたい単語や語句をブックマークに登録することができます。

[例題] 英和辞典の「meet」をブックマークに登録します

英和辞典で「meet」の本文画面を表示 させます。

(検索方法 [34ページの1~3参照)



2 本文画面表示中に 愛を押すと、ブックマークリストの画面が表示されます。
√ ○ で「ブックマークに追加」を 選択します。

▲ を押すと表示中の単語の表示画面 がブックマークに登録されます(ここ では「meet」の本文画面1ページ目が 登録されます)。

 ブックマークに同じ単語の同じ表示画面がすでに 登録されている場合は、 "既にブックマークに登 録されています"のメッセージが表示されます。
 同じ単語でも表示箇所が違う場合は登録すること ができます。





- ブックマークには全辞典合計500件の箇所を登録することができます。
- ブックマークリスト画面右上に、表示中の辞典の中でブックマークに登録されている件数 が表示されます。
- ●本文画面に戻るには (■3)を押します。スタイラスを使う場合は、ブックマークリスト画面 右上の 図をタッブします。

### ブックマークに登録された単語を表示します

### [例題] ブックマークに登録された「meet」の本文画面を 表示します

英和辞典の検索画面または本文画面表 示中に 2000 を押すと、ブックマークリ スト画面が表示されます。

2 C Cカーソルを移動させ、リストの中から表示させたい単語を選択します(ここでは「meet」を選択します)。次に を押すと、登録された単語の本文該当箇所が表示されます。





#### 単語をブックマークから削除する

ブックマークに登録した単語を削除する場合は、ブックマークリストを表示 させ、削除したい単語を選択します。 面が表示されますので、 で「選択されているブックマークのみ削除」を 選択し、 、 で「削除」を選んで を押すと、選択した単語が削除 されます。「すべて削除」を選択すると、表示中の辞典のブックマークに登 録した単語をすべてまとめて削除します。

● 削除しない場合は「キャンセル」を選んで 🔤 を押すと、ブックマークリスト画面に戻ります。

ブックマーク機能は、大辞林・英和辞典・和英辞典・英英辞典・漢字源・四字熟語 辞典・故事ことわざ辞典・ロイヤル英文法・語義イメージ辞典・古語辞典・世界史 事典・日本史事典・英会話とっさのひとこと辞典・生物事典の本文画面で使用する ことができます。

# **QUICK REFERENCE**

# **Before the initial use**

### Insert the batteries

①Turn off the unit, and then position your thumbs on the arrows in the battery compartment cover located on the bottom of the unit. Push the cover to the direction of the arrows to remove the cover.



(2)Insert the two attached batteries, making sure that their poles (+ and -) point to the correct direction.

### Reset the unit

- ①Press the reset button on the bottom of the unit.
- ②Press the open/close button while opening the top cover.
- (3)Use the contrast adjustment dial on the right side of the unit to adjust the contrast of the display.









⑤When the message "システムを初期化しますか?" ("Do you want to reset?") appears, use the stylus to tap "はい"("Yes") to reset the unit. In a short time, the menu screen appears and this unit will be ready to use.
# Keys and their functions



1	×=	Press to display the menu screen.
2	複数検索	Press to display the search screen for the multiple dictionary search.
3	大辞林	Press to display the search screen for the Super Daijirin (Japanese dictionary).
4	英和/和英	Press to display the search screen for the English-Japanese or Japanese- English dictionary. Each press of the key switches the screen of one dictionary to the other.
(5)	英英	Press to display the search screen for the English dictionary.
6	古語	Press to display the search screen for the Kogo dictionary.
$\bigcirc$	漢字源	Press to display the search screen for the Kanjigen.
8	単語帳	Press to display the initial screen for Wordmemo.
9	登録/削除	While a search result screen is displayed, press to register a displayed word to Wordmemo. While entering characters, press to delete the last character entered.
10	(FG	Press to go back to one screen at a time.
1	R:RE	Press to search for a word, phrase or translation or to perform various functions.
12		Press to move the cursor.
13	総現品し	Press to display the previous/next entry while having the search result screen displayed. Press to move to the previous/next page through the entry list screen.

# **Basic operations**

# Turn on/off the unit

Press the key to turn on the unit and the screen viewed last time will appear (resume feature). In another way, press any mode key of each dictionary to turn on the unit, and the initial screen of a chosen dictionary will be shown up. With the screen being turned on, press the key to turn off the unit. (The unit itself will automatically turn off to save energies/batteries in case it has not been used for a certain period (Auto power off function).)

## Move the cursor and select an item in the menu

Use the cursor keys to move the cursor from up to down to select an mode in the menu or to select the input box of the search screen. A chosen mode will be highlighted as seen on the right. On the menu screen, when a mode is selected and the exp key is pressed, a search screen of a chosen mode will appear.

## Search

Move the cursor to select an input box. Enter a searching word/phrase with the character input keys, and a list of matched entry words/phrases will be displayed. Select a matched word/phrase, and then press the example to display the search result screen for the word/phrase.

\*With a search result screen displayed, press the  $\Re$  key to change the text display size.

# ○ 人名検索 ③ スーパー大辞林 ③ ④ ジーニアス英和辞典第3版 ③ プーニアス和英辞典第3版 ③ オックスフォード現代英英辞典

/5 🕇

t

.....

...

メニュー 《辞典コンテンツ1》

複数辞書検索

生物事曲

🕼 四字熟語

世界史事典

日本史事典

🕼 故事ことわざ

和歌·俳句検索

0

0

0



# Scroll through the screen

The arrows  $\land \lor$  on the right side of the screen indicate that the contents of the screen cannot be fully displayed. Press the  $\land \lor$  key to scroll up or down one line at a time of the screen. Press the  $(\triangleright key$  to scroll forward to the next screen of text, or press the  $(\bullet)$  key to scroll backward to the previous screen of text. When a search result screen is displayed, press

the *the revious* key to display the search result screen for the previous screen for the previous entry in the current dictionary, or press the *key* to display the search result screen for the next entry.

# ■ View example sentences, explanations or reference list

If (例文), 解説), EXAMPLE) appears in the search result screen, press the example sentence, explanation or reference. Press the example sentence, explanation or reference.



#### Return to the list of matched entries

#### View explanatory notes of dictionaries

If 中, 月,例 appears on the left side of the search screen of each dictionary screen, explanatory notes are available. Move the cursor on the search screen to select " 中,月例", and then press the wat key to display the screen of the explanatory notes.



## Tree structure list – Descriptions of + and – –

in front of an item on the tree structure list indicates that the item contains sub-items. Select an item with  $\underbrace{++}_{++}$  in front of it, and then press the  $\underbrace{++}_{+++}$  or  $\underbrace{++}_{++++}$  vertex to display the list of sub-items.

Press the (s) or (key to return to the condition before the sub-items were displayed. in front of an item indicates that no sub-items are contained for the items.

• When using the stylus, tapping an item displays a list of sub-items. Tapping the same item again returns to the condition before the sub-items were displayed.

#### \* Switch the display language

At the Setup menu screen, the display language can be switched between Japanese and English. The Setup menu screen can be displayed from the Menu screen.

# Icons that appear in screens

Instead of by pressing keys, various operations can be performed by using the enclosed stylus to tap the icons that appear on the screen.

# 句複欖IP

Indicates that there are related words or phrases for the displayed entry.



Tap to display the history of dictionaries and modes that were displayed.

 $^{*}A$  Tap to change the size of the characters displayed in the screens.

n Tap to display the previous screen.

← Tap to perform the same operation as if the example, selecting and performing functions.



# **Dictionary link icons**

These icons indicate that the currently displayed entry word is also listed in other dictionaries. Tap the icon to jump to the corresponding dictionary.

The icons displayed on the screen represent each dictionary as follows:

- When an English entry word is displayed
- E English-English dictionary
- English-Japanese dictionary
- Dictionary of English Word Images
- Super Daijirin abbreviation search
- When a Japanese entry word is displayed
- Super Daijirin (Japanese dictionary)
- Japanese-English dictionary
- 🛅 Kogo Dictionary
- 🕱 Kanjigen
- A Dictionary of Proverbs and Sayings
- B A Dictionary of Four-Kanji Phrases

#### 例文》解説》EXAMPLE》

When any of the above icons appear in the search result screen, example sentences or explanations for the entry word can be displayed.

#### QUICK REFERENCE

# Using the Wordmemo

#### Register a word

With the search result screen of each dictionary displayed, press the **m** key to register the word currently displayed to the Wordmemo.

#### Use the Wordmemo

 Press the est key to display the Wordmemo screen.

②Press the (説) key to display the "オプション" ("Options") menu. At the menu, various settings for Wordmemo are available such as setting Wordmemo and deleting all registered words or markers at once.

③After pressing the matheful key, press the key to display the Wordmemo list. Select the number of the Wordmemo, and then press the key to display the words only registered in the selected Wordmemo.

単語帳 13件	▼オプション	▶すべて表示	
□ 大評的bcc[blind ca	単語帳設定	腚	ļ
口 英和 *head	単語帳削除	•••• No.1	m
□ *various	マーカー削除	腚	
□ *apple	未調	役定	
🗆 †subordinate	: 未調	役定	
∣□ <b>Examp</b> *tàke cáre o	of0 未讀	役定	
🗆 🗮 🗰 moon	未調	役定	
🗆 🛄 ihold 'on	未調	役定	
口 🚾 🖬 きら【 * 綺羅】	しん 未調 しんしょう しんしょ しんしょ	役定	
ロ あまあし【雨	ì脚·雨▷ 未讀	役定	
□ 🚾鳴く猫(ねこ	.)は鼠▷ 未調	殳定	ĥΑ
口 🌆 めいよ【名誉	うれる	殳定	n
□	、、未調	殳定	ىپ

#### Categorize words

- ①Select a word from the Wordmemo screen, and then press the war key to display the search result screen for the word.
- ②Press the key to display the category menu. Move the cursor to select a category number of Wordmemo, and then press the key to categorize the displayed word into the selected Wordmemo.



\*At the Wordmemo screen , press the (-) key to put a check mark (☑) on the box next to an entry word. Press key again to remove the check mark.

## Use the Marker function

- ①Press the a key at the search result screen of Wordmemo, and then move the cursor to the beginning of a text to be underlined.
- ②Press the (23) key again, and the use the cursor keys to select the text. Press (real key to underline the selected text.
- ③Press the 診 key, move the cursor to the underlined text, and then press the memory key. When the message "選択されているマーカーを削除します" ("Do you want to delete this marker?") appears, select "はい" ("Yes") and press the we key to remove the underline.



#### Delete data from the Wordmemo

- ①Display the search result screen of a registered word to delete in Wordmemo, and then press the mm key. The message "この単語を削除します"("Delete word") will appear.
- (2)Select "(\$\$\" ("Yes"), and then press the key to delete the displayed word from the Wordmemo.



\*At the "Option" menu, all registered words can be deleted at once from the Wordmemo.

#### **QUICK REFERENCE**

# **Useful functions**

# The multi-jump function

- (1)With a search result screen displayed, press the improvement key to highlight an entry word. Move the cursor to select a word to search.
- \*In case having more than two letters to search, select the first letter, press the key again, and move the cursor to select the other characters.
- ②Select the word and press the even key. Then, the list of dictionary jump selections will appear. Move the cursor to select a dictionary, and then press the even key to jump to the selected dictionary.
- \* If a selected word is found only in one dictionary, the word will be directly shown at the jumped dictionary screen without having it dis-

played on the list of dictionary jump selections screen.

\* If  $\rightarrow$  appears in the screen, select  $\rightarrow$  to jump to the reference entry.

## The wildcard search function

Entering an asterisk (\*) or a question mark (?) allows to search for spellings or vaguely remembered words. In addition, putting an asterisk (\*) at the beginning of a word or phrase makes it possible to search reversely for entry words that are generated from the word.

Example: Enter "chr \* m" to search for a word beginning with "chr" and ending with "m", such as "chrism" or "chrysanthemum".

Enter "b?lieve" to search for "believe" without knowing whether the second letter is "i" or "e".

(\*) indicates unlimited number of letters, and (?) indicates a single letter.





## The spell-check function

When an English word is entered in the input box of a search screen, press the  $\overline{x}$  key to check the spelling of the word. A list of matched words with the same spelling or similar spellings will be displayed.

# The history function

With the search screen of a dictionary or a search result screen displayed, press the key to display the list of words previously searched in the dictionary. At the history list screen, press the key **mm** to delete listed words.



# The Bookmark function

- ①With a search result screen displayed, press the 😰 key to bookmark a displayed word to the Bookmark list.
- (2)With the search screen of a dictionary or a search result screen displayed, press the (2) key to display a list of bookmarked words in the dictionary. From the list, select a bookmarked word to display, and then press the (2) key to recall the word.
- ③With the Bookmark list displayed, press the **mm** key to delete the selected entry from the Bookmark list.

# The kanji stroke order

(I) If # appears in the search result screen of the Kanjigen (kanji dictionary), press the key to switch to the stroke order screen and view the stroke order for a main entry character. To return to the search result screen, press the skey. In addition, if the key is pressed while a search result screen of the Kanjigen or the Super Daijirin is displayed, each character will be enlarged. Move the cursor to select one character at a time to enlarge. Press the key again to display the text at its original size.

#### **QUICK REFERENCE**

# Pronunciation/Recording function

This unit contains model pronunciations of about 14,000 essential words in the English-Japanese dictionary and of about 3,000 sample sentences in the English Conversation Dictionary . You can record your pronunciation and compare it with the model pronunciation.

#### Checking the pronunciation

When  $(\mathbf{k}_{1}^{2} + \mathbf{a})$  appears after the phonetic sign in the search result screen of the English-Japanese dictionary or when  $(\mathbf{k}_{1}^{2} + \mathbf{a})$  appears at the beginning of the sample sentence in the English Conversation Dictionary, press the  $(\mathbf{k}_{1}^{2} + \mathbf{k})$  key to hear the pronunciation of the entry word or sample sentence. With the stylus, double-tap  $(\mathbf{k}_{1}^{2} + \mathbf{i})$  in the search result screen.



If there are multiple pronunciations for a head word, when the pronunciation differs depending on the part of speech, or when there are pronunciations for multiple sample sentences in the same screen, c appears only as far as the same number as the collected number of pronunciations. Press the for when the right side of the screen to play all of the pronunciations.

●Using the Jump key to check the pronunciation Press the (→→→) key and move the cursor to select (↓ . When the (→→→) or (発音) key is pressed, the pronunciation is played.

#### Recording a pronunciation to compare it

 Use the stylus to tap not the right side of a search result screen. While the message "発音中" ("Playing...") is displayed, the model pronunciation is played. Then, the message "録音中" ("Recording...") appears and recording begins so that you can pronounce the word or sentence.



- 2. After about one minute, recording ends and the recorded pronunciation is automatically played while the message "発音比較中" ("Recording...") is displayed.
- 3. When the pronunciation comparison is finished, the message "音声比較を続けま すか?" ("Do you want to continue to compare?") appears. To listen to the recorded pronunciation again, select "はい" ("Yes"), and then press the week key. If "い いえ" ("No") is selected, the pronunciation comparison is ended and the search result screen is displayed.



•The recorded pronunciation is erased when the pronunciation comparison is finished. It cannot be saved.

154

# Study with pronunciation function

# English Words Target dictation

- 1. When a test screen of English Words Target dictation is displayed, the pronunciation of the word or sample sentence is played.
- 2. Use the character keys to type in the spelling of the word. Only the correct spelling can be typed in.
- To play the pronunciation again, press the (R<sup>\*</sup>) key.
- Press the 🚓 key to display a hint of one letter of the word or one word of the sample sentence.
- After entering the spelling, the message "OK" appears together with the reference number. To display the reference screen of English Words Target, press the key. To return to the dictation screen from the reference screen, press the (R3) key.

# Center exam - Listening

- 1. When a test screen of Center exam Listening is displayed, the pronunciation is automatically played.
- 2. Use the character keys to type in the number of the answer from the choices that appear in the screen. When the confirmation message appears, select "(tu" ("Yes") to confirm the selected answer, and then press the (R-3R) key.
- While the training mode has been selected, the correct answer or an explanation appears after the (nexe) key is pressed. While the test mode has been selected, the screen with the next question appears after the (R-3.2) key is pressed.
- While the training mode has been selected, press the (発音) key to play the pronunciation again.
- 3. While the test mode has been selected, the test results screen appears after all test questions have been answered. Press the make to display a reference explanation list for each question.



センター試験・リスニング対策	1	F
部題 <b>刊</b> 鄧What is the boy going to wear to the part	y?	ŀ
	<u> </u>	
解答確認		
││☆ 選択した解答は ③ です。よろしいです:	<i>м</i> , .	
し 随い いいえ		
	(∢	j£
e Alter e	≥ v	
② 解答する時は数字キーを押します	Ľ	
	+	4





# [問題3B] イラスト

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
	17	18		19

















(	$\bigcirc$						
	Sun.	Mon.	Tues.	Wed.	Thurs.	Fri.	Sat.
		1	2	3	4	5	ල්
			17	18		19	



































## 古語辞典

国語·国文法用語解説

- 古文の読解学習に必要な国語用語および国文法(文語文法)用語を収めて解説した。
- 配列は五十音順に従った。
- △印は、この用語解説中に見出し語として収めて解説してある項目。

〔あ〕	天草版	キリシタン版の1つ。文禄(ぶんろく)・慶長(1592-1615)
	(あまくさばん)	のころに、天草学林で刊行された本。宣教師の日本語学習書として使
		│ │われ、当時のことば、特に、口語を知るうえで貴重な資料。「伊曾保
		(いそほ)物語」「平家物語」「ドチリナ・キリシタン」などがある。
〔し1〕	イ音便 (いおんぴん)	→音便 (おんびん)
	意志の助動詞 (いしのじよどうし)	動作や状態の実現・中止について話し手(書き手)の意志を表す助動 詞。文語では、△推量の助動詞のうち「む」「まし」「べし」「じ」 「まじ」に、この用法がある。これらのうち、「まし」は疑問の語と ともに用いられる場合で、意志といっても、その裏に実現不可能とい う気持ちが含まれ、「じ」「まじ」は打消の意志を表す。「いざ、い と心安き所にてのどかに聞こえむ(=申シ上ゲヨウ)」〈源・夕顔〉 「しやせ <u>まし</u> (=シタモノダロウカ)せずやあら <u>まし</u> (=シナイデオ イタモノダロウカ)」〈徒然・98〉
	已然形 (いぜんけい)	<ul> <li>文語の△活用形の1つ。「すでに(已)そうなっている事態(然)を 表す」ことから已然形という。係助詞「こそ」の結びに使われるほか、 「書けど」「よけれども」「遠ければ」のように、助詞「ど」「ども」 「ば」が付いて使われる。用法は、</li> <li>(1)特定の付属語が付いて用いられる場合</li> <li>①助詞「ど」「ども」が付いて確定の逆接(…デアルケレドモ)の意を表す。「ははその色は<u>うすけれ</u>ど」〈古今・秋下〉「文(53み)を書きてやれども返りごともせず」〈竹取・貴公子たちの求婚〉</li> <li>②助詞「ば」が付いて確定の順接(…デアルカラ・…ナノデ)の意を表す。「春立てば」〈古今・春上〉「吉野(よしの)の山し近 <u>けれ</u>ば」〈古今・冬〉</li> <li>(2)単独に用いられる場合</li> <li>①係助詞「こそ」の結びとなる。「もののあはれは秋こそ<u>まされ」</u> 〈徒然・19〉「遣(や)り水より煙(けぶの)の立つこそ<u>をかしけれ</u>」 〈徒然・19〉「遣(や)り水より煙(けぶの)の立つこそをかしけれ」</li> <li>〈徒然・19〉「遣(や)り水より煙(けぶの)の立つこそをかしけれ」</li> <li>〈徒然・19〉 ▲本文「係り結び(かかりむすび)]</li> <li>②上代では、それだけで逆接や順接を表すこともある。「大舟を荒海(あるみ)にこぎ出弥舟(やふね)たけ(ニシキリニ舟ヲコグケレ ドモ)わが見し子らがまみは著(しる)しも」〈万・7・1270〉「家離(さか)りいます吾妹(かぎ)を停(とど)めかね山隠しつれ(= 山ガ隠シテシマッタノデ)心ど(=シッカリシタ心)もなし」〈万・3・474〉</li> </ul>

	一般条件 (いつばんじょうけん)	→条件法(じょうけんほう)
	異本 (いほん)	同一の古典作品であっても、伝えられた本文の違いによって種々の相 違のあることがある。その相違は、作者が初稿本を訂正した場合もあ るが、多くは、転写の際の誤写や脱落、あるいは追加や書きかえなど によって生じたものである。これら本文に違いのある本を互いに「異 本」という。たとえば「源氏物語」には、①青表紙本 ②河内(かつち) 本 ③別本(①②以外のもの)の3類があり、「枕草子」にも、雑纂 (ざつさん) 形態の伝能因本、三巻本、類纂(るいさん) 形態の堺(さかい)本、 前田本など多くの異本がある。語り物では特に異本の生じる機会が多 く、「平家物語」は22類44種の異本がある。
	いろは歌 (いろはうた)	→本文「いろは(伊呂波)」
	韻 (いん)	漢字の△字音(UBAA)を分けて頭声と尾声とにするとき、その尾声を 韻という。頭声の子音を除き去った部分で、ふつう1つか2つの母音 より成るが、これに子音が付くものもある。韻の部分が同じものや似 たものを同韻の字として、詩や律文の句尾に用いて音律を整える。こ れを△押韻(B30A)、または「韻をふむ」という。なお、韻を△四 声(U40)によって分け、同韻の字を分類して、元代以後、平声(ひょ うしょう)30、上声(U45)L45)29、去声(きょしょう)30、入声(に っしょう)17の106韻とし、今日も漢詩を作るときなどに用いる。
	隠語 (いんご)	仲間意識や秘密を守るために、自分たちの仲間だけに通用する特別な 意味をもった語。たとえば「しょば(=場所)」「しゃり(=飯)」 などの類。博徒(はくと)・香具師(ゃぃ)・犯罪者などが多く用いる。 商人が数字を符丁で言ったりするのも1種の隠語である。
〔5〕	ウ音便 (うおんぴん)	→音便 (おんびん)
	受身の助動詞 (うけみのじよどうし) 歌枕 (うたまくら)	他から動作を受ける意を表す助動詞。文語では「る」「らる」(口語 では「れる」「られる」)に、この用法がある。上代には「ゆ」も用 いた。「思はぬ人の衣 (きぬ) に摺 (す) ら少な (=摺ラレルナ)」〈万・ 7・1342〉。これらの助動詞で表される受身の表現は、国語では 生物が主語になることが多く、無生物が主語になることはまれであっ た。後者の場合を「非情の受身」とよぶことがある。また、国語の受 身は、多く被害を受ける意を含み、これを「迷惑の受身」とよぶこと がある。「かう討ち捨てられて」〈源・桐壺〉 なお、軍記物では、 ム使役の助動詞「す」「さす」を受身の箇所に用 いることがある。「弓手 (ゆんで) のひざ口を射させ、痛手なれば心静 かに自害せん」〈平家・4〉などであるが、これはきわめて特殊な表 現 (受動的な表現をきらったもの)で、 ム武士詞 (ぶしことば) といわれ るものである。 和歌の中に詠まれ、親しまれた諸国の名所。香具山・逢坂山(はうさか やま)・鴫立沢(しぎたつさわ)・白河の関・竜田川など。多くは現地に臨
		まずに詠まれた。芭蕉 (ばしょう) の「おくのほそ道」には、数々の歌 枕をたずねたことが記されている。

	打消の助動詞 (うちけしのじよどうし)	否定の助動詞ともいう。文語には「ず」(口語には「ない」「ぬ (ん)」)がある。これに打消推量の「じ」「まじ」を加えることも ある。「じ」は「む」の打消で、現代語の「ないだろう」に当たる。 「まじ」は「べし」の打消で、現代語の「まい」に当たる。なお「ま じ」が用いられるのは中古以降で、上代には「ましじ」が用いられた。 「君が心は忘らゆましじ」〈万・20・4506〉。また、この時代 の「ゆくへを知らに」〈万・2・201〉の「に」も打消の助動詞と して扱うことがある。「忘れせ <u>なふ</u> も」〈万・14・3438〉「寝 <u>なへ</u> 子」〈万・14・3550〉の「なふ(特殊型)」は東国で行わ れた打消の助動詞である。
(え)	婉曲表現 (えんきょくひょうげん)	物事を述べる場合、事態を直接に表現することをさけて、やんわりと やわらげて表現すること。助動詞の「めり」は婉曲の表現に用いられ ることがあり、中古末期には例が多い。 また、文法的には、△推量の助動詞「む」「らむ」「けむ」などを用 いて、婉曲に表現したり、命令の表現で、命令形を用いると強くなり すぎるというような場合に、推量の助動詞「む」を用いて、「とくこ そ試みさせたまは <u>め</u> (=ハヤクオタメシニナルノガヨロシイデショウ)」 〈源・若紫〉などのように「…したほうがよい」という意の勧誘表現 をとったりするのもこの中に入る。
	延言 (えんげん)	「語 <u>る</u> →語 <u>ら</u> ふ」「言 <u>ふ</u> →言 <u>は</u> く」「取 <u>る</u> →取 <u>ら</u> す」のような現象を 1 音が延びて2 音となったとみる江戸時代の文法用語。賀茂真淵(かも のまぷち)が「語意考」で取り上げて以来、語釈・語源の説明などに広 く用いられたが、現在は延言として説明することはしない。
(お)	押韻 (おういん)	詩や韻文で、句の終わりに同じ△韻を用いて音律を整えることをいい、 「韻をふむ」ともいう。漢詩の五言絶句では、承・結の2句に、七言 絶句では、起・承・結の3句に韻をふむ。このように、語末の音をそ ろえることを「脚韻」といい、欧米の詩にも例が多い。これに対し、 語頭の音をそろえることを「頭韻」といい、わが国の歌や韻文にも例 が見える「よき人のよしとよく見てよしと言ひしよし野よく見よよき 人よく見」〈万・1・27〉
	奥書 (おくがき)	→跋 (ぱつ) ・本文「おくがき」
	送り仮名 (おくりがな)	<ul> <li>(1)漢字と仮名を用いて文を書くときに、漢字の読み方を明らかに するために、漢字の次に書き添える仮名。「書く」の「く」、「読む」 の「む」の類。その表記の基準については、昭和48年6月内閣告示 (昭和56年一部改正)「送り仮名の付け方」によるものが多い。</li> <li>(2)漢字を訓読するときに、漢字の右下方(再読の文字には左下方) に添える仮名。助詞・助動詞・活用語尾などを、片仮名で示す。古く、 漢字を本体にして「捨て仮名」ともいったが、今は「送り仮名」とい う。</li> </ul>
	男手 (おとこで)	→本文「をとこで」

躍り字 (おどりじ) 折り句	同じ字の繰り返しを示す符号。仮名の「ゝ」「/~」、漢字の「々」 「ミ」がある。反復符号・繰り返し符号ともいう。たとえば「ちゝはゝ」 「もろ /~」「堂々」「堂ミ」など。「ゝ」「ミ」は中国で漢字の反 復に用いられ、「/~」は「ゝゝ」の連綿から生まれたもの、「々」は 中国の「ミ」を誤ったところからきた国字である。今日では、使用法 が固定し、「ち々」「山/~」は誤りとする。「ミ」も「屢ミ(しばしば)」 「稍ミ(やや)」など特定の場合に用いる。
(おりく) 音	→字音 (じおん)
(おん) 音節 (おんせつ)	音声の単位の1つ。国語で、音を細かに区切って発音するときに、いちばん小さい単位として意識するものをいう。たとえば「秋」はア(a) キ(ki)、「花」はハ(ha)ナ(na)の2つに切ることができる。この各々を音節という。(a)(k)(i)(h)(n)は、それぞれへ単音であるので、ア(a)は1単音で1音節、キ(ki)ハ(ha) ナ(na)は2単音で1音節を構成している。撥音(はっおん)「ン」、 促音「ッ」も1音節であり、日本語ではこれを除いて音節の終わりには必ず母音が来、このような音節の特徴を開音節という。なお、わが 国の仮名は、ふつう1つの音節をそのまま1字として書き表すので「音節文字」といい、ローマ字は、母音と子音を別々に書き表すので「単音文字」という。なお、日本語の音節数は110余といわれ、400 0から7000の音節があるといわれる英語に比較してはるかに少ない。日本語の表音文字である仮名が音節文字であるのも、この音節数 が比較的に少ないことと関連しているともいわれる。
女手 (おんなで)	→本文「をんなで」
音便 (おんびん)	<ul> <li>発音の便宜上、語中・語尾の音節で、もとの音に変化が生じる現象をいう。音便には次の4種がある。</li> <li>(1) イ音便…語中・語尾のキ・ギ・シ(まれに、リ・テ)の音がイの音に変化する現象。</li> <li>活用しない語では「きさきのみや」→「きさいのみや」・「まして」 →「まいて」など。</li> <li>文語動詞では、カ行・ガ行・サ行の四段活用の連用形が助詞「て」・助動詞「たり」に連なるときに現れる。「いとかうしもおぼい(し)たるは、いかなるにか」〈落窪〉</li> <li>文語形容詞では、連体形「一き」「一しき」の形が△体言または△終助詞「かな」などに連なるときに現れる。「さすがに若い(き)人にひかれて」〈更級〉</li> <li>文語助動詞では「べし」「まじ」の連体形「べき」「まじき」が「べい」「まじい」となることがある。「名乗ることはある<u>まじい</u>(き)ぞ」〈平家〉「はしたなくもあべい(あるべき)かな」〈源・朝顔〉</li> <li>イ音便が盛んに用いられるようになったのは中古以降で、形容詞連体形のイ音便形「一い」「一しい」は、中世、終止形としても用いられ、</li> </ul>

		現在の口語形容詞の終止形・連体形となった。 (2)ウ音便…語中・語尾のク・グ・ヒ・ビ・ミなどの音がウの音に
		変化する現象。
		活用しない語では、「か <u>み</u> べ(頭)」→「か <u>う</u> べ」・「まら <u>び</u> と(客
		人)」→「まら <u>う</u> と」など。
		文語動詞では、ハ行・バ行・マ行の四段活用の連用形が助詞「て」・
		助動詞「たり」などに連なるときに現れる。「ときどき通ひ給 <u>う</u> (ひ)
		けるわかんどほり腹の君」〈落窪〉
		文語形容詞では、連用形「一く」「一しく」の形が他の△用言や助詞
		「て」に連なるときに現れる。「ただ春宮 (とうぐう)をぞ、いと恋し
		<u>う</u> (く)思ひ聞こえ給ふ」 〈源·葵 (ぁふひ) 〉
		ウ音便は上代にはあまり用いられず、中古以降盛んに用いられるよう
		になった。
		(3)撥(はつ)音便…語中・語尾の二・ビ・ミ・リ・ルの音が撥音「ん」
		に変化する現象。
		文語動詞では、バ行・マ行の四段活用、△ナ行変格活用の連用形が助
		詞「て」・助動詞「たり」に連なるときに現れる。「わかすすきに手
		きるきるつ <u>ん</u> だる(つみたる)菜を」〈土佐〉「朋友死 <u>ん</u> で(死にて)
		よらんところなし」〈仮名論語〉
		△ラ行変格活用・文語形容詞・形容動詞(ナリ活用)の連体形が助動
		詞「なり」「めり」に連なるときに現れる。「木幡 (こはた) 山はいと
		おそろしか <u>ん</u> (る)なる山ぞかし」〈源・浮舟〉「をかしと目とまる
		ことはあ <u>ん</u> (る)めれど」〈玉勝間〉
		なお、撥音は、表記されなかったり、他の字で代用されたりしている
		場合がある。
		(4)促 (そく) 音便…語中・語尾のキ・シ・チ・ヒ・リの音が促音(=
		ツマル音)「っ」に変化する現象。
		文語動詞では、夕行・八行・ラ行の四段活用、△ラ行変格活用の連用
		形が助詞「て」・助動詞「たり」に連なるときに現れる。「各(おのお
		の) 弓を引きて箭 (や) を放って(放ちて)馳 (は) せ違 (か) ふ」〈今昔〉
		促音便は中古後期に広く行われるようになったが、その初期にすでに
		促音便があったと思われる例がある。ただし、促音を表す文字がなかっ
		たので、その表記はない。
〔か〕	会意	△六書 (りくしょ) の1つ。今までにできあがっている漢字を2つ以上
		組み合わせて1つの字形を作り、特定の意味と音とを表すもの。たと
		えば「林」は木がたくさん茂っている場所、「炎」は火が盛んに燃え
		るさまを表している。会意は、△象形や△指事の構成方法を一歩進め
		たものといえる。 🔺 六書 (りくしょ)
	開音節 (かいおんせつ)	→音節 (おんせつ)
	開合	「開」は開音・開口音ともいい、口の開きの広い音、「合」は合音・
	(かいごう)	合口音ともいい、口の開きの狭い音。古く、才列長音に開音〔3:〕合
		音〔○〕の2種があり、歴史的仮名遣いでいえば、オウ・コウなどは

	鎌倉時代から長音化し、室町時代末に合音〔o:〕となり、アウ・カウ・ アフ・カフは、鎌倉時代にアオ・カオ、室町時代に開音〔o:〕となり、 その後近世初期までに合音〔o:〕となって、一本化した。
回想の助動詞 (かいそうのじよどうし)	→過去の助動詞 (かこのじょどうし)
返り点 (かえりてん)	漢文を訓読するとき、国語の語順に合うように、下から上に返って読 むことを示す符号。返り点には、(1)レ点(レ)、(2)一二点(一、 二、三…)、(3)上下点(上、下または上、中、下)、(4)甲乙 点(甲、乙、丙…)、(5)天地点(天、地または天、地、人)があ り、レ点で間に合わないときに、一二点、一二点で間に合わないとき に上下点というように、用いる順序が決められている。レ点は1字だ け返る場合で、下の字の左肩に添え、その他の点は左下方に添える。 2字の熟語に返る場合は、熟語の上の字の左下方に、3字の熟語に返 る場合は、いちばん上の字の左下方に添える。
係助詞 (かかりじよし)	→係助詞(けいじよし)
カ行変格活用 (かぎようへんかくかつ よう)	動詞の活用の1つ。略して力変という。活用形はイ・ウ・オの三段の 音からなり、ウ段音に「る」「れ」、オ段音に「よ」の付いたもので ある。また、活用は語幹と語尾の区別がない。文語の命令形は中古ま では「こちゐて来(こ)(=コチラへ連レテコイ)」〈更級〉のように 「こ」の形も用い、のちには「こよ」がもっぱら用いられた。活用す る動詞は、文語では「来(<)」(口語では「来(<)る」)1語だけ であるが、これが他の動詞と複合して「参りく」「まうでく」「出(い) でく」などの力変の複合動詞をつくることがある。
隠し題 (かくしだい)	→本文「かくしだい」
格助詞(かくじょし)	<ul> <li>△体言、または体言に準じる語(用言・助動詞の連体形)などに付い て、それの付いた文節が、それを受ける文節に対して、どういう資格 関係(格)に立つかを示す助詞をいう。</li> <li>文語の格助詞</li> <li>(1)主語(主格)を示すもの…が・の</li> <li>「雀(すか)の子を犬君(いぬき)が逃がしつる」〈源氏・若紫〉「うぐ ひすの鳴く」〈古今・春上〉</li> <li>(2)連体修飾語(連体格)を示すもの…が・の</li> <li>「梅<u>が</u>枝(=梅ノ枝)に」〈古今・春上〉「ごの源氏の物語」〈更級〉 (3)連用修飾語(連用格)を示すもの…を・に・へ・と・より・か ら・にて・して</li> <li>「鳥をうらやみ、霞(かすみ)をあはれび」〈古今・仮名序〉「あづま に行きけるに」〈伊勢・7〉</li> <li>「参考」上代は△連体修飾語を示すものとして「つ」「な」、△連用修 飾語を示すものとして「ゆ」「ゆり」「よ」も用いられた。「沖つ風 (=沖二吹ク風)」〈万・15・3614〉「吾家(たべ、の方よ(= ヨリ)」〈記・中〉「田子の浦(ゆ(=ヲ通ッテ)」〈万・3・321〉</li> </ul>

	確定 (かくてい)	→条件法 (じょうけんほう)
	確定条件 (かくていじようけん)	→条件法 (じょうけんほう)
	過去の助動詞 (かこのじょどうし)	過去を表す助動詞。文語では「き」「けり」(口語では「た」)がご れに属する。「き」は過去に存在し、現在は存在しなくなっている事 実を表す場合(したがって、おのれの経験として語ることが多い)、 「けり」は、過去にあった事実で、それが現在と何らかの関連をもっ ているということを述べるのに用いられる。「けり」が他から伝え聞 いた過去の事実を回想する場合に用いられるのもそうした事情による。 この「過去の助動詞」を「回想の助動詞」ということもある。それは、 過去という「時」を表すというよりも、過去の事実を回想するという 気持ちが強いという理由にもとづく。「鬼のやうなるもの出(い)で来 て殺さむとしき」〈竹取・蓬莱の玉の枝〉「人目をもるる涙なり <u>けり</u> 」 〈続後撰・恋1〉
	仮借 (かしや)	△六書(b<しよ)の1つ。漢字そのものの意味内容とは関係なしに、 その字の音を借りて別の物や事柄を表すもの。たとえば、「北」はも ともと「にげる・そむく」の意であるが、「ホク」の音を借りて方角 を表す意に転用する。また「革」は「かわ」の意であるが、「カク」 の音を借りて「革新」「改革」というように「あらためる」意に用い る。「△万葉仮名」は、国語を写すために漢字を仮借的に使用したも のである。→ 六書(b<しょ)
	歌体 (かたい)	一首の歌は、5音・7音を基本単位として、いくつかの句に分かれる。 その句の音数の配列の形体によって分類したものを「歌体」という。 たとえば、「万葉集」では、短歌(5・7・5・7・7)・長歌(5・ 7・5・7・5・7・…・5・7・7)・旋頭歌(せどうか)(5・7・7・ 5・7・7)の3種があり、ほかに短歌に1句(7音)が加わって、 仏足石歌体(5・7・5・7・7・7)というのもある。仏足石歌体 は、奈良薬師寺の仏足石歌21首が、この歌体であるところから名づ けられたもの。「みあとつくる石の響きは天(あめ)に到(いた)り地(つ 5)さへ揺(ゆ)すれ父母(ちちはは)がために諸(もろひと)のために」〈歌 謡〉。このほか、これらより古く、上代には、片歌(かたうた)(5・7・ 7)という歌体もあった。「はしけやし我家(かざへ)の方(かた)よ雲 居(<もゐ)たち来(<)も」〈記・中〉。中古以後になると、今様(いま ょう)(7・5・7・5・7・5・7・5)などの諸体を生じた。「仏 は常にいませども現(うつ)ならぬぞあはれなる人の音せぬ暁(あか っき)にほのかに夢に見え給ふ」〈梁塵秘抄〉
	片仮名 (かたかな)	漢字の字画を省略してできた△表音文字(「八」のように漢字「八」 の全画からできたものもある)。漢文や仏典の訓読・注釈に際し、「△ 万葉仮名」の偏(へん)・旁(⊃< b)・冠・脚など、漢字の一部を用い て記すようになったのが初めで、中古の初期に、南都(=奈良)の僧 侶(そうりょ)たちによって用いられた。その後、一般に通用しはじめ、 字体もまちまちであったが、しだいに統一された。片仮名はもともと が漢文の訓点であるため、漢文脈系統のものや注釈などに用いられた。

活用 (かつよう)	△用言・△助動詞などが、他の語への切れ続きのうえで語形が規則的・ 体系的に変化すること。たとえば「読む」という語は、助動詞「ず」 に付くときには「読ま」、助動詞「けり」に付くときには「読み」、 ふつうに言い切るときには「読む」というように変がする。この活用
	ののるものは、自立語では動詞・形容詞・形容動詞、竹属語では助動 詞である。 →活用形 (かつようけい)・活用語尾 (かつようごび)
活用形 (かつようけい)	△用言・△助動詞などの語形変化の形。△未然形・△連用形・△終止 形・△連体形・△已然(いぜん)形(口語文法では仮定形)・△命令形 の6種類がある。なお、各活用形の名称は、その活用形のもついくつ かの用法のうち、おもな用法をとって名づけたものである。したがっ て、終止形であっても「死ぬべし」のように、終止せずに、下に助動 詞などの付く場合がある。また、すべての活用語が6種類の活用形全 部をもつとはかぎらず、特に助動詞では未然形や連用形や命令形など を欠く場合も多い。活用形は、古く、各活用形が独自の意味をもった と考えられるが、口語などでは命令形がその活用形としての独自の意 味をもつほかは、「書かない」「書けば」のように下に他の語が付い た形で意味がとらえられるようになる。
活用語 (かつようご)	△活用のある単語をいう。△自立語では、△動詞・△形容詞・△形容 動詞、△付属語では△助動詞。
活用語尾 (かつようごび)	△用言の活用で、形の変わる部分をいう。単に「語尾」ということもある。活用語から△語幹を除いた部分。「読む」という語では「読査・読み・読む・読む・読む・読む」と変わる。この「ま・み・む・む・め・め」を活用語尾という。国語では、△音節を単位として語形の変化を考えるのがふつうであるから、動詞などの中には語幹と活用語尾との区別がつけられないものもある。たとえば「見る」「来(<)」など。
仮定 (かてい)	→条件法 (じようけんほう)
仮定条件 (かていじょうけん)	→条件法 (じようけんほう)
仮名遣い (かなづかい)	仮名を用いて国語を書き表すうえの規則をいう。仮名遣いが問題とされるのは、同じ音に2種類以上の仮名の書き方があるとき、または同 じ仮名に2種類以上の発音があるときである。たとえば、「顔」は「か ほ(△歴史的仮名遣い)」「かお(現代仮名遣い)」の2通りがあり、 「あ」は「仰(∞3)ぐ」の場合は「ア」、「桜花(∞5<か)」の場合は「オ」 と発音するなどである。これらの問題が起こる原因は、表記が固定す るのに対して、発音が変化するからで、前例の「顔」を「かほ」と書 くのは、古くは「かお」でも「かを」でも書き表せない発音をもって いたからである。仮名遣いを表記方法によって分けたものに、鎌倉初 期ごろの「△定家仮名遣い」、江戸初期、契沖(けいちゅう)の定めた「△ 歴史的仮名遣い」、昭和61年内閣告示「現代仮名遣い」がある。

可能動詞 (かのうどうし)	可能の意を表す動詞。中世後期ごろに発生した。△四段活用動詞(口 語では五段活用動詞)が同じ行の△下→段活用に転じて可能の意味を もつもので、「書く→書ける」、「読む→読める」の類。「これを中 とは読めぬぞ」〈中記抄〉
可能の助動詞 (かのうのじよどうし)	…できる、という意を表す助動詞。文語では「る」「らる」(口語で は「れる」「られる」)にこの用法がある。「冬はいかなる所にも住 ま <u>る</u> 」〈徒然・55〉「胸のみふたがりて、物なども見入れられず」 〈源・少女 (をとめ)〉。上代には「ゆ」「らゆ」も用いられた。「眠(い) の寝(ね) <u>らえ</u> ぬに」〈万・15・3700〉。これらの助動詞は中古 ごろまで打消や反語とともに用いられるのがふつうであり、肯定文の
	中での用法が多く見られるようになるのは中世以降である。命令形は ない。なお△推量の助動詞「べし」も可能の意を表す場合がある。「羽 なければ空をも飛ぶべからず」〈方丈〉
T# +++	
推义 (がぶん)	さい時代(あもに平安時代)の文章あよびその文体をまねて作った文 章 (△擬古文)をいう。江戸時代には古代の言語を正しく風雅なもの と考え、後世の言語を卑俗なもの(俗文といった)とする考え方があっ て、それから出た名称。▲擬古文 (ぎこぶん)
上	●詞注田の1つ △注田語尾が△五十辛図の/段の辛と それに「ろ」
⊥F2/泊/H (かみいちだんかつよう)	動詞活用の「う。云活用語尾が云五千首図の子段の首と、それに「る」 「れ」などが添加されるという形式をもつもの。文語ではこれに属す る動詞は少なく、「着る」「似る」「煮る」「干 (い) る」「嚔 (い) る」 「簸 (い) る」「見る」「射る」「鋳 (い) る」「沃 (い) る」「居 (ゐ) る」 「率 (ゐ) る」のほか、その複合語である「かへりみる」「おもんみる」 「試みる」「ひきゐる」「用ゐる」など10数語である。語幹と活用 語尾とに分けられないものが多い。
上一的注田	☆評動詞の活用の1つ──◇活用語尾が◇五十辛図のイ役・内段の辛と
上―	又語動詞の活用の「う。云活用語尾が云五千首図の4段・9段の首と、 それに「る」「れ」などが添加されるという形式をもつもの。たとえ ば「起く」「過ぐ」「落つ」など。この種の活用をする動詞は、口語 ではほとんど上─段になるが、「恨む」のように、五段活用をするも のがある。また、「生く」「帯ぶ」などは、古く四段にも活用した。
カリ活用 (かりかつよう)	文語形容詞の活用で「一から」「一かり」「一かる」「一かれ」(ク 活用)あるいは「一しから」「一しかり」「一しかる」「一しかれ」 (シク活用)の系列を、特に取り出して「カリ活用」ということがあ る。これらは連用形「一く」「一しく」に動詞「あり」が付いたもの で、本来の形容詞の補助活用とみられ、ふつう形容詞の活用の中に含 めて考えられている。
漢語 (かんご)	中国から入ってきた外来語、およびそれにならってわが国で作った音 読する漢字の熟語をいう。「客」「剣」「平和」「勇気」などの類。「銭 (ぜに)」「梅(うめ)」「絵(ゑ)」なども、中国から入った語といわれて いるが、その伝来も古く、外来語と考えられないくらいである。漢語 は名詞として用いられるものが大部分であるが、動詞…「御覧ず」「装 束(さうぞ)く」・形容詞…「怠々(たいだい)し」・形容動詞…「大事なり」 「堂々たり」・副詞…「突然」「切(せつ)に」などとしても用いられる。

感嘆文 (かんたんぶん)	→感動文 (かんどうぶん)
感動詞 (かんどうし)	品詞の1つ。△自立語で△活用がなく、主語・述語・修飾語・被修飾 語にもならず、接続することもない。一般に文のはじめにあって、独 立語として用いられる。感嘆詞・間投詞・終止詞ともいう。文語の感 動詞は意味のうえから次の3種類に分けられる。 (1)感動を表すもの…ああ・あっぱれ・あな・あはや・あはれ・あ ら・さても・すは など (2)呼びかけを表すもの…いかに・いざ・いさや・いで・なう・な うなう・やよ など (3)応答を表すもの…いな・いなや・いや など
間投助詞 (かんとうじよし)	種々の語に付いて、文節の終わりにあり、語勢・語調を整え、余情を 添え、感動の意を表す助詞。これに属する文語の助詞は「や」「よ」 「を」など。上代には、「ろ」「ゑ」なども用いられた。「少納言よ」 〈枕・雪のいと高う降りたるを〉「あはれ、いと寒しや」〈源・夕顔〉 「昨日今日とは思はざりしを」〈伊勢・125〉「よしゑやし浦はな くとも」〈万・2・131〉「伊香保 <u>ろ</u> に」〈万・14・3428〉
感動文 (かんどうぶん)	文を、その性質上から分類した場合の1種で、感動の意味を表すもの。 文のはじめに感動詞がくることが多く、また、切れる文節に感動の意 味を示す△終助詞を用いることが多い。「 <u>あはれ</u> 、いと寒しや」〈源・ 夕顔〉「三笠 (みかさ)の山に出でし月 <u>かも</u> 」〈古今・羇旅〉→文の種 類 (ぶんのしゆるい)・平叙文 (へいじょぶん)・疑問文 (ざもんぶん)・命令文 (め いれいぶん)
願望の助動詞 (がんぼうのじよどうし)	→希望の助動詞 (きぼうのじよどうし)
刊本 (かんぽん)	一般に印刷刊行された図書をいうが、狭義には、近世およびそれ以前の木活字本、銅活字本、整版本などをいう。▲版本(はんぼん)
完了の助動詞 (かんりょうのじょどうし)	動作または作用が完結している意を表す助動詞。文語では「つ」「ぬ」 「たり」「り」がこれに属する。完了の助動詞を時を表すものとする 説があるが、時とは区別して考えられる。動作や作用自体に重点をお いて、それが完結する意を表す。 「陣の外に引き棄てつ」〈枕・うへにさぶらふ御猫は〉「つゆ寝ずな りぬ」〈枕・しのびたる所に〉「講師(かっじ)、物、酒おこせたり」〈土 佐〉「顔はいと赤く摺(す)りなして立てり」〈源・若紫〉 「つ」「ぬ」の2語の区別については諸説があって定めにくいが、自 分の積極的な意志による事態に「つ」、そうでない事態に「ぬ」を用 いるという説が有力である。

〔き〕	擬古文	江戸時代から明治初年にかけて、国学者などが主として平安時代の仮
	(ぎこぶん)	名文をまねて作った文章をいう。作者は、賀茂真淵(かものまぶち)・村
		田春海(はるみ)・橘千蔭(たちばなちかげ)・本居宣長(もとおりのりなが)・藤
		井高尚 (たかなお) ・清水浜臣 (はまおみ) らが有名である。和文または△
		雅文ということもある。 🔺 雅文 (がぶん)
	起承転結	漢詩の△絶句において、第1句を起句、第2句を承句、第3句を転句、
	(202)(70))	第4句を結句(合句)といい、第1句はその述べるところを起こし、
		第2句はこれを承(う)け、第3句は変化させるために転じ、第4句は
		全体を結ぶというように作る。転じて、又草を作る場合などにもこの
	#Z   \+	力法小心用されることかのる。
	一擬人法 (ぎじんほう)	人ではいものを人になぞらえて表現する修辞法。無生物を生さものの
	(201010.27	ように考えて「風叫小」「浪(なみ) 怒る」や、動植物を人になてらえ
		- C   化夭び、鳥歌か」という頬。百くから用いられ、衣境の効果も入 まい、
	1K2=	
	掟円 岩 (ぎせいご)	初の百響や百戸なとをそのまままねと与した語。 とんとん」 から    わたし「ばたばたし「わくわく」「わたわた」の類 こじたがやた「わ
		から」「はたはた」「わんわん」「かめかめ」の規。ここもか人を「わ」
		「かりか」というように、事物の石や動下は、この目や戸を与したこと から起こったちのが多く 「かり(座)」「ほととぎす」はその喧き
		赤を 「すす(脛)ろ  はその音を横したものといわれる
	他买台比≣五	
	(ぎたいご)	事物の状態をめる目によりて家邸的に子りた品。単記物に多い。 1日
		版版のかなりをより、の上に <u>のり</u> と引き相かり、(十九)、「 <u>ほうほう</u> と田
	明定	→< <p>     ACUTE (1) (2003) (</p>
	(きてい)	· ATTA (06 51)/06 5)
	既定条件 (きていじようけん)	→条件法 (じょうけんほう)
	希望の助動詞	希望を表す助動詞。願望の助動詞ともいう。文語では「まほし」「た
	(きはつのじよとつし)	し」(口語は「たい」)がこれに属する。「まほし」は上代に使われ
		た「まくほし」が転じたものとされ、中古・中世に用いられた。「く
		はしく御有り様も奏し侍ら <u>まほしき</u> を」〈源・桐壺〉。「たし」は中
		古末期に現れ、中世には「まほし」に代わって用いられるようになっ
		た。  家にあり <u>たき</u> 木は松・桜。松は五葉もよし。花はひとへなる、
		よし」〈徒然・139〉
	疑問文	文をその性質上から分類した場合の1種で、疑問または反語の意味を
	(20/05/0)	表すもの。文中に疑問・反語を表す名詞・副詞・助詞   や」   か」な
		とか用いられ、切れる文節か「や」「か」などで終わることか多い。
		芸の <u>いつこ</u> に月やとる <u>らむ</u> (疑問)」〈古今・夏〉  月 <u>や</u> あらぬ春    やサのまたらゆ (戸茶)   (古今、恋ら、 立の形物
		27百の存ならぬ(反話)」〈古今・公5〉▲ 乂の裡類(ぶんのしゆるい)・
	中印文号	十秋天(へいじよぶん)・叩つ天(めいれいぶん)・感謝天(かんどうぶん)
	四4明 (きやくいん)	→打明(おついん)
	逆接 (ぎゃくせつ)	→接続 (せつぞく)

	逆態接続 (ぎゃくたいせつぞく)	→接続 (せつぞく)
	旧仮名遣い (きゆうかなづかい)	→歴史的仮名遣い (れきしてきかなづかい)
	校合 (きようごう)	△写本や△刊本において、他の写本や△流布本(♂𝔅𝑘𝔥)・△異本を 対校(=比べ正スコト)して正しい本文を求める作業。この作業には、 諸本の相違した箇所のみを取りあげるものから、字形・行数・文字の 加除に及ぶ詳細なものまである。その成果の一部または全部を示した 本を「校本(ごぅ𝑘𝔥)」、校訂者がもっとも原本に近いとして示す形 を「定本」という。→定本(ていਯ𝔥)
	去声 (きょしょう)	→四声 (しせい)
(<)	ク活用 (くかつよう)	文語形容詞の活用の1つ。連用形の語尾が「…く」の形をとるもの。 たとえば「よし」「おもしろし」「めでたし」「遠し」などがこれに 属する。「〈から〉・く〈かり〉・し・き〈かる〉・けれ・〈かれ〉」 (〈 〉内はこの系列から特に取り出してカリ活用とよぶこともある) と活用する。なお、未然形に「く」の形を認める説もある。▲ カリ活 用 (かりかつょう) ・シク活用 (レくかつょう)
	句切れ (くぎれ)	短歌を5・7・5・7・705句に分けて、第1句で切れる場合を「初 句切れ」、第2句で切れる場合を「2句切れ」というようによぶ。2 句切れ・4句切れは $\Delta$ 五七調といい、万葉集などに多くみられ、3句 切れは $\Delta$ 七五調といい、新古今集などに多い。なお、連歌・俳諧(はい かい)でも $\Delta$ 切れ字を用いて「句切れ」という語を使用することがある。 初句切れ「悔(<や)しかも/かく知らませばあをによし国内(くぬち)こ とごと見せましものを」〈万・5・801〉。2句切れ「わが背子は いづく行くらむ/奥つ藻の隠(なばの)の山を今日か越ゆらむ」〈万・1・ 43〉。3句切れ「見渡せば花も紅葉もなかりけり/浦のとまやの秋 の夕暮れ」〈新古今・秋上〉。2句切れ・4句切れ「春過ぎて夏来た るらし/白栲(いろたへ)の衣ほしたり/天の香具山」〈万・1・28〉
	ク語法 (<ごほう)	「言はく」「恋ふらく」「恋しけく」のように、語尾が「く」になっ て体言のように用いられる活用語の一用法。たとえば「語らく」「老 ゆらく」「為(す)らく」「来(<)らく」などのように動詞に付き、「寒 けく」「悲しけく」などのように形容詞に付き、「(有ら)なく」「(有 り)けらく」などのように助動詞に付く。これらの用法について、従 来から諸説があったが、接続がまちまちのために説明しにくかった。 そこで、これを統一的に説明するために、「一aku」という語を考え、 この語がそれぞれの連体形に付いてできたものであるとする、古くか らの説が近年有力になった。たとえば、語らくkataru(連体形)+ aku→katar aku→kataraku ただ、この考えには、「一aku」とい う語が単独で用いられた例がない点、△過去の助動詞「き」の連体形 「し」に接続した場合、たとえば「言ひしく」などの「一しく」につ いて例外として考えなければならない点など、問題がある。

屈折語	言語の形態的分類の「つ。これを組織する単語が、王として屈折」
$(\langle \mathcal{I} \mathcal{U} \mathcal{I} \mathcal{U} \rangle)$	(inflexion)の形態をもっている場合で、印欧語族、ハム・セム語族
	の諸言語が代表例。屈折とは、ある単語がその語形の一部を変化し、
	これによって文中における他の語に対する文法的関係を示す方法であ
	る。 ➡ 膠着語(こうちゃくご)・孤立語(こりつご)
<b>句点</b> (くてん)	→句読点 (くとうてん)
句読点 (<とうてん)	文の切れ目に付けるくぎり符号。元来、句点「。(まる・しろまる)」 読点「、(てん)」から出た名称で、ふつうには「。」と「、」をい うが、そのほか「,(コンマ)」「.(ピリオド)」「・(なか点・ くろまる)」「 」(かぎ)『 』(ふたえかぎ)( )(まるがっ こ)〔 〕(かくがっこ)などを含める場合もある。句読点の古い例
	は中古初期の点本(漢文に訓点を付けた本)に見えるか、したいに仮 名文に用いられるようになった。
序記司 (くるわことば)	江戸時代、遊里で遊女などが使った遊里独特のことば。江戸時代初期 に京都の島原で使いはじめられ、のち江戸吉原にも伝わり、著名となっ た。発生の理由は、客の貴賤 (きせん) 上下、出身地の違いなどから、 その平等性を考慮したものと思われる。「ありんす(=アリマス)」 「わちき(=ワタシ)」「ぬし(=オマエサン)」など。
訓 (くん)	→字訓 (じくん)
訓点語 (くんてんご)	漢文を訓読した言語。△訓点によって書かれているもの、漢文を読み 下したものに現れている言語。漢語が多く、漢文にひかれた特殊な語 法がある。会話文・引用文が△地(じ)の文と同性質で、敬語も少ない。 和文に用いられない古語や独特の語彙(ごい)がある。
訓読 (くんどく)	漢文を国語の語法に従って逐語的に訳読すること。音のまま読む漢字 も、訓で読む漢字もあるが、文全体は国語の語序に従って読む。した がって、漢文と国文とでは語序が異なるので、反読(返読・倒読)が 起こり、また同一の漢字を2回読む△再読とか、訓読しない置き字な どということが起こる。

〔け〕	係結 (けいけつ)	→本文「係り結び (かかりむすび) 」
	敬語 (けいご)	聞き手(読み手)や話の中の人物に対する敬意を表す特別の語や言い 方。ふつう、話し手(書き手)が、話の中の人物に関して敬意を表す △尊敬語、動作する人を低めるなどして、その動作の相手を高める△ 謙譲語(または謙遜(けんそん)語)、話しぶりを丁寧にする△丁寧語 の3種類に分類する。「何事をか <u>のたまは(</u> 尊敬)む事は承ら(謙譲) ざらむ」〈竹取・貴公子たちの求婚〉「夜ふけ侍り(丁寧)ぬべし」 〈源・桐壺〉 ▲尊敬語(そんけいご)・謙譲語(けんじょうご)・丁寧語(ていねいご)
	敬語動詞 (けいこどうし)	<ul> <li>敬語の意味(尊敬・謙譲・丁寧)をあわせもつ動詞。</li> <li>(1)尊敬語(文語)ます・います・たまふ・おはす・おはします・おぼす・のたまふ</li> <li>(口語)いらっしゃる・なさる・くださる</li> <li>(2)謙譲語(文語)たまはる・うけたまはる・つかまつる・奉る・参る・まうづ・まかる・申す・聞こゆ</li> <li>(口語)さしあげる・いただく(=モラウ・食ウ・飲ム)</li> <li>(3)丁寧語(文語)侍り・候(さぶら)ふ</li> <li>(口語)ございます・たべる・いただく(=食ウ)</li> </ul>
	形式名詞 (けいしきめいし)	△普通名詞のうち、意味のうえからいって名詞としての実質を備えず、 名詞としての一般的形式しかもっていないもの。そのまま単独で用いることはなく、必ず修飾する語を必要とする。「親のため、妻子のためには恥をも忘れ、盗みもしつべきことなり」〈徒然・142〉 ・・実質名詞
	係助詞 (けいじょし)	種々の語に付いて、助詞を含む文節に強意・疑問などの意味を添え、 それを受ける文節に一定の制約を加える助詞。文語では「は」「も」 「ぞ」「なむ」「や」「か」「こそ」がこれに属する。「は」「も」 の結びは終止形であるから、他の係助詞のように形態上から結びを制 約することはないが、意味上からの制約がある。「ぞ」「なむ」「や」 「か」は連体形で結び、「こそ」は已然形で結ぶ。→ 本文「係り結び (かかりむすび)」
	形声 (けいせい)	<ul> <li>△六書(りくしよ)の1つ。意味を表す漢字と、音を示す漢字とを組み合わせ、新しい意味を表すように作られた漢字をいう。たとえば△象形文字の「水」は、「みず」という広い意味をもつが、その意味を限定して水に関係するある事物を示すために、「水(=;)」に、それぞれ別個の音を示す漢字をそえて別の漢字をつくる。「汁(しふ)」は「+(しふ)」が音を表し「しる」の意。「汗(かん)」は「干(かん)」が音を表し、皮膚から出る水「あせ」の意。「諸声(かいせい)」ともいう。</li> <li>▲ 六書(りくしよ)</li> </ul>

│ 敬体	口語の文体を、おもに指定(断定)の表現に現れる特徴から、常体(―
(1) (1) (1) (1)	だ体・―である体)・敬体(―です体・―でございます体・―であり
	ます体)の2つに分けることがある。敬体は、特に丁寧語を用いたロ
	語の文体で、動詞には「ます」が付くのがふつうである。 <del>一</del> 般に、話
	しことばには敬体が多く、書きことばには常体が多い。
形容詞	品詞の1つ。△自立語で△活用があり、言い切りの形の語尾が、文語
(けいようし)	では「し」、口語では「い」になる△用言。物事の性質・状態を表す。
	活用の種類としては、ク活用(から・くかり・し・きかる・けれ・か
	れ)・シク活用(しから・しく/しかり・し・しき/しかる・しけれ・
	しかれ)の2つがある。形容詞の語幹(シク活用は終止形)は「あな
	おもしろ」のように、単独で用いられ、また「あやしのわざ」のよう
	ク活用は終止形)に「み」をつけて、原因・理由を表す用法がある。
	「都を遠み(=都ガ遠イノデ)」〈万・1・51〉「君を愛(うつく)
	しみ(=君ガナツカシイノデ)」〈万・4・569〉。また、下に「さ」
	「み」「け」「げ」などを伴って名詞となる場合がある。「暑さに乱
	れたまへる御有り様を  〈源・帚木 (ははきぎ) 〉。なお、上代には未
	然形・已然形に「―け」「―しけ」という形があった。「明けむあし
	たに消(け)なば惜しけむ 〈万・8・1650〉「奈良の大路(おほち)
	は行きよけど  〈万・15・3750〉。日本語の形容詞は「海青し
	のように、それだけで述語になれるという特徴がある。
形容詞型活用の	活用のしかたが形容詞に準じる助動詞。文語では、①ク活用型…たし・
助動詞	べし、ごとし ②シク活用型…まほし、まじ(上代は、ましじ、らし)
(けいようしがたかつよ	がこれに属する。ただし、活用形は形容詞とまったく同じというので
2002220	はなく、その活用形のいくつかを欠いているものがある。
 形容動詞	品詞の1つ。△自立語で△活用があり、言い切りの形の語尾が、文語
(けいようどうし)	では「なり」「たり」、□語では「だ」となる△用言。物事の性質・
	状態を表す。文語では、ナリ活用(なら・なりに・なり・なる・なれ・
	なれ)・タリ活用(たら・たりと・たり・たる・たれ・たれ)の2種
	類がある。
	「元来、形容動詞は「静かにあり→静かなり」「堂々とあり→堂々たり」
	のように、連用形の1つの形としている「―に」「―と」に動詞「あ
	り」が付いたもので、「静かに」「堂々と」だけでは種々の意味(た
	とえば、打消・推量など)を表すことができないので、「あり」を付
	けて動詞のように働かせようとしたものである。なお、ヘタリ活用の
	語幹は漢語が多い。
	形容動詞の語幹は「波静か」のように単独で用いられる。また、下に助
	詞「の」を伴って用いられることがある。「あはれの鳥と言はぬ時なし」
	〈万・18・4113〉。接尾語「さ」を伴って名詞ともなる。「しづ
	かさや岩にしみ入る蝉(せみ)の声」〈おくのほそ道・立石寺・芭蕉〉
	が副詞法になることが形容詞に近いという、動詞と形容詞との中間の
	性格の語である。

	形容動詞型活用 の助動詞 (けいようどうしがた かつようのじよどうし)	活用のしかたが△形容動詞に準じる助動詞。文語では①ナリ活用型… なり(=断定)・べらなり ②タリ活用型…たり(=断定)がこれに 属する。
	演算 課題語 (けんじようご)	<ul> <li>△敬語の1種。動作する人に関することを謙遜(けんそん)していうことによって、動作を受ける人への敬意を表す言い方。謙遜語とも。文語では、</li> <li>(1)接頭語…拝一(読)・愚一(見)</li> <li>(2)代名詞…まろ・わらは</li> <li>(3)動詞…聞こゆ(=申シアゲル)・承る(=ウカガウ)・奉る(= サシアゲル)・賜る(=イタダク)・申す(=申シアゲル)・まかづ(=退出スル)・参る・まうづ(=参上スル・ウカガウ)・候(さぶら)ふ(=伺候スル)</li> </ul>
		(4) △袖助動詞…聞こゆ・奉る・申す・給い(ト_段活用)・まつ る・参らす など。 なお、文語動詞では、ただ、動作を受ける人への敬意を表すために使 われることが多い。
	<b>謙遜語</b> (けんそんご)	→謙譲語(けんじようご)
(2)	語彙 (ごい)	ある範囲の単語の集まりを総体的にさしていう。集まりを形づくる個々 の単語を直接的にさすのではない。アイヌ語の語彙といえば、アイヌ 語に用いられる単語の総体をさし、近松の語彙といえば、近松の作品 に現れた単語の総体をさす。したがって「『夕波千鳥』は柿本人麻呂 の語彙である」などというのは適当ではない。
	口語 (こうご)	もともとのことばの意味では話しことばをいい、現代語の話しことば と、それにもとづく書きことば(=ロ語文)とを合わせてもいう。 ↔ 文語
	合成語 (ごうせいご)	→複合語 (ふくごうご)
	膠着語 (こうちやくご)	言語の形態的分類の1つ。これを組織する単語が、主として膠着 (agglutination)の形態をもっているもので、日本語・トルコ語、 その他ウラルアルタイ語族の諸言語がそれであるといわれる。膠着と は、単語の前後に、意味があっても独立しない辞を連結してその単語 の意味を修飾したり、文中の他の単語に対する文法的関係を示したり する方法である。▲ 屈折語 (<っせっご) ・孤立語 (こりっご)

呼応	1つの文の中で、前にくるある特定の語によって、これを受ける語が
(このつ)	一定の言い方をする現象。副詞の呼応をさしていうことが多い。すな
	わち△叙述の副詞が前に来るときは、それに応じる語があとに要求さ
	れる。
	(1)打消の語を要求するもの…決して・絶えて・いさ・つゆ・え。
	「人はいさ心も知らず」〈古今・春上〉
	(2)禁止の語を要求するもの…ゆめ・断じて・決して。「ゆめ心お
	きたまふな」〈源・若菜下〉
	(3)「べし」を要求するもの…すべからく・まさに。「すべからく
	まづその心づかひを修行すべし(=当然)  〈徒然・2   7〉
	ほかに願望・比況・推量・仮定の語を要求するものなどがある。なお、
	呼応に係り結びの関係を含める場合もある。
	▲ 叙述の副詞 (じょじゆつのふくし)
古活字本	文禄2(1593)年以降、慶安(1648~1652)年間ごろま
(こかつじぼん)	でに、活字で印刷刊行された書物をいう。慶長勅版・伏見版・嵯峨本
	(さがぼん) などが有名であるが、広く民間でも行われていた。銅活字本
	は少なく、ほとんどが木活字本。江戸時代末期の木活字本に対する語。
語幹	△活用語で、活用語尾を除いた、形の変化しない部分をいう。たとえば
(ごかん)	「読む」の「読 (ょ) 」、「高し」の「高 (たか) 」、「静かなり」の「静
	 か」など。また「見る」 「得 (5) 」 「来 (<) 」 「す」などのように語全
	体が変化するため、活用語尾との区別ができないものもある。↔ 語尾
語根	語構成要素の1つで、それだけでは単独に用いられない、また、これ
(ごこん)	以上分解することのできない単語の基本的意味をもつもの。「ほのめ
	く  「ほのかに  「ほの暗い  「ほのぼの  の「ほの   、「しづかに
	「しづ心」「しづしづ」の「しづ」など。
	= = = = = = = = = = = = = = = = =
	うに、それ自身重なったり、「ほのぐらし」のように他の単語と合し
	たりして単語を作る。語根と接頭語を比較すると、接頭語がそれの付
	く語に単に付属的な意味を加えるのに対して、語根は、それの付く語
	の中心となる意味を表しているところが異なる。

	五七調 (ごしちちょう) 五十音図	わが国の声の 配列によっる のら成る 調	は構子ズ新長へのら行	5さ、を今の句歌てきれ上形集場切にいっ	・る軽成の合れもる))に	音と、る代5×4い   △子	音多重古な 切れ 音、数しくくる7 れ、	律。、万と音に特 横の王そ葉、のなに の	基七の集 へ反る明 列に	単はめ長五で合以(〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	<ul> <li>こと5定多盛ませま</li> <li>一</li> </ul>	いて、その反復・ 一音、下7音の結 こ感があって、典 らく見られたが、 込となり、五七 読ま五七調である ご調とよぶ。五七 約スタイルの一 そろえて配列し
	(ごじゆうおんず)	た図をいう。	а.					-	-	1-		<b>_</b>
			わ	5	P	ま	ほ	75	ΤĊ	ਣ	ימ	Ø
			ಹ	b	い	み	강	(C	ち	U	き	し
			Э	3	Ø	む	ßı	ぬ	С	す	<	Э
			ୟ	n	え	め	$\sim$	ね	ζ	U	け	え
			を	3	አ	ŧ	ほ	の	と	そ	Z	お
縦の行は、それぞれ最初のかなによって、ア行・ の列は、ア段・イ段などとよぶ。五十音図は国語 しているものではない。たとえば、へ濁音・△半滑 〜促(そく)音・△撥(はつ)音などがない。しかし ぼ集められており、しかもその配列が音節相互の いるので、古くから音の転換・変化、語源の解釈 などに用いられている。現在では、仮名の字母表 「いろは」やアルファベットの代わりに、辞書・ ける見出し語の配列の基準として使われている。 なお、この図の起源については諸説があるが、中 に成立していたと考えられる。ただ古くは配列の るものがあるなどさまざまであり一定しない。							カの音、関、と索・古順の音(保保仮しらう・中原	などとよび、横 節のすべてを示 ・				
	詞書 (ことばがき)	→本文「こと 	ばカ	ぎ」								
	語尾 (ごび)	→活用語尾 (: 	かつよ	:うごひ	°)							
	固有名詞 (こゆうめいし)	△名詞のうち   名、書名など   葉集] 。これ   ある。	で、 がそ .には	ある れで は、	♪ 1 ご ある。 「東京	の事 。た。 〔駅〕	部に とえに 「京	こ限っ ず、 東都市	って用 「芭蕉 「長」	いら 〔(ば のよ	られる しょう こうに	5もの。人名、地 )」「奈良」「万 「複合したものも

	孤立語	言語の形態的分類の1つ。これを組織する単語が、主として孤立
	(こりつご)	(isolation)の形で文を構成する習慣があるもので、古代中国語が
		その例としてあげられる。孤立とは、肖語が通なって立を構成すると
		この例としてのりうれる。 風立とは、半日の足なりてくを構成すると
		こ、谷里市が詰尾変化とかての他又広的関係を小り変化をようたくも
		/こないで連結される形態をいう。
〔さ〕	最高敬語	平安時代に、帝 (みかど) や后 (きさき) に対する尊敬語として、「たまふ」
	(さいこうけいご)	に尊敬の助動詞「す」「さす」「しむ」を併せた「せたまふ」「させ
		たまふ」「しめたまふ」を用いることが多いので、これを他の場合と
		区別して最高敬語といっている。このほか、尊敬語の「おはします」
		「のたまはす」「御覧ぜらる」、謙譲語の「奏す」「啓す」「きこえ
		さす」などもあり、これらも含めていう場合もある。
		逆文の訓読において、同じ空友の回読むこと、たとえば、「涇」は「主
	(さいどく)	z $z$ $z$ $z$ $z$ $z$ $z$ $z$ $z$ $z$
		「「」、「ヨ」は「よどにかくり」、「酒」は「ははかととり」、「木」
		は「いふた…」の「ほと、これらは国文広にいう本秋処(陳処)の副詞
		の、呼心という話法でのる。
	サ行変格活用	動詞活用の1つ。略してサ変という。活用は(せ・し・す・する・すれ・
	(さぎょうへんかくかう)	せよ)。このように活用する動詞は「す」と「おはす」の2語(口語で
		は「する」だけ)である。ただし「す」は他のいろいろな語と合して多
		くの複合動詞をつくる。 🔺 サ変複合動詞 (さへんふくごうどうし)
		参考)「おはす」は、四段活用と下二段活用との両様の活用があったと
		して、サ行変格活用と見ない説もあるが、その根拠となる用例について
		は問題があり、サ変と見るのが妥当であろう。
	サ変複合動詞	サ行変格活用動詞(文語では「す丨、口語では「する丨)が、国語の
	(さへんふくごうどうし)	名詞・漢語、その他に付いて、複合動詞となったもの。サ変動詞の「す」
		だけでは動作を漠然と表すだけであるから、その上に実質を示す語を
		添えたもので、その数は非常に多い。一例を示すと、
		(1) 国語の名詞と複合したもの…旅す・やどりす・もみぢす・かう
		べけ 首品の 日時に後日 0 た 0 の パター イビジター 0 の シター お シ
		(9) 漢語名詞と複合したもの…寿す、合本・暎本・語経(ビキャラ)す。
		(1) 形の河の立体形に抜合したたの 合うす クレラオ わたじけ
		(3) 形谷詞の自使形と複百したもの…主う9・久しう9・かたしり
		(4)形谷動詞と復合したもの…新たに9・時(もつば)らに9
		(5) 形容詞の語幹に「み」の付いた名詞と複合したもの…甘んず(甘
		みす)・安んず(安みす)
	三句切れ	→句切れ (<ぎれ)
	(さんくぎれ)	

(L)	子音 (しいん)	△母音に対する名称で、気息の通る路(みち)を、一時閉鎖するか、または狭まりをつくることによって生じる音。子音は、発音される場所によって唇内音・舌内音・喉内(こうない)音の3種に分けられ、発音される方法によって破裂音・摩擦音・破擦音・鼻音・流音の5種に分けられる。なお、声帯の振動によって発音するものを有声音、振動によらないで発音するものを無声音というが、これらを総合して、国語にふつう用いられる子音を表にすると次のようになる。↔母音(ぼいん)				
				唇内音	舌内音	喉内音
		一破	無声音	р	t	k
		音	有声音	b	d	g
		摩	無声音	F	s∫	h
		日音	有声音	w	z 3 j	
		し 破	無声音		ts t∫	
		音	有声音		dz dz	
		鼻音	有声音	m	n	ŋ N
		流音	有声音		r	
	使役の助動詞 (しえきのじょどうし)	他に動作・作用をさせるという意味を表す助動詞。文語では、「す」 「さす」「しむ」がこれに属する。「夜ごとに人をすゑて守らせけれ ば」〈伊勢・5〉「名を三室戸 (みむるど) 斎部 (いむべ)の秋田を呼びて つけさす」〈竹取・かぐや姫の生ひ立ち〉「生 (しゃう)を苦しめて目 を喜ばしむるは、桀 (けつ)・肘 (ちう)が心なり」〈徒然・121〉 なお、「す」「さす」「しむ」が尊敬の意を表すことがあるが、その 場合は常に「給ふ」「おはします」「らる」などの尊敬を表す語とと もに用いられるときで、単独の場合は必ず使役の意である。				
	字音 (じおん)	<ul> <li>単に、音(おん)ともいう。中国から伝わった発音に従った漢字の読み方で、呉音(さおん)・漢音・唐音(または宋音(そうおん))の順に渡来。</li> <li>(1)呉音…行(ぎゃう)・京(きゃう)・清(しゃう)・和(わ)・火(くわ)中国南方の呉地方の発音。わが国に最初に入った音で、上代に用いられた。仏教関係の語などに多い。</li> <li>(2)漢音…行(かう)・京(けい)・清(せい)・和(くわ)・火(くわ)隋(すい)・唐(とう)の音をいう。上代以後、正音として伝えられ、漢文や仏典を読む場合に主として用いられた。</li> <li>(3)唐音(宋音)…行(あん)・京(きん)・清(しん)・和(を)・火(こ)中古中期以後、近世にかけて、宋・明(みん)・清(しん)の音が中国の商人や、中国より帰国した留学僧(特に禅宗関係)によって伝えられた。</li> </ul>				
字音仮名遣い (しおんかなづかい) シク活用 (しくかつよう)	漢字の字音を仮名で表記する場合のきまり。△歴史的仮名遣いの立場 では「公(こう)・甲(かふ)・好(かう)・光(<わう)」「東(とう)・答(たふ)・唐(たう)」 と書き、現代的仮名遣いの立場では、それぞれ「こう」「とう」と書 き表す。今日は現代仮名遣いによる字音仮名遣いが行われている。 文語形容詞の活用の1つ。連用形の語尾が「…しく」の形をとるもの。 「うつくし」「恋し」などがこれに属する。「〈しから〉・しく〈し かり〉・し・しき〈しかる〉・しけれ・〈しかれ〉」(〈 〉内はこ の系列から特に取り出してカリ活用とよぶこともある)と活用する。 なお、未然形に「しく」の形を認める説もある。					
--	--					
字訓 (じくん)	<ul> <li>▲カリ活用 (かりかつょう)・ク活用 (&lt;かつょう)</li> <li>単に、訓 (&lt;ん) ともいう。漢字に対する国語の訳語が、その漢字の読 み方として固定したもの。たとえば「中」を「なか」「うち」「あた る」、「国」を「くに」と読む類。</li> </ul>					
自己敬語 (しこけいご)	自敬表現ともいう。自分の動作・事柄・所有に尊敬語を用いること。 実際に高貴の人は自分に尊敬語を用いたものであるともいい、また高 貴の人のことばを、伝え手や作者の立場から、尊敬語に言い換えたも のであるともいう。 「〔大葉子(おぉはこ)が自ら詠んだ歌〕大葉子は領巾(ひれ)振ら <u>す</u> も」 〈欽明紀〉「〔帝(みゕど)が、自身の動作を〕顔かたちよしと <u>きこし</u> <u>めし</u> て、御使ひを <u>たび</u> しかど」〈竹取・御門の求婚〉「〔後白河法皇 が、自身の動作を〕御行水を <u>めさ</u> ばやと <u>おぼしめす</u> はいかがせんずる」 〈平家・3・法皇被流〉					
指事 (しじ)	△六書(りくしよ)の1つ。象形文字のように、絵画的にその形を表せない事柄を、点または線などを用いたり、象形文字のある部分に符号を付けたりして示すもの。たとえば、「-・二・三」は、線によってその数を表す。「上」は、線の上に点を打って、ある物または基準の上に物があることを示す。「本」は、象形文字と組み合って、「木」の下にしるしを付けて、木の根もとの意を表す。→六書(りくしよ)					
四声 (しせい)	漢字音の高低法。平声(ひょうしょう)・上声(じょうしょう)・去声(きょしょう)・入声(につしょう)の4種。平声を除いた他の3声を仄声(そくせい)という。平声は平らな調子、上声ははじめが低く語尾が高くなる調子、 去声ははじめが高く語尾が低くなる調子、入声はp・t・kの△子音などで終わる急な調子。平声と仄声を合わせて平仄(ひょうそく)という。					
七五調 (しちごちよう)	わが国の詩歌は、5音・7音を音数律の基本単位として、その反復・ 配列によって構成されることが多い。七五調は、上7音、下5音の結 合から成る調子で、上重く、下軽く、そのために不安定な感じがある 反面、軽妙流暢(りゅうちょう)なリズムを形成する。和歌においては、 古今集から多くなり、新古今集において最も多く用いられた。短歌に おける七五調とは、△3句切れになる場合をいう。なお、七五調は和 歌以外の種々の歌謡、散文の△道行(みちゅき)文などにも用いられ、 明治以後は詩のスタイルの一体として広く盛んに用いられている。					

由所力司	
天筫名詞  (じつしつめいし)	△晋逋名詞のつち、具体的にしても拙家的にしても、一定の美賞概念 のたるなまたいこともようば「え」までに手思していた。
	のめる名詞をいつ。にとえば「こと」のに単量(ちょうでふ)せり(三事
	仵力人テニ重ナッテイル)」〈平豕・丨・殿上闇討〉は、実貨を備え
	ているので実質名詞である。これに対して、「ただ今の一念、むなし
	く過ぐる <u>こと</u> (=過ギテ行クコト)を惜しむべし」〈徒然・108〉
	は、実質を備えていないので形式名詞とする。↔ 形式名詞
指定の助動詞 (していのじょどうし)	→断定の助動詞 (だんていのじょどうし)
自動詞	動作や作用をそれ自身だけのはたらきとして表す動詞。「水流る(ラ
(じどうし)	下二)」「湯沸く(カ四)」などで、「水を流す(サ四)」「湯を沸
	 かす(サ四)」のように、 <del>一</del> 般に「…を…する」という形をとる他動
	 詞と区別される。しかし、自動詞にも他動詞のように「…を」という
	言い方をする場合もある。「音 (ね) を泣く  「寝 (い) を寝 (ぬ)   。
	 古く、日本語の自動詞は、その動詞の表す事態が当事者と何のかかわ
	りもなく起きたことを述べる場合に用いたとされ、西欧語の自動詞と
	はその用法が違っていたとされる。↔ 他動詞
地の文	物語・小説などで、会話でない叙述の部分の文章をいう。ふつう、書
(じのぶん)	きことばがおもに用いられるところから、会話文とは語彙(でい)・語
	法が異なることが多いが、平安時代の仮名文学では、会話文と地の文
	とで語彙・語法の差が少ない、そのため、この時代は言文
	ともいわれる。
   自発の助動詞	動作・作用が自然に起こる意を表す助動詞。文語では「る」「らる」
(じはつのじよどうし)	(口語では「わる」「られる」)に、この用法がある。上代には「ゆ」
	も田いられた。「克思ひいでらる」〈源・総备(http://www.solide.com/http://
	りにの見ていた。 $1 \times 1000  \times 10000 \times 1000 \times 10000 000$
	11.13 例 $10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, $
	て
<b>トー</b> 技/山田 (しもいちだんかつよう)	割詞の活用の「フ。ム活用語尾がム五十百凶のうち「上」段一段に変 ルナスキャースやに厚まる新司は、ロ話では「倶 いって」「開スネス」
	169 るもの。これには9 る動詞は、口語では「侍(え)る」「闻こえる」
	受ける」など多いか、又語ぐは  蹴(け)る」 語ぐめる。 蹴る]
	は上代にはワ行ト_段に活用したようである。 蹴散、これを <u>くゑ</u> は
	ららかすと云(い)ぶ」〈神代紀〉
下二段活用	文語動詞の活用の1つ。△活用語尾が△五十音図の「ウ」「エ」二段
(0000000000000)	に変化するもの。「得 (ぅ) 」「投ぐ」「出 (ぃ) づ」「述ぶ」「流る」
	「聞こゆ」「植う」など。これらは、口語ではすべて下 <del>一</del> 段活用にな
	る。また、下二段に活用する語で、古く△四段活用であったものがあ
	る。「隠る」「恐る」「忘る」「乱る」「埋 (ラづ) む」「分く」など。
写本	筆写された本。写本には著者の「自筆本」と、それを転写した「転写
(しやほん)	本」とがあり、転写本には、さらに文字を写しただけの「謄写本」と、
	筆跡まで模した「模写本」とがある。また、模写本は、原本を傍らに
	置いてこれを模した「臨模本」と、薄く透明な紙をのせてなぞった「影
	   写本」とに分かれる。わが国の写本は、古く仏書・漢籍の筆写に始ま
	り、しだいに史書・歌集・物語などに及んだ。

	終止形 (しゅうしけい)	△活用形の1つ。文の終止に使われる。文語では文を終止するほか、 「らむ」「めり」「べし」などの助動詞や、「とも」「や」「な」な どの助詞に連なる用法がある。「しづ心なく花の <u>散る</u> らむ」〈古今・ 春下〉「今更に山へ <u>帰る</u> なほととぎす」〈古今・夏〉。活用形のうち、 いちばんもとになる形と考えられて、「基本形」「基本の形」ともい われる。
	終止法 (しゅうしほう)	単語が言い切りの用法に立つことをいう。この場合、品詞や語形に一 定の制約がある。常に終止法に立つ品詞は、感動詞と終助詞だが、ム 体言・形容詞、形容動詞の語幹もこの用法に立つことがある。「風か よふ寝ざめの袖(そで)の花の香にかをる枕(まく5)の春の夜の夢」〈新 古今・春下〉「あな、きよら」〈源・柏木(かしはぎ)〉。△活用語で は終止形・命令形がこの用法をもっているが、係り結びの関係から連 体形・已然形がこの用法に立つこともある。
	修飾語 (しゅうしよくご)	他の文節に連なって、その意味をくわしく限定する文節。△用言を修 飾するものを連用修飾語、△体言を修飾するものを連体修飾語という。 「蓑虫 (みのむい) <u>いと</u> あはれなり」〈枕・虫は〉「花ぞ <u>むかしの</u> 香に匂 (にほ) ひける」〈古今・春上〉→ 被修飾語 (ひしゆうしょくご)
	終助詞 (しゅうじよし)	文末にあって種々の語に付いて、疑問・反語・禁止・詠嘆・感動・命 令・願望・強意などの意を表し、文を終止させる助詞。これに属する 助詞は、「か」「かな」「が」「がな」「かし」「なむ」「ばや」な ど。ほかに、「かも」「がも」「な」「ね」「に」「こそ」などがあ るが、これらは上代に多く用いられた。「心知れらむ人に見せ <u>ばや」</u> 〈後撰・春下〉「はや言へ <u>かし</u> 」〈土佐〉→助詞(じょし)
	重箱読み (じゅうばこよみ)	漢字の熟語・複合語で、たとえば「重箱(いゅうばこ)」(食物などを入れる重ね箱)のように、上部を△音で読み、下部を△訓で読む読み方。 「合羽(かっぱ)」も同様なので「合羽読み」ともいう。そのほか「縁 組(えんぐみ)」「頭取(とうどり)」「王手(おうて)」なども、この読み方。 →湯桶読み(ゆとうよみ)
	重文 (じゅうぶん)	<ul> <li>△主語・△述語の関係を基準として考えた文の構造の1つ。1つの文</li> <li>において、対等の主語・述語の関係が2つ以上成り立っているものをいう。</li> <li>山 紫にして 水 明らかなり</li> <li>主 述 主 述</li> <li>対 対</li> </ul>
	熟語 (じゅくご)	△複合語の1種。2つ以上の単語が結合して、ある固定した意味を表 す語。「春風」「落ち葉」「嬉 (うれぃ) 涙」「足弱 (ぁしょゎ) 」など。 ▲複合語 (ふくこうご)

主語	文の成分の1つ。「何がどうする」「何がどんなである」「何が何で
(しゅご)	ある」などの文で、「何が」に相当する△文節。主語は述語に呼応し、
	述語の前に位置するのが原則であるが、省略される場合が多い。主語
	を構成する文節は、だいたい次のようなものから成り立っている。①
	△体言、または体言に助詞の付いたもの。「風吹き、雨さへ降りぬ」
	②用言・活用連語の連体形、またはそれに助詞の付いたもの。「雁 (か
	p) などのつらねたるが、いとちひさく見ゆるはいとをかし」〈枕・
	春はあけぼの〉③対等の語を並列したり、助詞・接続詞で結合させた
	りしたもの。「人は、 <u>かたち</u> ・ <u>ありさまの</u> すぐれたらんこそ、あらま
	ほしかるべけれ」〈徒然・1〉。日本語では主語が不可欠の要素でも
	ないということ、他の修飾語との用法上の区別がつけにくいというこ
	となどから、修飾語の1種であるとする説もある。↔ 述語
述語	文の成分の1つ。「何がどうする」「何がどんなである」「何が何で
(じゅつご)	ある」などの文で、「どうする」「どんなである」「何である」に相
	当する△文節。述語は日本語では文末に位置し、文の内容を統合する。
	述語を構成する文節は、次のようなものから成り立っている。①△用
	言・活用連語、またはそれに助動詞の付いたもの。「風 <u>吹き</u> 、雨さへ
	降りぬ」②△体言、または体言に助詞の付いたもの。「火もとは、樋
	 <u>口富 (ひぐちとみ)の小路とかや</u> 」〈方丈〉③用言・活用連語に補助用言
	の付いたもの。「宝を費やし、心を悩ますことは、すぐれてあぢきな
	くぞ侍る」〈方丈〉④対等の語の重なったもの。「綾 (ぁゃ) も物の色
	も珍らかに清らなり」 ↔ 主語
順接 (じゅんせつ)	→接続 (せつぞく)
準体言	活用語の連体形が、活用語としての意味・性質をもちながら、一方で
(じゆんたいげん)	は△体言の資格をもって扱われるものをいう。「愛憐 (ぁぃれん)の情
	うすきに似たり」の「うすき」、「過ぎたるは及ばざるが如(ごと)し」
	の「過ぎたる」「及ばざる」など。山田孝雄氏の説。
準体助詞	「これは私 <u>の</u> です」「新しい <u>の</u> がよい」の「の」のように、それ自身
(じゆんたいじよし)	としては断続の意味をもたず、種々の語に付いて体言と同じはたらき
	をする助詞。文語では「の」「が」など。「前 (さき) の守 (かみ) 今 <u>の</u> (=
	今ノ守)も」〈土佐〉「この歌はある人のいはく大伴 (おほともの) 黒主
	<u>が</u> (=大伴黒主ノ歌)なり」〈古今・雑上〉
	(参考)準体助詞は、橋本進吉氏の説く助詞の1つ。格助詞として取り
	扱う説もある。
順態接続	→接続 (せつぞく)
(じゆんたいせつぞく)	

序	(1)書物などの初めに記す文で、「はしがき」ともいう。著作に至っ
(じょ)	た由来などを書く場合が多い。古今和歌集には、仮名序と真名序とが
	ある。↔ 跋 (ばつ)
	(2) 「序詞」を「序」ということがある。 ➡ 序詞 (じょし)
象形	△六書 (りくしょ) の1つ。物の形をかたどったもので、漢字の原型を
(しょうけい)	しのばせる文字である。日・月・山・木・人・口・馬・魚・弓・刀・
	門・戸など。▲ 六書 (りくしょ)
条件法	前に述べた事柄が、あとに述べた事柄の条件になっている場合の用法
(じょうけんほう)	で、次の3種がある。
	(1)仮定条件…ある事柄を仮定した表現法
	①順接…「もし…なら」の形。文語では接続詞「さらば」「しから
	ば↓を用い、また、△活用語の未然形に接続助詞「ば↓を付ける。
	②逆接…「もし…ても」の形。文語では接続詞「さりとて」を用い
	また。動詞の終止形・形容詞の連甲形に「と」「とも」を付ける。
	(2) 確定(時定)条件…ある事柄が時に成り立ったものとしての表
	○順控…「…たので」の形 文語でけ接続詞「されげ」「Ⅰいれげ」
	②逆按…  …たりれこ」の形。又語では按続詞(さりなから)   さ
	るに」   しかれこも」 なこを用い、また、 活用語の日沿形に接続明
	詞 と」 とも」を作ける。
	(3) 一般(恒常)条件…める事柄かめる場合には、いつもきまって
	同じ結果を生じるとしての表現法
	①順接…   であれはいつも… (だ) 」の形。沽用語の已然形に接続
	助詞「ば」を付ける。
	②逆接…  …であってもいつも…(だ)」の形。活用語の已然形に
	接続助詞「ど」「ども」を付ける。 🔺 接続 (せつぞく)
畳語	△複合語の1種。同一の語を重ねてつくった語。「ほのぼの」「われ
(じょうご)	われ」「重ね重ね」「人々」など。また、広義には同じような意味を
	重ねた語をいうこともある。「広大」「展開」「狭隘 (きょうあい) 」など。
上声	→四声 (しせい)
(じょうしよう)	
常体	→敬体 (けいたい)
(じようたい)	
状態の副詞	△副詞の↑種。主として動詞を修飾して、その動作・作用の状態をく
(じようたいのふくし)	わしく定める副詞。「大蛍ゆらりゆらりと通りけり」〈おらが春・―
	│茶〉「つれづれと降り暮らして」〈源・帚木 (ははきぎ) 〉。また、状
	る。「しばしの程」「すべての国々」「わざとの使ひ」=情態の副詞。

<b>初句切れ</b> (しょくぎれ)	→句切れ (<ぎれ)
序詞 (じょことば)	→序詞 (じょし)
助詞 (じょし)	品詞の1つ。△付属語で△活用がないもの。 (1) △自立語(または自立語に助動詞の付いたもの)に付いて、その語と他の語との関係を示すはたらきをする。「梅 <u>が</u> 枝(ぇ)」「夏 <u>の</u> 夜」(連体修飾) (2) その語に一定の意味を添えるはたらきをする。「風 <u>さへ</u> 吹き出 (い)でたり」(添加) 助詞は、どういう語に付き、どういう語にかかっていくかという基準 に従って、次の6種類に分けられることが多い。 (1) 格助詞 (2) 接続助詞 (3) 係助詞 (4) 副助詞 (5) 終助詞 (6) 間投助詞 ▲ 各項参照 これらのうち、係助詞と副助詞とを合わせて副助詞、終助詞と間投助 詞とを合わせて終助詞とし、全部で4種類とすることもあり、また、 これらのほかに、△並列助詞、△準体助詞などを立てる説もある。= テニヲハ・助辞。
助字 (じょじ)	漢文で、文末に用いる「也」「焉」「哉」「乎」「歟」、格を示す前 置の「於」「于」、代名詞的な後置の「之」「者」、接続を示す「而」 「以」、動詞の相に関する「令」「使」「被」などをいう。これらは、 漢文訓読の場合、国語の助詞・助動詞に当たるもので、そのうちには 国語にあてて読む習慣がないものもあって、それを「置き字」とよぶ ことがある。
叙述の副詞 (じよじゅつのふくし)	△副詞の1種。修飾される △用言の叙述のしかたを限定して、これに一定の言い方を要求する副 詞。この叙述の副詞を受けて一定の言い方で結ぶ関係を「副詞の呼応」 という。=陳述(ちんじゅつ)の副詞・呼応の副詞。 (1)打消の語を要求するもの…いさ・つゆ・必ずしも・え・つやつや (2)禁止の語を要求するもの…ゆめ・断じて (3)願望の語を要求するもの…なにとぞ・ひとへに・いかで (4)比況の語を要求するもの…あたかも・さながら (5)推量の語を要求するもの…あたかも・さながら (5)推量の語を要求するもの…よも・をさをさ (7)仮定の語を要求するもの…とし・たとひ・よし(や)・かりに (8)断定・肯定の語を要求するもの…正に・実に (9)疑問・反語の語を要求するもの…しかで(か)・など(か)・豈(あ に)・いづくんぞ (10)「べし(当然・適当・命令)」を要求するもの…すべからく・宜 (ょう)しく・当(まさ)に
助数詞 (じよすうし)	接尾語の1種。数を表す語に添えて、その数量や順序を示すもの。 「

助動詞	品詞の1つ。△付属語で△活用のあるもの。それ自身では△文節を作
(じよどうし)	らず、△自立語に付いて、種々の意味を添えてその叙述を助ける。「散
	ら <u>む」</u> 「咲き <u>けり</u> 」「我も人 <u>なり</u> 」
	助動詞の分類については、(1)接続による分類 (2)活用による分
	類 (3)意味による分類 の3方面から考えられる。
	(1)接続による分類
	①
	(ア)未然形に付くもの…す・さす・しお・る・らる・ず・お・おず・
	$(\cdot)$
	(イ)連田形に付くもの…き、けり、つ、め、たり(空了)、たし、
	(内)線正形に付くたの…べし、まじ、らむ、めり、らし、たり(伝
	(工)連体形に付くもの…べし、よし、らむ、のり、らし(以上、
	フ変・形容詞・形容動詞に)・なり(断定)・ごとし
	(オ)已然形に付くもの…り(四段のみ)
	(2)△体言その他に付くもの
	体言に付くもの…なり・たり(断定)
	助詞に付くもの…ごとし
	(2)活用による分類
	<ol> <li>①動詞型</li> </ol>
	(ア)四段型…む・けむ・らむ・す(尊敬)・ふ(継続)
	(イ)下二段型…す・さす・しむ・る・らる・つ
	(ウ)ラ変型…たり(完了)・り・けり・めり・なり(伝聞)
	(エ)サ変型…むず
	(才)ナ変型…ぬ
	②形容詞型
	(ア)ク活型…たし・べし・ごとし
	(イ)シク活型…まほし・まじ
	③形容動詞型…なり(断定)・たり(断定)
	④特殊型…ず・まし・き・らし・じ(「らし」「じ」を無変化型と
	する説もある)
	(3)意味による分類
	①使役…す・さす・しむ
	②受身…る・らる
	③可能…る・らる
	④ 自発…る・らる
	⑤酋敬…る・らる・す・さす・しむ
	◎寺岐 ◎ うる す とす しも
	②川府 す し るし ②推言…む・むず・けむ・らむ・らし・ベレ・キビ・ド・キレ・めり
	した」 フーは / / · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	◎怖宇…たり、たり
	────────────────────────────────────
	1101元…ことし ③ / 開 # 中 た り
	③伝闻・推正…なり

	自立語 (じりつご)	それみずからで1つの△文節になることができる単語をいう。自立語 で△活用のあるものに動詞・形容詞・形容動詞があり、活用のないも のに名詞・副詞・連体詞・接続詞・感動詞がある。↔付属語
(ु	推定の助動詞 (すいていのじよどうし)	<ul> <li>△推量の助動詞の1つ。あるよりどころによってかなりの確実性を認めつつ推量する意味を表す。文語では「らし」がこれに属する。「この川にもみぢ葉流る奥山の雪げの水ぞ今まさるらし」〈古今・冬〉の「この川にもみぢ葉流る」が推定のよりどころを示している。このように「らし」はその推定のよりどころが文中に示されることが多い。</li> <li>終止形に接続する「なり」にも推定の意がある。</li> <li>▲ 伝聞推定の助動詞(でんぷんすいていのじょどうし)</li> </ul>
	<u>推量の助動詞</u> (すいりようのじよどう い)	<ul> <li>推量の意を表す助動詞。文語では推量の助動詞が分化・発達していて 多様性に富んでいる。</li> <li>(1) む… (ふつうの推量) 「夕べには朝 (ぁぃた) あらむことを思ひ」 〈徒然・9 2〉</li> <li>(2) むず… (ふつうの推量) 「遠き御守りでこそ候はむずれ」 〈平家・7・忠度都落〉</li> <li>(3) らむ… (現在の推量) 「六条わたりにも、いかに思ひ乱れ給ふ らむ」〈源・夕顔〉</li> <li>(4) けむ… (過去の推量) 「前 (さき) の世にも御契りや深かりけむ」 〈源・桐壺〉</li> <li>(5) べし… (必然・当然の推量) 「漢詩 (からうた) などいふべし (=吟ジテイルニチガイナイ)」〈土佐〉</li> <li>(6) めり… (主観的推量) 「今様は、むげにいやしくこそなり行く <u>めれ</u> (=ヨウダ)」〈徒然・2 2〉</li> <li>(7) まし… (△反実仮想) 「この木なから<u>ましか</u>ばとおぼえしか」 〈徒然・11〉</li> <li>(8) らし… (根拠のある推定) 「秋の夜は露こそことに寒からし (=冷タイニチガイナイ)」〈古今・秋上〉 推定の助動詞(すいていのじょどうし)</li> <li>(9) じ… (打消の推量) 「心に思ひ残すことは、あらじかし」 〈源・若紫〉</li> <li>(10) まじ… (打消の推量) 「さる人ある<u>まじけれ</u>ば」〈徒然・12〉 なお、これらの助動詞は、推量から転じて、意志・希望・勧誘・</li> </ul>
	数詞 (すうし)	11X上・卵曲 (えんきよく) なこの息を表すのにも用いられる。 名詞の1つ。数量、または数によって順序を表すもの。 (1)数量の数詞(基数詞)…一つ・二・三本・四冊・五軒 (2)順序の数詞(序数詞)…第一・二番・三つ目・四号・五位 上記のうち、いくつ・何本・何番のように、不定の数量や順序を表す ものを不定数詞ということがある。また、「三本」「五軒」などの「三」 「五」のように数を表す語を本数詞、「本」「軒」のように数を表す 語に添えたものを△助数詞という。▲ 助数詞(じょすうし)

(せ)	清音 (せいおん) 絶句 (ぜつく) 探辞	<ul> <li>△五十音図の各音節と、それに応じる△拗音(ょうおん)の各音節(キャ・キュ・キョ・シャ・シュ・ショ・チャ・チュ・チョ・ニャ・ニュ・ニョ・ヒャ・ヒュ・ヒョ・ミャ・ミュ・ミョ・リャ・リュ・リョ)をいう。</li> <li>すなわち、△子音を全く含まないア行の△音節と、無声子音のk・s・t・ト、有声子音のn・m・y・r・wを含む音節をいう。</li> <li>▲ 濁音(たくおん)・半濁音(はんだくおん)</li> <li>漢詩の一体。△起承転結の4句から成る。各句の字数によって、五言絶句・七言絶句の2種がある。△律詩とともに、南北朝から唐にかけて完成された近(今)体詩。△押韻(ょういん)・△平仄(ひょうそく)などにも厳密なきまりがある。</li> <li>△接頭語と△接尾語の総称。単独に用いられることがなく、必ず他の</li> </ul>
	1女ロ+ (せつじ)	単語に付いてある意味を添える。「 <u>み</u> 空(=接頭語)」「春 <u>めく</u> (= 接尾語)」。▲ 接頭語 (せつとうご)・接尾語 (せつびご)
	接続 (せつぞく)	前に述べる事柄と、あとで述べる事柄とのつながりの関係をいう。次 の2種がある。 (1)順接(じゅんせつ)…順態接続ともいう。あとで述べる事柄が、前に 述べる事柄の順当な結果であると考えられる場合。接続詞の「さ らば」「しからば」(以上、仮定)「されば」「しかれば」(以上、 確定)などを用いたり、活用語の未然形(仮定)・已然形(確定・ 一般条理)に△接続助詞「ば」を付けて表したりすることが多い。 (2)逆接(ぎゃくせつ)…逆態接続ともいう。あとで述べる事柄が、前に 述べる事柄の順当でない結果であると考えられる場合。△接続詞 の「さりとて」(仮定)「さりながら」「さるに」「しかれども」 (以上、確定)などを用いたり、動詞の終止形や形容詞の連用形 に、接続助詞「と」「とも」を付け、また、△活用語の已然形に 接続助詞「ど」「ども」を付けて表したりすることが多い。
	接続語 (せつぞくご)	仮定・事実を示して、ある条件を提示する文節。たとえば、「しかれ <u>ども</u> 、ひねもすに浪(なみ)・風たたず」〈土佐〉のような△接続詞、 「日 <u>あしければ、船出(い)</u> ださず」〈土佐〉のように△接続助詞が付 くものなどを「接続語」とする。接続語をたてない立場では、これら を「連用修飾語」と見る。
	接続詞 (せつぞくし)	品詞の1つ。〜自立語で△活用がなく、主語・述語・修飾語のいずれ (にもならず、文の構成のうえからは比較的独立していて、もっぱら文 節や文を接続する語。 (1)その種類は、意味のうえから次の4通りに分けられる。所属する 語は文語の場合を示す。 ①並立の意を表すもの…および・ならびに・また ②添加の意を表すもの…なほ・かつ・しかうして・しかも ③選択の意を表すもの…または・あるいは・あるは・もしくは・もしは ④条件を表すもの (ア)順接…かかれば・かくて・かくして・しからば・しかれば・ さらば・されば・したがって・よって・ゆゑに (イ)逆接…されど・さりながら・さるを・しかるに・しかれども・

	ただし
	(2)用法としては、前のことばの受け方によって、次の2つの場合が
	(すざくゐん) <u>ふらびに</u> 村上一代の御母后(ははきさき) におはします」 〈大
	鏡・基経〉「行く川の流れは絶えずして <u>しかも</u> もとの水にあらず」
	〈方丈〉
	②2つの文を結びつける。「死期すでに近し。 <u>されども</u> いまだ病 (ゃ
	まひ) 急ならず」〈徒然・241〉
接続助詞	活用語またはそれに準じるものに付いて、それの付いた語の意味を、
(せつぞくじょし)	次の△用言または用言に準じるものに続ける助詞。
	(1)接続による分類
	①未然形に付くもの…ば・で
	②連用形に付くもの…て・して・つつ・ながら
	③終止形に付くもの…と・とも(形容詞は連用形に接続)
	④連体形に付くもの…が・に・を・も
	の戸然形に付くもの…ぼ・ど・ども
	<ul> <li>(2)音味による分類</li> </ul>
	(こ)念味にのの)短 (①冬件 (ア)仮定 順控…げ・と
	一 逆接…と・とも・か・に・を・も
	(イ)同時… C・つつ・なから・や
接頭語	△接辞の1つ。それ自身で単独に用いられることがなく、必ずほかの
(19650)	単語の上に付いて、それらにある意味を添えるもの。接頭語が付いて
	できた語の品詞は、接頭語の付かないもとの語と同一である。
	(1)名詞に付くもの… <u>み</u> (御)代・ <u>おん</u> (御)声・ <u>ご(</u> 御)病気・ <u>み</u> 空・ <u>ま</u> 昼・
	<u>さ</u> 霧・ <u>を</u> (小)川
	(2)動詞に付くもの… <u>さ</u> まよふ・ <u>との</u> 曇る・ <u>た</u> ばしる・ <u>い</u> 行く・ <u>うち</u>
	見る
	(3)形容詞に付くもの… <u>た</u> やすし・ <u>いち</u> はやし・ <u>け</u> 近し・ <u>を</u> (小)暗し・
	<u>うすら</u> 寒し
接尾語	△接辞の1つ。それ自身で単独に用いられることがなく、必ずほかの
(せつびご)	単語の下に付いて、それらにある意味を添えるもの。この点、△助詞
	または△助動詞に似ているが、助詞・助動詞は自由にどんな語にも付
	くのに対して、接尾語は、付く語が限られていて、慣用のものだけに
	しか付かない。接尾語が付いてできた語の品詞は、接尾語によってき
	まる。そこで、これが付いて、その語の品詞が変わらないものと、変
	わるものとの2種がある。
	(1)品詞が変わらないもの…入道どの・私ども・君たち・これら・殿
	ばら
	 (2)品詞が変わるもの
	①名詞を作るもの…深み、高さ、眠げ

(そ)	候文 (そうろうぶん)	<ul> <li>②動詞を作るもの…春<u>め</u>く・鄙(いな)<u>ぶ・黄ばむ・花やぐ</u></li> <li>③形容詞を作るもの…男<u>らし</u>・をこ<u>がまし</u>・なま<u>めかし</u></li> <li>④形容動詞を作るもの…しのび<u>やかなり</u>・悲し<u>げなり</u></li> <li>⑤副詞を作るもの…<u>身づから</u>・<u>手づから</u></li> <li>文語文のうち、おもに書簡に用いられた1種の文体。「候(そうろう)」という語が「あり」の代わりに、また△補助動詞として、文末に多く用いられたところからこの名がある。平安時代から私的な文書に使われはじめ、鎌倉時代以後は盛んに用いられるようになり、江戸時代になると公文書にも使われた。明治以後にも長く残っていたが、現在は</li> </ul>
	促音 (そくおん)	私的にもきわめて少なくなった。 現代の表記で、少し小さい「っ」で書かれる音韻。「つまる音」とも いう。「あっぱれ」「いっさい」など。漢字音の影響によって生じた といわれるが、古くはその表記法が動揺していて、その位置に何の表 記もなかったことがある。現代の表記法が確立したのは平安時代末期 (12世紀)ごろという。
	促音便 (そくおんぴん)	音便 (おんぴん)
	尊敬語 (そんけいご)	<ul> <li>△敬語の1種。話の中のある人を敬うために、その人に関することに 特別の表現をする言い方。文語の場合を分類すると、次のようになる。</li> <li>(1)尊敬の意の接辞を用いる</li> <li>①接頭語…み(一代・一心)・おん(一身・一有り様)・貴(一兄)・ 尊(一父)・令(一息)・高(一見)・芳(一翰(かん))</li> <li>②接尾語…殿(入道一)・氏(田中一)・女史(跡見一)・うぢ(近藤一)</li> <li>(2)尊敬の意の単語を用いる</li> <li>①名詞…上・君・おこと</li> <li>②代名詞…貴殿・みまし</li> <li>③動詞…あそばす(=ナサル)・います・ます・まします・おはす・ おはします(=イラッシャル)・大殿でもる(=オ寝(やす)ミニ ナル)・のたまふ(=オッシャル)・おぼす・おぼしめす(=オ 思イニナル)・きこす・きこしめす(=オ聞キニナル・召シ上ガル)・御覧ず(=ゴランニナル)・しろす・しろしめす(=オ知 リニナル・オ治メニナル)・しろす・しろしめす(=オ知 リニナル・オ治メニナル)・たぶ・たまふ(=クダサル)</li> <li>④前動詞…おはす・おはします(眺め一)・たまふ(書き一)・ たぶ・たうぶ(侍り一)。</li> <li>⑤助動詞…る・らる・す(下二段)・さす・しむ(上代は、す(四段)も)</li> </ul>
	尊敬の助動詞 (そんけいのじよどうし)	尊敬の意を表す助動詞。文語では「る」「らる」「す(下二段)」「さ す」「しむ」に、この用法がある。「す」「さす」「しむ」は使役の 意から尊敬の意に転じたもので、単独で用いられることがなく、常に 「たまふ」「らる」のような△尊敬語に重ねて用いられる。「つゆま どろまれず明かしかね <u>させ</u> たよぶ」〈源・桐壺〉「この大臣 (ぉとど)

		の作ら <u>しめ</u> 給 <sup>へ</sup> りける詩を」〈大鏡・時平〉。なお、上代には「す(四 段)」も用いられた。「この岳 (&ゕ) に菜摘ま <u>す</u> (=摘ンデイラッシャ ル)児 (こ)」〈万・1 ・1〉
	尊大語 (そんだいご)	自分の権威を誇示したり、自分の地位の高さを明らかにしたりするために、話し手が自分に対して尊敬語を用いたり、聞き手の動作に謙譲 語を用いたりして、話し手である自分を高める言い方。「大納言これを聞きてのたまはく、「船に乗りては、楫取(かちとり)の <u>申す</u> こと(= コンウタシニ申シアゲルコト)をこそ、高き山とたのめ、などかく頼 もしげなく <u>申す</u> ぞ(=コノワタシニ申シアゲルノダ)』」〈竹取・竜 の頸の玉〉
(た)	対偶中止法 (たいぐうちゆうしほう)	2つの文節が対等の関係にあるとき、下の対等語の意味(打消、受身 など)が、上の対等語に及び、上の対等語が連用形の△中止法をとる ことをいう。たとえば、「今めかしく、きららかならねど」〈徒然・ 10〉の「ね」は打消の助動詞であるが、「きららかなり」だけを打 ち消しているのではなく、「今めかし」も打ち消している。この場合 の「今めかしく」が対偶中止法である。「走る獣は、をりにこめ、く さりをさされ、飛ぶ鳥は、翼をきり、籠(こ)に入れられて」〈徒然・ 121〉は、「さされ」の「れ」、「入れられて」の「られ」は受身 の助動詞であるが、いちいち「こめられ」「きられ」といわないで「こ め」「きり」というように対偶中止法が用いられている。
	体言 (たいげん)	事物の実体を表す語の意。△名詞・△代名詞・△数詞の3品詞がこれ に属するとされるが、日本語の文法上の性質からみて、これら3つを 区別する必要はないと考えられるので、代名詞と数詞を名詞の中に含 め、体言すなわち名詞であるとする説がふつう認められている。体言 の文法上の特質としては、(1)それだけで△文節を構成することが できる (2)活用がない (3)文の主語になることができる (4) △格助詞を伴うことができる などが挙げられる。↔ 用言
	体言止め (たいげんどめ)	和歌などにおいて、たとえば「駒(cs)とめて袖(そで)打ちはらふか げもなし佐野のわたりの雪の夕暮れ」〈新古今・冬〉のように、第5 句を体言でいいきる言い方をいう。俳句や散文などにもこの種の言い 方があり、これも「体言止め」ということがある。体言止めは、いい きったあとに余韻・余情が残るので、詠嘆の心情を表現する場合に用 いられる。新古今集には、この修辞法が多く使われていて、1つの特 徴をなしている。
	対等語 (たいとうご)	→対等の関係 (たいとうのかんけい)
	対等の関係 (たいとうのかんけい)	2つまたはそれ以上の△文節が、互いに対等の資格で連なっている場 合、そのそれぞれの文節を対等の関係にあるといい、それぞれの文節 を「対等語」という。対等の関係を「並立(へいりつ)の関係」とよび、 対等語を「並立語」と名づける説もある。 この関係には、次の2つの場合がある。 (1)2つ以上の用言の連なっているもの。「 <u>生まれ、死ぬる</u> 人、い づ方より来たりて、いづ方へか去る」〈方丈〉「神楽(かくら)こそ、

	なまめかしく、 (2) 2つ以上 管絃 (<わんけん) らんこそいみじ りける人目も卓 対等語は、その 語形の一部に変 楽 (かぐら) こそ もしろく なま	<u>おもしろけれ</u> の体言の連た の道、またれ がわるべけれ」 位置を互いば 化が生じるが 、 <u>なまめかし</u>	<ol> <li>く徒然る:</li> <li>(す) 取(いうそく)</li> <li>(な) (な)</li> <li>(な) (な)</li> <li>(な) (な)</li> <li>(な) (な)</li> <li>(な) (な)</li> <li>(な) (な)</li> <li>(な)</li> <li>(な)<th>・16〉 もの。 &lt;) に公 1〉「L 古今・餐 ( たる たる たる こと</th><th><math>     \begin{bmatrix}             fr(\hat{x}) &amp; (e^{-i\theta})             fr(\hat{x}) &amp;</math></th><th>&lt;ちん)、和歌、 の方、人の鏡な ぞさびしさまさ 用言の場合には たとえば、「神 「神楽こそ、<u>お</u> る。</th></li></ol>	・16〉 もの。 <) に公 1〉「L 古今・餐 ( たる たる たる こと	$     \begin{bmatrix}             fr(\hat{x}) & (e^{-i\theta})             fr(\hat{x}) &$	<ちん)、和歌、 の方、人の鏡な ぞさびしさまさ 用言の場合には たとえば、「神 「神楽こそ、 <u>お</u> る。
代名詞 (だいめいし)	△名詞(体言) ていう語。これ (1)人代名詞 自称は話し手み 示すのに用いる に近い者を、見 話し手にわから	の 1 種。事物 (には次の 2 種 ) = (書き手) た ⇒手) をさしえ 5 。他称のうき 気称は話し手た 5 ない者、また	物の名に代 種類がある。 ぶ自己をさ 示すのに用 5で近称は手 いらも相手 こ、さす者;	えて、 。 し示す( い、他手( からも) がきまら	直接にそ のに用い かは相手 こ近い者 遠い者を らない場合	のものを指示し 、対称は、相手 以外の者をさし を、中称は相手 さす。不定称は 合に用いる。_
	自 称 あ・あれ わ・われ おのれ それがし わらは 余・予	対 称 なれんち そち そなた	近称 これ・ これ・	他 称 中称 そ それ	遠称 か かれ あ あれ	不定称 たれ たれ なにがし それがし
	(2)指示代名	3詞				
		近称	中称		遠称	不定称
	事物	ここれ	そそれ	か  かれ  あ  あれ	1	いづれ よに
	場所	22	そこ	ある あし かし	そこして	いづこ いづく いづら
	方向	こち こなた	そち そなた	あたわた	う ふた ふた	いづち いづかた
	このほか、 ム反 別していうこと	∑照代名詞と№ ≤もある。	手んで、「	おの」	「おのれ」	」などの語を区
濁音 (だくおん)	ガ・ザ・ダ・ハ ギュ・ギョ・ジ をいう。すなわ ▲清音 (せいおん)	<ul> <li>(行と、それば</li> <li>ャ・ジュ・ジ</li> <li>ち、有声・無</li> <li>・半濁音(は)</li> </ul>	 □ 応じる△打 □ ・ヂャ・ = = あが立を <sup>:</sup>	   )   )   )   )   )   )   )   ) 	うぉん) の うぉん) の ぎョ・ビキ 子音を含	△音節(ギャ・ <sup>•</sup> ・ビュ・ビョ) む音節をいう。

他動詞 (たどうし)	動作や作用を他に対するはたらきかけ、または他をつくりだすはたら きとして表す動詞。「水を流す(サ四)」「湯を沸かす(サ四)」の ように、一般に「…を…する」という形をとり、「水流る(ラ下二)」 「湯沸く(カ四)」のム自動詞と区別される。他動詞だけの動詞には、 打つ・殺す・招く(四)・着る(上一)・蹴(け)る(下一)・投ぐ・ 兼ぬ(下二)などがある。 古く、日本語の他動詞は、その動詞の表す事態が、当事者の意図に基 づいて起きたことを述べる場合に用いたとされ、目的語との関係で他 動詞が決定される西欧語の他動詞とは、その用法が異なっていたとさ れる。↔ 自動詞
タリ活用 (たりかつよう)	文語形容動詞の活用の1つ。終止形が「…たり」といいきるもの。こ の活用形は、元来副詞「…と」の形にラ変動詞「あり」が結合してで きたもので、「…と・あり」から「…たり」に転じたもの。タリ活用 は漢語をもととする場合が多く、中古・中世の漢文訓読体の文章や和 漢混交文の中に見られることが多い。(たら・たりと・たり・たる・ たれ・たれ)と活用する。「青山峨々(がか)として松吹く風索々(さく さ<)たり」〈平家・10・千手前〉
田居にの歌 (たゐにのうた)	「手習いの詞(ことば)」の1つ。同じ仮名をくり返すことなくつくった47字の歌詞で、天禄元年(970)源為憲(ためのりの著した「口遊(くちずさみ)」に見える。 たゐ(田居)にい(出)でな(菜)つ(摘)むわれ(我)をぞきみ(君)め(召)す とあさ(求食)りお(追)ひゆ(行)くやましろ(山城)のう(打)ちゑ(酔) へるこ(子)らもは(藻葉)ほ(干)せよえふね(舟)か(繁)けぬ 作者は不明。成立は「口遊」の著作に近いころかと思われる。「△あ めつちの詞」と違って、ア行の「え」とヤ行の「え」の区別がない。 ▲本文「あめつちの詞(あめつちのことば)」
単音 (たんおん)	音声学のうえでの最小単位。簡単にいえば、単独に発音することので きる音声である。単音には△母音と△子音とがある。たとえば、ア(a) も単音、力(ka)の(k)も(a)も単音である。力(ka)のように 単音が2つ連なったものは、別に△音節(おんせつ)という。▲音節
断定の助動詞 (だんていのじよどうし)	ある事柄を「…である」「…だ」と判断し、いいきる意を表す助動詞。 文語では「なり」「たり」がこれに属する。「たり」は体言だけに付 く。また「たり」は中古には用例が少なく、中世以降、△和漢混交文 などに多く用いられた。伝聞推定の「なり」や完了の「たり」とは、 他の語への接続や意味のうえから区別される。「心憂(5)の事や、翁 丸(おきなまろ)なり」〈枕・うへにさぶらふ御猫は〉「忠盛(ただもり)備 前守(ひぜんのかみ)たりし時」〈平家・1・殿上闇討〉=指定の助動詞。
単文 (たんぶん)	<ul> <li>△主語・△述語の関係を基準として考えた文の構造の1つ。主語・述 語の関係がただ1回しか成立していない最も単純なもの。</li> <li>▲ 複文 (ふくぶん)・重文 (じゆうぶん)</li> </ul>

r		
		花の色は 移りにけりな。     述
		<u>主</u> 述
(ち)	中止法 (ちゆうしほう)	△連用形の用法の1つ。文を途中で一時中止する用法で、前の△文節 と後の文節とが対等の関係にある場合が多い。この中止法に立つ連用 形を、特に中止形ということがある。「山吹の清げに、藤(ふぢ)のお ぼつかなき様したる」〈徒然・19〉「遠き家は煙(けぶり)にむせび、 近きあたりはひたすら焔(ほのほ)を地にふきつけたり」〈方丈〉
	直音 (ちよくおん)	△五十音図の各音節。すなわち、△母音だけから成る△音節、または △子音と母音とから成る音節。現代の表記では、仮名1字で書く。 ↔拗音 (ょうおん)
	<b>陳述の副詞</b> (ちんじゆつのふくし)	→叙述の副詞(じょじゆつのふくし)
(כ)	対句 (ついく)	修辞法の1つ。意義の相対する2つ以上の同形式の句を並べて、対立 させた形式。意味の明瞭( $\omega$ いりょう)・音調の快感・暗唱のしやすさな どという効果をねらって、同語の繰り返しの発達したものと思われる。 元来は漢詩文の修辞であるが、わが国でも古くから用いられ、祝詞( $\sigma$ りと)・記紀歌謡・万葉集(長歌)、その他語り物などに好んで用いら れた。「賢( $tot$ )し女( $s$ )をありと聞かして麗( $<$ ( $tot$ )し女をありと聞 こして、さ婚( $tot$ )ひにあり立たし婚ひにあり通はせ」〈記・上〉「落 花の雪に踏み迷ふ片野の春の桜狩り、紅葉の錦( $(tot)$ を着て帰る嵐( $tot$ ) <u>らい</u> の山の秋の暮れ」〈太平記・2〉=対偶法。
	月並調 (つきなみちよう)	古い伝統を守るだけで、新しみのない卑俗な俳句をいう。もと正岡子 規 (まさおかしき)の新派運動から見て、伝統を守る旧派に対して「月並 風 (つきなみふう)」といったところから生じた。「月並」とは月次 (つき なみ)で、例月の俳句会をいう。
(7)	定家仮名遣い (ていかかなづかい)	平安時代の末にまとめられた仮名遣いの規範。藤原定家の書と考えら れる「下官集(けかんしゅう)」に「をお」「えへゑ」「ひみい」の3類 8字について約70語を挙げ、「をみなへし」「おく山」「おもふ」 「ふえ」のようにそれぞれ用いるべき仮名を示している。これは、当 時混乱していた仮名の使い方を正そうとして、その準拠を平安後半期 の文献に求めたものである。俗に、行阿(ぎょうあ)の撰(せん)した「仮 名文字遣い」(貞治2年、1363年以後の成立)が「定家仮名遣い」 の名で世に伝えられたが、これは、行阿の祖父親行が定家の承認を得 た項目を根拠にし、「定家仮名遣い」を基にして増補したものと考え られる。実例を見ると、「定家仮名遣い」には「を(お)くつゆ」「お (を)しむ」「お(を)のへの松」など若干の誤りを含むが、現在で は、この「お」「を」の使い分けはアクセントの違いによるものと理 解されている。
	程度の副詞 (ていどのふくし)	△副詞の1種。△用言を修飾して、その状態の程度をくわしく限定す る語。「やや深う入る所なりけり」〈源・若紫〉「山ぎは少しあかり

		て」〈枕・春はあけぼの〉。また、「 <u>いま</u> 暫(しばら)く」「 <u>ただ</u> —人」 などのように、他の副詞や数量・場所・方角などを表す体言を修飾す る場合がある。
	丁寧語 (ていねいご)	△敬語の1種。話し手(書き手)が自分の言葉づかいを丁寧にするこ とによって、聞き手(読み手)に敬意を表す言い方である。「文語」 では「侍り」「候ふ」の2語がこれで、動詞および補助動詞として用 いられる。口語の「お」は丁寧語としても使われるが、文語の「御(()) ん)・())」は、尊敬の意をもつので、丁寧語ではない。「はやう、 まだ下臈(())に侍りしとき、あはれと思ふ人侍りき」〈源・帚木(()) ()()、()、()、()、()、()、()、()、()、()、()、()、()
	定本 (ていほん)	流布している多数の△異本を研究し、伝承・書写の誤りを校訂して、 最も正確に原本に近く到達したと考えられる本文。広義には厳密な意 味でなく、標準的な本文というくらいに使われることもある。
	底本 (ていほん)	ある本の本文を校訂(他の伝本と比べて本文を訂(たた)すこと)する に当たって、その主たるよりどころとした本。「藍本(GAUGA)」(「青 は藍(JaU)より出(U)づ」の故事から)ともいい、また「定本」とま ぎらわしいので、「そこほん」とも呼ばれる。一般に原本に近い古写 本や流布本が底本に選ばれることが多い。 → 校合(きょうごう)
	転注 (てんちゆう)	<ul> <li>△六書(りくしよ)の1つ。漢字を変えずにその漢字の意義を転用することをいう。この場合、△字音が変わるのがふつう。たとえば、「楽(がく)(=音楽)」は常に人の心をなごやかにし、たのしませるところから、「たのしむ」の意に転用され、音も「ラク」と変わる類。</li> <li>▲ 六書(りくしよ)</li> </ul>
	伝聞推定の 助動詞 (でんぷんすいていの じよどうし)	ある事実を他から聞いたことにもとづいて述べ(伝聞)、また、ある 根拠にもとづく不確実な判断で、事実をその音・声や周囲の状況から 推測・判断して述べる(推定)助動詞。伝聞は口語の「…そうだ」、 推定は口語の「…ようだ」と言い換えられる。これに属する文語の助 動詞は、活用語の終止形に接続する「なり」である。「この十五日に なむ月の都よりかぐや姫の迎へにまうで来(<) <u>なる</u> (伝聞=来ルソウ デス)」〈竹取・かぐや姫の昇天〉「吉野(よしの)なる夏実(なつみ)の 川の川淀(かはよど)に鴨(かも)ぞ鳴くなる(推定=鳴イテイルヨウダ) 山かげにして」〈万・3・378〉。この用法は江戸時代以来、詠嘆 を表すとされていたが、今では伝聞推定という説が広く認められてい る。なお、助動詞「けり」も過去の事実の伝聞の意味を表す場合があ る。「昔、男あり <u>けり</u> (=イタソウダ)」〈伊勢・2〉
(と)	頭韻 (とういん)	→押韻 (おういん)
	唐音 (とうおん)	→字音 (じおん)

動詞 (どうし)	品詞の1つ。△自立語で△活用があり、言い切りの形の語尾がウ段(文 語のラ変だけがリ)となる△用言。それだけで述語になることができ、 事物の動作・作用・存在を表す。活用のしかたから、文語動詞では9 種類(四段・上一段・上二段・下一段・下二段・力変・サ変・ナ変・ ラ変)、口語では5種類(五段・上一段・下一段・力変・サ変)に分 けられる。別に、△自動詞・△他動詞の分け方や、△敬語動詞、△補 助動詞の分け方もある。
動詞型活用の 助動詞 (どうしがたかつようの じょどうし)	活用のしかたが動詞に準じている助動詞。文語では、 ①四段型…む・けむ・らむ・す(尊敬)・ふ(継続) ②下二段型…す・さす・しむ・る・らる・つ ③ラ変型…たり(完了)・り・けり・めり・なり(伝聞) ④サ変型…むず ⑤ナ変型…ぬ ただし、△活用形は動詞とまったく同じというのではなく、その活用 形のいくつかを欠いているものもある。
倒置 (とうち)	修辞法の1つ。感動・余韻を表したり語勢を強めたり、または語調を 整えたりするために、△文節の順序を変える表現法。和歌や会話に多 い。「契りきなかたみに袖 (そで)をしぼりつつ末の松山波越さじとは」 〈後拾遺・恋4〉
読点 (とうてん)	→句読点 (くとうてん)
ト書き (とがき)	<ul> <li>演劇などの台本で、せりふのあと、または前に、出演者の動作などを 指示した部分。たとえば、</li> <li>○正兵衛「もはや逃れぬわが命、この場において潔く」 ト腹を切らうとする。         〈歌舞伎・十六夜清心(いさよひせいしん)〉     </li> <li>○白蓮「内に居るから案じるな」 ト奥よりお虎(とら)出て来たり、 お虎「御新造様、さぞお嬉(うれ)しうござりませう。」</li> <li>〈歌舞伎・十六夜清心〉</li> <li>のように、「ト」から書き始めるのでこの名が生まれた。のちには、 必ずしも「ト」がなくても、この部分を「ト書き」とよぶ場合がある。</li> </ul>
特殊活用型の 助動詞 (とくしゆかつようがた のじょどうし)	活用のしかたが特殊で、 今用言のいずれにも似ていない助動詞。文語 では、「ず」(打消)「まし」(反実仮想)「き」(過去)「じ」(打 消推量・打消意志)「らし」(推量)がこれに属する。このうち「じ」 「らし」を今無変化型の助動詞として、別に立てる考えもある。
独立語 (どくりつご)	△主語・△述語・△修飾語などのいずれにも属せず、比較的独立して 用いられる△文節。形のうえでは独立しているように見えるが、意味 のうえで関連をもつ。感動・呼びかけ・応答・提示・接続などの場合 に用いられる。「 <u>あはれ</u> 今年の秋もいぬめり」〈千載・雑上〉「 <u>いで</u> や、この世にうまれては」〈徒然・1〉「 <u>さて</u> 冬枯れのけしきこそ、 秋にはをさをさ劣るまじけれ」〈徒然・1 9〉=独立節。

(な)	ナ行変格活用 (なぎようへんかくかつ よう)	文語動詞の活用の1つ。△五十音図のナ行における△母音の転換(ナ・ ニ・ヌ・ネ)と、連体形に「る」、已然形に「れ」の添加とを合わせ た活用形式をもつもの。これに属する動詞は、文語の「死ぬ」「往 (い) ぬ」の2語であるが、「死ぬ」は口語では五段活用となり、「往ぬ」 は標準的な口語では用いられない。完了の助動詞「ぬ」が、ナ行変格 と同形式の活用をするのは、「往ぬ」と意味において通うものがある からだと思われる。「ぬ」の語源は「往ぬ」からであるとの説もある。 「な・に・ぬ・ぬる・ぬれ・ね」と活用する。
	ナリ活用 (なりかつよう)	文語形容動詞の活用の1つ。終止形が「…なり」の形をとる。「きよ らなり」「静かなり」など。元来、「…に」の形と、ラ変動詞「あり」 との融合したものであるから、活用の形はラ行変格と同じである。し かし、元の形である「…に」もそのままで連用形として認めるので、 その点でラ変と異なる。「夕日はなやかにさして、…烏(からす)のね どころへ行くとて三つ四つ二つなど飛びゆくさへ <u>あはれなり</u> 」〈能因 本枕・春はあけぼの〉
(12)	二句切れ (にくぎれ)	→句切れ (<ぎn)
	入声 (につしよう)	→四声 (しせい)
(は)	排律 (はいりつ)	漢詩の一体。△絶句・△律詩とともに近(今)体詩の1つ。絶句は4 句、律詩は8句と定められているのに対し、句数はおおよそ12句以 上できまりがない。首聯(しゅれん)と尾聯(ひれん)は律詩に準じ、中間 の聯はそれぞれ△対句をなしている。杜甫(とほ)の「傷春」(5言)、 呉穀人の「仏手柑」(7言)はその例である。
	跋 (ばつ)	著書の末尾に記す文で、「奥書(おくがき)」または「後書(あとがき)」 ともいう。その書の由来などを研究する場合に参考になることが多い。 たとえば、枕草子の跋文は、その成立事情や、流布の経緯、題号の問 題などについて、重要な問題を提供している。↔序
	<u>撥音</u> (はつおん)	現代の表記で「ん」「ン」と書かれる音韻。「はねる音」ともいう。 漢字音の影響によって生じたといわれるが、古くはその表記法が動揺 していて、その位置に表記がなかったり、「む」や「い」を用いたり した。現代のような表記法が確立したのは、だいたい平安時代末期(1 2世紀)ごろという。
	撥音便 (はつおんびん)	→音便 (おんぴん)

反語 (はんご)	話し手が、肯定あるいは否定の確信をもっていながら、一応疑問の形 で相手に問いかける言い方。疑問に対する答えを求めるのではなく、
	確信している答えが発せられるのを期待することによって、強調また
	は余情を投げかける表現法である。文語では、「や」「か」のほか、
	「やは」「かは」「やも」「かも」を使うことが多い。「寝(い)もぬ
	らめ <u>やも</u> (=ネラレヨウカ、イヤ、ネラレハシナイ)古(いにしへ)思
	」がに」〈ク・Ι・46〉 月やめらぬ春や音の春ならぬ」〈伊勢・4〉
	のこまで見る人のりこはいかで <u>か</u> 知らん(=トワシナ知口ワカ、1  セー知山ハブガナイ)  /徒伏・32〉
反実仮相	「、 山の (スカノイ)」 (ルボーリア)
(はんじつかそう)	9 とに行任9 る事天に反対の状態を放在して、その成在のもとてめる 状能を相像して述べる堆量表現、「もし…だったら…だろう(のに)
	と言い換えられる。古代は「…ませば…まし」の形、中古以後は「…
	ましかば…まし」「未然形+ば…まし」の形で表されることが多い。
	「わが背子 (せこ) と二人見 <u>ませ</u> ばいくばくかこの降る雪のうれしから
	<u>まし</u> 」〈万・8・1662〉「まして竜 (たつ) を捕らへたら <u>ましか</u> ば、
	又こともなく、我は害せられな <u>まし</u> 」〈竹取・竜の頸の玉〉
反照代名詞	△代名詞の1つ。「おの」「おのれ」「自分」などのように、自称・対
(187008 )/2010/10/	称・他称にかかわりなく、その人自身、その物自体をそれに再び戻っ
	くさし示す代名詞である。   橘 (たちばな) は <u>おの</u> か枝枝なれれとも玉
	に負( $(a)$ くここ问( $(a^{a})$ ) し相に負く」 (人皆礼) 「人は $(\underline{0}, \underline{0}, \underline{0}, \underline{0}, \underline{0})$ 自身) をつづまやかにし」 〈徒然・18〉 = 反射代名詞・再帰代名詞。
反切	中国で、字音を示すために用いた1つの方法で、求める字の頭音と同
(はんせつ)	じ頭音の字を上に、求める字の△韻と同韻の字を下において、この2
	字から字音を求めるもの。たとえば「東」について、「徳紅反」とあ
	れば、徳(tok)の頭音(t)と、紅(hong)の韻(ong)とによっ
	てtongの音を導き出す方法。なお、唐代までは「〇〇反」、宋 (そう)
	」以後は「○○切」といい、日本では、「かへし」ともいった。
半濁音	パ行とそれに応じる△拗 (ょう) 音の△音節(ピャ・ピュ・ピョ)をい
(18/0/220/0)	う。半濁音といっても、音韻上では、Pはbに対するもので、bが有
	戸首・海首でのるりに対し、ビは無声音・清音という関係にめる。   半」   トロシのは、中世に漂きた「。。  の印で子」たのに対し、光漂きた「-
	こいうのは、中世に周日を「°°」の印て小したのに対し、干濁百を「°」 で示すところからきているという 「。」の符号は示率は古辞書でき
	このすうにして使われていたが、室町時代末期でろから半濁音の符
	日にしていていていていていていていていていていていていていていていていていていてい

	版本 (はんぽん)	印刷された図書・書物の意。板本・刻本・摺(す) り本・摺(す) り巻 とも称する。 現存する版本で最古のものは、称徳天皇の発願による1枚板の「百万 塔陀羅尼(たらに)」〈宝亀元年(770)〉である。平安時代末期か ら鎌倉時代には、「春日(かすが)版」が最も名高く、奈良興福寺の僧 院が講学に必要な経典を出版した。ついで奈良の版本の影響のもと、 高野山の「高野版」、紀州の「根来(ねころ)版」、延暦(えんりゃく)寺 の「比叡(ひえい)版」が現れ、また京都では知恩院を中心とする「浄 土教版」、また別に「東寺版」の開版を見るに至った。室町時代には、 宋(そう)・元の刊本が輸入され、五山中心の準僧によってその複製が 行われ(五山版)、仏典・儒書が盛んに刊行された。室町時代末期に 至ると西洋および朝鮮から活字印刷の技術がそれぞれ別に輸入され、 出版はいよいよ盛んになり、ついに江戸時代初期の活字本黄金時代を
		迎えた。刊本の需要の増加につれて、版本は活版から多く製版印刷に 転じ、営業者の版元による「町版」の普及を見るに至り、仮名草子・ 浮世草子の類が刊行され世に迎えられた。さらに、江戸時代中期以降 には、読本(よみほん)・洒落(しゃれ)本などのほか、国学関係の書、俳 諧(はいかい)書などの版本が盛んに出版された。
(7)	比況の助動詞 (ひきょうのじよどうし)	1つの意義を他の意義に比べ、たとえて述べる助動詞。比喩(ひゅ)の 助動詞ともいう。述べようとする事物・状態を具体化してわかりやす くしたり、また、あからさまに表現できない事柄について抽象化した り、婉曲(えんきょく)にしたりするときに用いる。文語では「ごとし」 がこれに属する。「道に長じぬる一言、神のごとしと人思へり」〈徒 然・145〉
	被修飾語 (ひしゆうしよくご)	文の成分の1つ。修飾語によって修飾される語または△文節。国語で は語序のきまりがあり、修飾語のあとに来るのがふつうで、特別の場 合を除き先行することはない。 →修飾語(しゅうしょくご)
	非情の受身 (ひじょうのうけみ)	→受身の助動詞 (うけみのじよどうし)
	否定の助動詞 (ひていのじよどうし)	→打消の助動詞 (うちけしのじよどうし)
	比喩 · 譬喩 (ひゆ)	ある事物を表現する場合、これに類似する他の事物によって表現する こと。これには直喩・隠喩・諷喩(いっゆ)・活喩がある。(1)直喩…「た とへば」「あたかも」「如(ことい)」「似たり」などの語を用いる。「蟻 (ぁヮ)のごとく集まる」(2)隠喩…「たとへば」「如し」などの語 を用いないでいう。「雪の肌」「氷の刃(やいば)」(3)諷喩…裏面 にある意味をこめて婉曲(えんきょく)にいう。たとえ話。寓話。「井の 中の蛙(かつず)大海を知らず」 (4)活喩…ム擬人法に同じ。「花笑ひ鳥歌ふ」
	表意文字 (ひょういもじ)	「意字」ともいう。漢字など、おのおのの文字がある意味に対応して いる文字。意味だけを表すのではなく、音をも表すことから表意文字 の名は適当でないとし、むしろ語と対応するのであるとして、表語文 字という名が使われるようにもなった。↔ 表音文字 (ひょうおんもじ)

	表音文字 (ひょうおんもじ)	「音字」ともいう。△字音がその言語に用いられる音の単位である△ 単音 1 個または△音節 1 個を表す文字。前者(単音文字)にはローマ 字などがあり、後者(音節文字)には、日本の仮名文字などがある。 ↔ 表意文字 (ひょういもじ)
	表語文字 (ひょうごもじ)	→表意文字 (ひょういもじ)
	平声 (ひょうしょう)	→四声 (しせい)
	平仄 (ひょうそく)	→四声 (しせい)
-	平仮名 (ひらかな)	国語を表記する△表音文字(音節文字)。古くは「かな」「かんな」 といわれ、「△万葉仮名」を草書体にくずして書く「草仮名 (そうがな)」 が、さらにやわらげられ、簡略化されてできた文字である。平仮名の 字体が現行のものに一定したのは明治時代以後で、その以前には、異 体の文字「△変体仮名」も併用された。平仮名の作者を弘法 (こうぼう) 大師とするのは根拠のない俗説で、中古初期、相当の年月にわたって、 多くの人の手によって成立したものと推定される。平仮名は、最初、 主として消息や和歌を記すのに用いられ、しだいに日記や物語類まで 書かれるようになったらしい。当時、漢字・漢文は男子の専有物であ り、女性は多く平仮名を用いたので、平仮名は「女手 (おんなで)」と も称されたが、男性も場合に応じて平仮名を利用し、和歌や物語など を記した。
	品詞 (ひんし)	単語を性質・形態・用法にもとづいて分類した種別。個々の単語は、 それぞれいずれかの品詞に所属することになり、また、所属品詞を確 認することによって、その語の文法上の性質や職能を明らかにするこ とができる。単語を分類することを「品詞分類」というが、通常、△ 動詞・△形容詞・△形容動詞・△名詞・△副詞・△連体詞・△接続詞・ △感動詞・△助動詞・△助詞の10品詞に分類される。
	品詞の転成 (ひんしのてんせい)	1つの単語が、形はほぼもとのままで、もとの品詞の意味・用法が変 わって、他の品詞としての性質をもつようになることをいう。(1)名 詞に転成したもの…光・遊び(動詞から)、遠く・辛子(からし)(形 容詞から)、あはれ(感動詞から)(2)代名詞に転成したもの…君(き み)・僕(ほく)(名詞から)(3)動詞に転成したもの…悲しむ(形容 詞から)(4)形容詞に転成したもの…野がし(動詞から)、いとど し(副詞から)(5)副詞に転成したもの…つゆ(名詞から)、たと ひ(動詞から)(6)接続詞に転成したもの…および(動詞から)、 なほ(副詞から)(7)感動詞に転成したもの…あれ(代名詞から)、 いかに(副詞から)など。

$(J_{3})$	複合語	合成語ともいう。2つ以上の単語が合して、1つの意味を表す新しい
	(ふくごうご)	単語になったものをいう。→ 熟語(じゅくご)・ 畳語(じょうご)・ 連濁(れ
		んだく)
		複合名詞… <u>山ざくら</u> ・ <u>落ち葉</u>
		複合動詞… <u>旅立つ</u> ・ <u>高鳴る</u>
		複合形容詞… <u>待ち遠し</u> ・ <u>かろ</u> がろし
		複合副詞… <u>誠に・何とぞ</u>
		複合接続詞… <u>並びに</u> ・ <u>または</u>
	副詞	品詞の1つ。単語のうち、△自立語で△活用がなく、主語になれず、
	(ふくし)	主として△用言を修飾するものをいう。「風雨 <u>なほやまず」(動詞</u> を
		修飾)「紅葉いとうるはし」(形容詞を修飾)「海上 <u>きはめて</u> おだや
		かなり」(形容動詞を修飾)。
		なお、次のような語は連用修飾語であるが副詞とは認められないから、
		区別する必要がある。
		(1)「昔(=名詞)男ありけり」「草子に歌一つ(=名詞)書け」
		(2)「白く(=形容詞)なりゆく山ぎは」
		(3)  枝もたわわに(=形容動詞)なりたる」   秋風蕭々(せうせう)
		副詞は、その表す意味や機能のつえから、△状態の副詞・△程度の副
		詞・
	副詞法	△活用形の用法の1つ。主として、△形容詞・△形容動詞の運用形が、
	(5)(0)(5))	副詞のように用言を修飾する用法をいう。連用法ともいう。   紫だち
		たる雲の細く(=形容詞)たなひきたる」   静かに(=形容動詞)忠
	副助詞	種々の語に付属してある意味を添え、△副詞のようにそれを受ける△
	(51(040)	文節を修飾する△助詞。文語では「だに」「さへ」「すら」「のみ」
		「ばかり」「まで」「など」がこれに属する。   散りぬとも香 (か) を
		<u>だに</u> (=セメテ香リタケデモ。限定ノ意)残せ梅の花恋しき時の思ひ
		出(い)でにせむ」〈古今・春上〉 春雨ににはへる色も飽かなくに香(か)
		<u>さへ</u> (=香リマテカ。添加ノ息)なつかし山吹の化」 (古今・春下)
		和泉(いづみ)の国まで(=帰宿点ノ息)と平らかに願立フ」〈工佐/
	複文	△主語・△述語の関係を基準として考えた文の構造の1つ。1つの文
	(31<370)	において、主語・述語の関係が△対等の関係でなく、 2 回以上成り立
		つ文、すなわち又中に従属節を含む又をいつ。▲ 単又 (たんぶん)・重
		乂(じゆうぶん)
		「雨など 降るも をかし」〈枕・春はあけぼの〉
		主述述
		 主

武士詞 (ぶしことば)	武士が味方に関して不吉なことばを忌みきらって用いた△忌み詞の1 つ。たとえば、戦場などで縁起をかつぎ、士気を鼓舞する必要から、 「討たれて」を「討たせて」、「射られ」を「射させ」などといった 例が軍記物語に見える。武者詞(むしゃことば)・武家詞(ぶけことば)・陣
付属語 (ふぞくご)	その語単独では△文節になることがなく、常に△自立語に付属して用 いられるもの。自立語のように概念を表すことがなく、概念と概念と の結びつきの関係や、概念に対する話し手の気持ちや態度を表す語で、 △活用のある△助動詞と活用のない△助詞がこれに属する。「名利 <u>に</u> つかは <u>れて</u> 静かなる いとま なく 一生を 苦しむる <u>こそ</u> 愚か なれ」〈徒然・3 8〉↔自立語
部立 (ぶだて)	歌集などで、歌を配列するために、部類・部門に分けること。たとえ ば、万葉集では、雑歌(そうか)・相聞(そうもん)・挽歌(ばんか)・正述 心緒(せいじゆっしんしよ)歌・寄物陳思(きぶっちんし)歌・譬喩(ひゆ)歌に 分けたり、勅撰(ちょくせん)和歌集では、四季(春・夏・秋・冬)・恋・ 物名(もののな)・賀・哀傷・羇旅(きりよ)・雑(そう)・雑体(そうたい)・ 連歌(れんが)・神祗(じんぎ)・釈教(しゃくきょう)などに分けたりしてい るのが、それである。
普通名詞 (ふつうめいし)	△名詞の1種。同じ種類の事物に共通して用いられる普通一般の名詞 をいう。たとえば、「人・山・川・花・月」など。「月・太陽」など は、この世に1つしか存在しないところから△固有名詞のように考え たくなるが、他と区別するためにつけられた名称でないから普通名詞 と見る。また、「太郎」なども、長男の意であれば普通名詞、人名で あれば固有名詞ということになる。
文 (ぶん)	言語単位の1つ。一続きの、あるまとまった思想を表していて、その 終わりで音の切れるものをいう。文の定義づけは、簡単にはできない が、内にある思想内容と外に現れた言語形式の両面から考えてみると、 (1)文は事柄の表現に、さらにそれに関する言語主体の態度・気持 ちなどの表現(判断・推量・要求・感動など、すなわち陳述)が加わっ て1まとまりとなる、(2)音の連続であり、前後には必ず音の切れ 目がある、(3)文の終わりには特殊の音調が加わり、それによって 文の断止が明らかに示される、(4)書きことばにおいては、文の終 わりに句点「。」を付けるのがふつうである、などの特質をあげるこ とができる。このように、文法上の「文」は、ことばによって1つの まとまった思想や判断・情緒を相手に伝達するものであるから、構造 上1つのへ文節のものもあり、成分としては、本主語・本述語・その 他の要素が省略される場合もある。
文語 (ぶんご)	△口語に対することばで、本来は書きことば(文章語)のことである が、ふつうには、現代語に対する古典語という意味に用いることが多 い。特に、古典語の中でも、主として、その標準的なものとして考え られてきた中古の文法にもとづく言語体系をさす場合がある。「文語 文」とか「文語文法」という場合は、この場合に近い。↔ 口語

	文節 (ぶんせつ)	言語単位の1つで、単語と文の中間に位するもの。文素・語節とよぶ こともある。文を実際上の言語として不自然でないまでにできるだけ 細かく区切った場合の1つの区切りをいう。実際に用いる言語として 意味のわかる最小の一区切り(意味上の単位)であり、外形上からは 息の一段落と一致するところ(音声上の単位)である。つまりそれだ けはいつも一続きに発音され、その前後に音の切れ目を置くことがで きる。構成上からは1単語(へ自立語)から成るものと、2つ以上の 単語(自立語1つとへ付属語1つ以上)から成るものがあり、文節が 文を構成する場合の関係についてみると、続く文節と切れる文節とに 分けられる。「よどみに 浮かぶ うたかたは かつ 消え かつ  結びて 久しく とどまりたる ためし なし」〈方丈〉
	文体 (ぶんたい)	文章は、その記載形式や語彙(ごい)、もしくは表現法によって、さま ざまな特殊性や類型を生じる。その、それぞれの型を文体とよぶ。し たがって、型に分ける基準によって、いろいろな面から文体を設定す ることができる。たとえば、 (1)記載形式による――漢文体・宣命(せんみょう)体・東鑑(あづまか がみ)体 (2)語彙・語法による――候文体・和文体・漢文直訳体・文語体・ 口語体 (3)修辞による――散文体・韻文体・四六駢儷(べんれい)体など。
	文の種類 (ぶんのしゆるい)	文の構造のうえから、特に△主語・△述語の関係を基準として、△単 文・△複文・△重文の3種に分ける場合と、文の叙述のしかたと、切 れる文節に現れる形のうえの特徴から、△平叙文・△疑問文・△命令 文・△感動文の4種に分ける場合とがある。これらの分類は、国語の 性格からいって、主語・述語の関係だけを基準としたり、叙述のしか たや特徴だけを基準としたりしているので、明確な分類とはいいにく い。
[^]	平叙文 (へいじよぶん)	文をその性質上から分類した場合の1種で、肯定・否定・推量・決意・ 比況など、ふつうの意味を叙述するもの。切れる△文節が△用言また は△助動詞の終止形で終わるのがふつうだが、文語では△係り結びの 場合があって、「ぞ」「なむ」には連体形、「こそ」には已然形で結 ぶ。「かきつばた咲きたり」(肯定)「みな人見知らず」(否定)「飛 び降るとも降りなむ」(推量)「早く行かむ」(決意)「花の散るは 吹雪のごとし」(比況) → 文の種類(ぶんのしゆるい)・感動文(かんどうぶ ん)・命令文(めいれいぶん)・疑問文(ざもんぶん)
	並立語 (へいりつご)	→対等の関係 (たいとうのかんけい)

	並列助詞 (へいれつじよし)	△助詞の1つ。種々の語に付いて、並列する意を示すもの。文語では 「と」「の」「や」「か」などがある。「夏 <u>と</u> 秋 <u>と</u> ゆきかふ空のかよ ひ路は」〈古今・夏〉「唐(から) <u>の</u> 大和(やまと) <u>の</u> めづらしくえなら ぬ調度ども並べおき」〈徒然・10〉「人々の花 <u>や</u> 蝶(てふ) <u>や</u> とめづ るこそはかなうあやしけれ」〈堤中納言・虫めづる姫君〉「ある <u>か</u> な き <u>か</u> にうつる朝顔」〈源・朝顔〉。ただし、助詞の分類において並列 助詞を立てない場合は、右の「と」「の」は△格助詞、「や(間投助 詞ともする)」「か」は△係助詞に含めて扱う。本書もその立場をとっ ている。=並立助詞。
	並立の関係 (へいりつのかんけい)	→対等の関係 (たいとうのかんけい)
	変体仮名 (へんたいがな)	仮名の1つ。現在一般に用いられる字体以外の異体の△平仮名をいう。 一口に、平仮名といっても字源の漢字の違いや、くずし書きの程度に よって、種々の字体のものが生まれて、並び行われてきたが、明治時 代末期ごろから現在の字体だけが、ふつうに使用され、他は「変体仮 名」と称され、書道などにだけ用いられるようになった。
(13)	母音 (ぼいん)	△子音に対する名称で、気息の通る路(みち)で閉鎖または狭めの起き ない音。国語にふつうに用いられる母音は、a・i・u・e・oの五 音である。↔子音
	方言 (ほうげん)	1つの国語が、地方によって別々に発達して、音韻・文法・語彙(ごい) のうえで、いくつかの言語団に分かれたときに、それぞれの分団の言 語全体をさして、方言という。方言が生じるのは、各地域の社会状態 の特殊性や、各地間の交通の疎隔によることが多い。万葉集の「東歌 (あづまうた)」や「防人(さきもり)の歌」には、当時の東国方言がみえる。
	補助形容詞 (ほじょけいようし)	補助用言の1つ。他の語に付いて、これに付属的な意味を添える△形 容詞をいう。△用言であって、もとの意味を失い、△助動詞と同じ用 法をもつようになったもの。「天気がよく <u>ない</u> (口語)」の「ない」 や、「木々の木の葉、まだいと繁(Lift)うは <u>なう</u> て」〈能因本枕・正 月一日は〉の「なし」がこれに当たる。

	補助動詞(ほじよどうし)	△補助用言の1つ。他の語に付いて、これに付属的な意味を添える△ 動詞をいう。△用言であって、もとの意味を失い、△助動詞と同じ用 法をもつようになったもの。「その本を取って <u>ください</u> (口語)」。 文語では、用法上からは次のように分類することができる。 (1)「に」「にて」とともに△体言に付いて、指定の「である」の 意を表す。「雪の降りたるはいふべき(サマ)にも <u>あら</u> ず」〈枕・春 はあけぼの〉「渡し守にて <u>候ふ</u> 」〈謡・隅田川〉 (2)形容詞・形容動詞に付く「ある」の意味の動詞。「うつくしう <u>侍り</u> 」「賢う <u>おはし</u> ます」 (3)動詞の連用形に付いて、敬意を表す動詞。「御子さへ生まれ <u>給</u> ひぬ」〈源・桐壺〉「あはれに見 <u>奉る</u> 」「竹の中より見つけ <u>聞こえ</u> た りしかど」〈竹取・かぐや姫の昇天〉「ぜひもなくおもしろう狂ひ候 <u>ふ</u> を見 <u>候ふ</u> よ」〈謡・隅田川〉 (4)「て」を伴う動詞に付く動詞。「聞きて <u>侍り</u> 」「西行の庵室(あ んじち)に着きて <u>候ふ</u> 」〈謡・西行桜〉
	補助の関係 (ほじよのかんけい)	「吾輩 (bh/idu) は猫である」「君もをかしと聞きたまふ」〈源・若菜〉。 この傍点の ム文節と傍線の文節の関係をみると、前の文節がおもな意 味を表し、あとの文節はこれに付属して補助的な意味を添えている。 このような連なり方を「補助の関係」または「付属の関係」という。 この場合、後の文節は常に ム補助用言である。補助の関係は、 ム用言 とそれに付く ム助動詞との関係によく似ていて、文例の「猫である」 「聞きたまふ」は、ほとんど 1 文節のようなはたらきをしている。し かし、これらを補助の関係に立つ 2 つの文節と見なすのは、この場合 「ある」「たまふ」などの語が、「ここに本が <u>ある</u> 」「御衣 (bl&んぞ) をたまふ」のように、時に応じて独立の本動詞としての機能をもって おり、完全に助動詞になりきってはいないからである。
	補助用言 (ほじよようげん)	△用言が、もとの意味を失い、△助動詞と同じく補助的用法に用いら れるようになったものをいう。△補助動詞と△補助形容詞の2種があ る。これらの語は意味・用法のうえでは助動詞に相当するが、形態の うえではそれだけで△文節をつくることができるから、自立語として 扱われる。▲補助動詞(ほじょどうし)・補助形容詞(ほじょけいようし)
	梵語 (ぼんご)	サンスクリット(古代インド・アリアン語)。ギリシャ語やラテン語 と同系統のインド・ヨーロッパ語族に属する。紀元前から会話語とし ての性格を失い、その後は文章語として用いられた。仏教の伝播(でん ば)に伴い、漢訳仏典を通じてわが国の日常語にも吸収され、今日も なお使われているものがある。たとえば、僧(ソー)・旦那(ダンナ)・ 卒塔婆(ソトバ)・袈裟(ケサ)・舎利(シャリ)・刹那(セツナ) など。

〔ま行〕	枕詞 (まくらことば)	国語の修辞の1つ。一定の語に冠して修飾または句調を整えるのに用 いる語句、まとして、上代・中古の和歌などに用いられ、5 音がふつ
		うであるが、古いものには、4音(うま酒→三輪、つぎねふ→山城)
		などもあり、3音(千葉の→葛野 (かづの) )のものもある。枕詞の起 酒は、袖名・人名・地名に冠して田いられたもので、元来は呪術 (いわ
		じゅつ)的なほめことばであったろうという。歌謡が和歌となり、文芸
		作品の性質を帯びるにしたがって、枕詞も本来の性質を失って声調的・
		情緒的な修辞上の技巧に変質していったと思われる。枕詞の使用は上 代の記紀からみられ 「万葉集」に最も多彩に生き生きと用いられて
		いるが、「古今集」以後ではその数も僅少(きんしょう)となり、内容の
		空虚な形式的修辞に化している。
		松詞の中で上代からのったど推定されるものには「のしびぎの」「の     をによし」「ひさかたの」などがあり、語義やかかり方の不明なもの
		が多い。語義の解釈しうるものや、動詞・形容詞・語句などにかかる
		ものは成立がおそく、なかには人麻呂などの歌人による創作もあると 雄定される、その修飾する語句へのかかり方には、およそ次の2種類
		が考えられる。
		(1)意味の関連によるもの…天離 (ぁまざか) る→鄙 (ひな) くさまくら
		→旅 官 (すが) の根の→長さ 亜乳根 (たらちね) の→母・親 (2) 音の関連によるもの…葦田鶴 (ぁしたづ) の→たづたづし さゆ
		り花→後 (lpb) 柞葉 (latそは)の→母 =冠辞・頭辞。
	木 杰形 (みぜんけい)	
		単独で文中に用いられた例はなく、常に次の助動詞・助詞に続く形と
		して用いられる。 (1)助動詞…ず・む・じ・す(四段・ナ変・ラ変だけ)・さす(四
		段・ナ変・ラ変以外)・しむ・る(四段・ナ変・ラ変だけ)・らる(四
		段・ナ変・ラ変以外)・まほし・まし・り(サ変だけ)
	道行文	地名を追いながら、道中の風景や旅情などを織りこんで作る詞章。多
	(みちゆきぶん)	く△七五調で、接続には掛詞などの技巧が見られる。宴曲・軍記物・
		謡曲・浄瑠璃(じょうるり)などに用いられ、わが国独特の表現形式である。「高きをば留めめ相振の、関の清水に神(4ヵ)、潭(か)れて、また。
		は山路を打出の浜、沖を遥かに見渡せば、塩ならぬ海にこがれ行く、
		身を浮舟の浮き沈み、駒も轟(とどろ)と踏み鳴らす、勢多の長橋打ち
		渡り、行さ父い人に近江路や、世のつねの野に鳴く鶴も、子を思いか   と哀れなり」〈太平記・2〉
	武者詞 (むしやことば)	→武士詞 (ぶしことば)

無変化型の 助動詞 (むへんかがたの じよどうし)	△活用形の用法は備えていても、活用形に変化が見られない助動詞。 文語では「じ」(打消推量)「らし」(推量)がこれに属する。無変 化型の助動詞を特に立てないで、特殊活用型の助動詞に含める考えも ある。本書はこの立場をとっている。
名詞 (めいし)	品詞の1つ。事物の概念を名称によって表した語。△自立語で、△活 用がなく、△主語になることができる。広義には、名詞すなわち△体 言とするが、一般には△代名詞・△数詞とともに体言の1種とされる。 名詞を△普通名詞・△固有名詞に分け、また別に△実質名詞と△形式 名詞に分けることもある。
命令形 (めいれいけい)	△活用形の1つ。単独で言い切り、聞き手への「命令」の意を表すの がふつうであるが、「許容」「放任」の意に用いられる場合もある。 たとえば、「今は西海の浪(なみ)の底に沈まば沈め」〈平家・7・忠 度都落〉「勝手に <u>せよ</u> 」など。上一段・上二段・下一段・下二段・カ 変・サ変の動詞の命令形は、「見よ」「起きよ」「受けよ」「来(こ) よ」のように「よ」を伴うが、この「よ」を助詞と見る説もある。カ 変の命令形は、中古ごろまでは「よ」を伴わない「来(こ)」の形を用 いた。また、口語の△可能動詞は性質上、命令形を欠いている。△形 容詞にも命令形はないが、文語では△カリ活用の「…かれ」という形 をあてている。△助動詞は、同じ語形の語でも、それぞれの語の意味 から、命令形をもつものと欠くものとがある。
命令文 (めいれいぶん)	文をその性質上から分類した場合の1種で、命令・禁止・希望・要求 などの意味を表すものをいう。「希望文」ということもある。切れる △文節に、△用言または△助動詞の命令形を用いるか、その意味を表 す語を添えるか、または禁止や願望・希望の語を添えることが多い。 「心して降りよ」(命令)「あやまちすな」(禁止)「外山(とゃま) の霞(かすみ)立たずもあらなむ」(願望)「昔を今になすよしもがな」 (希望) ▲ 文の種類(ぶんのしゆるい)・平叙文(へいじょぶん)・疑問文(ぎ もんぶん)・感動文(かんどうぶん)
迷惑の受身 (めいわくのうけみ)	→受身の助動詞(うけみのじょどうし)
木版本 (もくはんぼん)	元来、木版本の意であった「版本」が、広く「写本」に対して印刷本 をいうようになって、版木に彫って印刷するものを改めて区別する時、 「木」をつけていう。版木を彫るには薄い和紙に彫るべき文字や絵図 を書き、これを裏返しに版木に貼(は)りつけて刻む。この文字や絵図 を「版下(はんした)」といい、その筆耕者を「版下書き」といった。 版木は、日本では桜を使ったが、中国では梓(ぁっさ)を用いたので「上 梓(じょうい)」の語がある。なお、「整版本」「槧本(ざんぽん)」も同 義である。

	文選読み (もんぜんよみ)	漢文訓読における読み方の1種で、たとえば「関々雎鳩」〈詩経〉を 「クワンクワントヤハラギナケルショキウノミサゴハ」と読むように、 同一の漢語・漢字を最初、音で読み、続いて訓でもう一度読む読み方。 これを文選読みというのは、中国の詩文集「文選」の読み方に顕著に この方法が伝えられたからで、すでに「太平記」などの漢文訓読調の 文章にも見られるが、形式化したのは江戸時代であるという。
〔や行〕	湯桶読み (ゆとうよみ)	漢字の熟語・複合語で、たとえば「湯桶 (ゅとう) 」(食後に飲む湯を 入れる器)のように、上の漢字を△訓で読み、下の漢字を△音で読む 読み方。「初陣 (うひぢん)」「手本 (てほん)」「野宿 (のじゆく)」なども この例である。▲重箱読み (じゆうばこよみ)
	拗音 (ようおん)	キャ・キュ・キョのようにヤ行のヤ・ユ・ヨや、クヮ・グヮのように ワを他の仮名の右下に小書きして表す音。前者を開拗音(ヤ行拗音)、 後者を合拗音(ワ行拗音)ともいう。↔ 直音 (ちょくおん)
	用言 (ようげん)	<ul> <li>△自立語で活用のある語。事物の動作・存在・性質・状態を表し、単独で述語になることができる。活用形式によって、次の3品詞に分ける。↔体言</li> <li>(1) △動詞(終止形がウ段の音で終わるもの。ただし、文語ラ変は イ段「り」)</li> <li>(2) △形容詞(終止形が「し」(文語)、「い」(口語)で終わる もの)</li> <li>(3) △形容動詞(終止形が「なり・たり」(文語)、「だ」(口語) で終わるもの)</li> </ul>
	様態の助動詞 (ようたいのじよどうし)	物の存在のしかた、人の行動・ようすなどについて、「…のようすだ」 「…のように見える」と、不確かな断定を表す助動詞をいう。口語で は「ようだ」「そうだ」「ふうだ」(形容動詞型)がこれに属する。 文語では推量の助動詞「めり」(ラ変動詞型)をこれに加える説もあ る。これらは不確かな判断を表す性質をもつところから、やわらげて 言う表現(婉曲 (ぇんきょく) な叙述)にも使われる。
	四段活用 (よだんかつよう)	文語動詞の活用の1つ。「待つ」「思ふ」のように、△活用語尾が△ 五十音図のアイウエの四段に活用する形式をもつもの。終止形・連体 形が同形、已然形・命令形が同形で、連用形に△音便がある。口語動 詞の場合は、助動詞「う」がつくとき、未然形に「書ごう」「待とう」 などとオ段が加わるので「五段活用」という。
(ら行)	ラ行変格活用 (らぎようへんかくかつ よう)	文語動詞の活用の1つ。略してラ変ともいう。四段活用に似ているが、 その違いは終止形がイの段(「り」)で終わることである。「ら・り・ り・る・れ・れ」と活用する。これに属する語は「あり」「居(を)り」 「はべり」「いまそがり」がある。「あり」「居り」「はべり」は、 口語では「ある」「居(む)る」「はべる」と五段活用になり、「いま そがり」は用いられない。

	六書 (りくしょち)	漢字を語の書き表し方から6分類した総称。△象形(しょうけい)・△指
	(9,000)	事・△会意・△形声・△転注・△仮借(かしや)の6つをいつ。八書は 淡漠でるから説かれたが、☆書の原理を用いて光時の文字を分類
		後戻ころから就かれたか、八音の原理を用いて当时の又子を力担し、 それぞれの立字の正しい音味を定めたのが後遊の詐慎 (ましい)の「説
		$\dot{\nabla}$ (Hotel) (Hotel) (明空) 15編 (西暦100年73成立) である。 🔺 会音 (知
		いい) ・ 仮借 (かしや) ・ 形声 (けいせい) ・ 指事 (しい) ・ 象形 (しょうけい) ・
		転注 (てんちゆう)
ŀ	律詩	漢詩の一体。単に「律」ともいう。2句を一組みとして、首聯・頷聯
	(りつし)	(がんれん)・頸聯 (けいれん)・尾聯の8句から成る。各句の字数によって、
		五言律詩・七言律詩の2種がある。△絶句とともに南北朝から唐にか
		けて完成された近(今)体詩。頷聯と頸聯はそれぞれ対句をなし、△
		押韻(ぉぅぃん)・ △平仄(ひょぅそく) などにも厳密なきまりがある。
	流布本	同一の古典作品として伝えられる本文のうち、もっとも世間に流布・
	(るふはん)	通行しているものをいい、「異本」ということになる。流布本の特色
		は文意が通ってわかりやすい点にあるが、だからといって正しい本文
		であるとは限らない。そこに△校合 (きょうごう) という作業の必要性が
		める。▲ 校合 (きようごう)
	歴史的仮名遣い (れきしてきかなづかい)	△仮名遣いの基準を一定の過去の又献の用例に求める立場のものをい
		つ。衣百的似名追いに対するもので、「百典的似名追い」とも称され スーふつうには「現伏仮夕遣い」が制定されるい前、国が公認」たち、
		のたてすが、実体的には、江戸時代初期に国子省実体(からゆう)の定めた仮名遣い友音味する。へ仮名による表記法は、音声の変化ととも、
		「いたが、中世以後、いわゆる「△定家仮名遣い」が、1つの基準
		として行われてきた。しかし「定家仮名遣い」は、その根拠とした文
		献が、当時から比較的近い過去のものであったらしく、原理の不統一
		や誤りが見られた。この点に疑問をいだいた契沖は、「定家仮名遣い」
		に対して、仮名の用法に混乱を生じなかった中古中期(天暦ごろ)以
		前の古典(記紀・「万葉集」・「和名抄」など)に仮名遣いの基準を
		求め、「和字正濫抄(わじしょうらんしょう)」を著してこの法則の使用を
		主張した。これは、伝統を尊重する国学者によって支持され、楫取魚
		彦 (かとりなひこ) の「古言梯 (こげんてい)」で補訂が加えられ、権威づけ
		られるようになった。明治時代にはいると義務教育に採用されて公認
		のものとなり、諸種の义早や口語义にも広く用いられ、「現代仮名遣
		い」がムロごれるよく国品の仮石衣記の税戦としての地位を休うた。
l		2つい上の単語の通結したもの 「山」の 端 「寿 は 「暮れ
	(れんご)	など。ただし、単語の結合でも、それらがすっかり熟合して、結
		合以前とは異なった1単語としての形態や機能をもっているものは「△
		複合語」として、連語とは区別される。連語のうち、活用のあるもの
		を「活用連語」という。

は古主	
(れんじよう)	の現象。前の本音節の尾音のm·n·tが次の本母音と連なる場合に
	その△子音が添加されるもの。中古の中期からあった。「かんおん→
	かんのん(観音)」「さんい→さんみ(三位)」「いんえん→いんね
	ん(因縁)」
連体形	△活用形の1つ。△体言を修飾することをおもな用法とする形。□語
(れんたいけい)	の動詞・形容詞においては終止形と同形である。文語連体形の用法と
	しては、次のようなものがある。
	(1)連体修飾語として体言を修飾する。「 <u>流るる</u> 水」「 <u>住む</u> 家」「 <u>白</u>
	き花」「静かなる山」
	(2)係助詞「ぞ」「なむ(なん)」「や」「か」を受けて文を結ぶ
	(係り結び)。「水ぞ <u>流るる</u> 」「心やはらかなるなん <u>よき</u> 」 「本や啼キ」
	(3)下に「こと」「もの」「ひと」などののる丸持らじ、14言と回
	し貨格で用いられる。「雨など降る(コト、サマ)もをかし」
	$\langle \mathcal{R}' \cdot $ 春はめけはの $\rangle   行く(ビト) も帰る(ビト) も別れて$
	(4)助動詞(ごとし」(なり(断定)」、助詞(か))の」(を」
	「に」「より」「か」」がな」「ぞ」に連なる。
	(5)フ変動詞・形容詞・形容動詞の連体形は、助動詞(へし)(ま
	じ」「らむ」「めり」「らし」「なり(伝聞推定)」に埋なる。
連体詞	品詞の1つ。単語のうち、△自立語で△活用がなく、△主語にならな
(10/2010)	いもので、もっぱら△体言を修飾するものをいう。文語ではこれに属
	する語は少数で、「ある」「いはゆる」「あらゆる」「さ(然)る」
	「さしたる」「去 (さ) んぬる」「往 (い) んじ (往にし) 」など。「こ
	の」「その」「わが」は、口語では連体詞(1単語)とし、文語の場
	合は「こ・そ・わ(代名詞)」に「の・が(助詞)」の連なったもの
	(2単語)として扱う。
連体修飾語	△修飾語の1つ。△体言を修飾する修飾語で、形容詞的修飾語ともい
(100/2000/00/00/00/00/00/00/00/00/00/00/00	>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>
	文節は、次のような品詞からできている。
	(3) 副詞または副詞に助詞が付いたもの「 <u>わつか</u> 」人」「 <u>しはし</u> の   程
	(4) △用言または用言に助動詞が付いたものの連体形「行く春」「さ
	わやかなる風  「昔ありけむ人  「過ぎにしころ
	(5) 形容詞・形容動詞の語幹に助詞「の」が付いたもの「おもしろ
	。 の楽の音」「 <u>なほざり</u> の心」
連濁	2語が結合する場合に、下の語の頭の△清音が△濁音になるもの。「あ
(れんだく)	さぎり」「ひとびと」。この現象は字音語にも見られ、傾向として前
	 の字音の尾音がイ・ウ・ンなどのときに多い。「亭子院 (ていじのゐん) 」
	「障子 (さうじ) 」 「信心 (しんじん) 」

連文節	連接する2つの△文節が△主語△述語の関係・△修飾語△被修飾語の
(れんふんせつ)	関係・△対等の関係・△補助の関係で結合して1つのまとまりになり、
	さらに他の文節に対して主語・述語・修飾語・△独立語など、1つの
	文節のようなはたらきをするものをいう。文節と連文節、連文節と連
	文節とが結合してできる。さらに大きいまとまりも連文節とよぶ。文
	節と文節とはこのようにして順次結ばれてゆき、文全体が連文節になっ
	たときに終わる。次の傍線の部分は、それぞれ連文節である。
	<u>春は 来たれども 寒さ 未 (いま) だ 去らず</u>
連用形	
(れんようけい)	のような用法がある。
	(1)△中止法…文を中止し、次の△文節に△対等の関係で続く。「花
	咲き、鳥鳴く」「山青く、水清し」「波静かに、風なぎたり」
	(2)△副詞法…△連用修飾語として△用言を修飾し、または意味を
	補う。「読み終わる」「暖かくなる」「静かに語る」
	(3) △体言と同じ資格をもつ。「花を見に行かむ」
	(4)動詞の連用形は他の動詞などに連なって△複合語となる。「見
	送る」「居着く」「住みなす」
	(5)助動詞「き」「けり」「つ」「ぬ」「たり」「けむ」「たし」、助詞
	「て」「して(形容詞・形容動詞だけ)」「つつ」「(な)…そ
	(力変・サ変以外)  に連なる。この場合、特定の助動詞・助
	詞に続くとき、四段・ナ変・ラ変、形容詞は△音便の形になる
	ことがある。「泣いて」「飛んだり」「往 いいんじ」「あんなり」
	「面白うて(して)」
連用修飾語	
(れんようしゆうしよくご)	客語・補語とよばれるものも、連用修飾語と比べてはっきりと両者を
	分ける基準をたてにくいことから、今日では連用修飾語として扱って
	いる。連用修飾語になる△文節は次のような品詞からできている。
	(1) 副詞。「いとあはれなり」「はらはらと散る」
	<ul> <li>(2) 形容詞または形容動詞の連用形。「風涼しく吹く」「静かに思</li> </ul>
	バー「巍々 (ぎぎ) と聳 (そび) ゆー
	(3) △体言(数量や時を示すもの)。「三たび省みる」「一里歩く」
	「昔、男ありけり」
	(4) 体言に助詞の付いたもの。「宿を立ち出(い) づ」「仏に仕うま
	つる  「桜田へ鶴 (tro) 鳴きわたる  〈万・3・273〉
	(5) 用言または活用連語に接続助詞の付いたもの(理由・原因・条
	件などを示す)。これを「△接続語」として、連甲修飾語に含
	めない説もある。「遠くとも心を近く思ほせ吾妹 (ゎぎも)   〈万・

〔わ行〕	和漢混交文	文体の1種。広義には、和文調と漢文調との交じった文体をいう。狭
	(わかんこんこうぶん)	義には、鎌倉時代以降の軍記物語(「保元(ほうげん)物語」「平治物語」
		「平家物語」「太平記」)などに見られる和文調と漢文訓読調を調和
		させ、それに当時の口語・俗語をも取り入れた独自の文体をさしてい
		う。系統上は「漢字仮名交じり文」に属するもので、漢字に片仮名を
		交ぜて表記し、のちには平仮名を交ぜて表記した。和文の優雅・流麗
		と漢文訓読調の力強さ・簡潔さとを、内容に応じて適宜に交じえて表
		現効果をあげた。

各著作物と著作権者など

『スーパー大辞林』『逆引きスーパー大辞林』

編者/松村明 発行所/株式会社三省堂

※書籍版は刊行されておりません。

※「スーパー大辞林」は書籍版「大辞林第二版」に基づいて新語などを増補したり、社会情勢 などの変化を反映させて編集したものです。

※書籍版「大辞林第二版」の図版・表・付録は収録されておりません。

※「逆引きスーパー大辞林」は「スーパー大辞林」のデータを基にしています。

記述内容のお問い合わせは··· 株式会社 三省堂 TEL (03)3230-9416

『改訂新版 漢字源』(C) 2002

編者/藤堂明保、松本昭、竹田晃、加納喜光 発行所/株式会社学習研究社

※『漢字源』は、株式会社学習研究社の登録商標です。格納されているデータを引用した著作 物を公表する場合には、出典名・発行所を明記してください。

※『字体について』 本辞書は『JIS X 0208-1997、JIS X 0213-2000 および JIS X 0212-1990』に準拠して おり、画数等もその漢字表に示された漢字に準拠しています。

『四字熟語辞典』

監修者/郡司利男(元筑波大学名誉教授)

- 『故事ことわざ辞典』
  - 監修者/郡司利男(元筑波大学名誉教授)
  - ※書籍版「四字熟語辞典」「故事ことわざ辞典」を基に電子データ化されたものです。書籍 の内容とは一部異なります。

※図版は収録されておりません。

記述内容のお問い合わせは・・・
 株式会社 学習研究社 TEL (03)3493-3286

『旺文社古語辞典 第九版』

編者/松村明、山口明穂、和田利政

『世界史事典 三訂版』☆

- 『日本史事典 三訂版』☆
- 『世界史年代暗記ターゲット315』
- 著者/高橋武勇(補訂者/飯田國雄
- 『日本史年代暗記ターゲット312』

著者/宮澤嘉夫

『英単語ターゲット 1900 3 訂版』

著者/宮川幸久

『英熟語ターゲット 1000 3 訂版』

著者/花本金吾

『ロイヤル英文法 改訂新版』

著者/綿貫陽 共著/宮川幸久、須貝猛敏、高松尚弘

『生物事典 四訂版』☆

- 『ロイヤル英文法問題集 改訂新版』☆
  - 監修者/綿貫陽 著者/池上博
- 『英単語ターゲット 1900 BRUSH-UP TEST 3 訂版』☆ 監修者/宮川幸久
- 『英熟語ターゲット 1000 BRUSH-UP TEST 3訂版』☆
  - 監修者/花本金吾
- 『英検 Pass 単熟語 2 級 改訂版』☆
- 『英検 Pass 単熟語準2 級 改訂版』☆
- 『英検 Pass 単熟語 3 級 改訂版』☆
- 『古文単語熟語ターゲット 400』
- 著者 / 桑原聡、西田安実
- 『漢字ターゲット 1700』

著者/旺文社

- 『漢検プチドリル2級 改訂版』☆
- 『漢検プチドリル準2級 改訂版』☆
- 『漢検プチドリル3級 改訂版』☆
- 『旺文社監修 英単語ターゲット 1900 ディクテーション』

監修者/旺文社、宮川幸久

『旺文社監修 センター試験リスニング対策』

※本データは電子辞書用に制作されたオリジナルコンテンツです。

『旺文社監修 数学公式集』

著者/辻良平

※ 本データは「センター試験必出 数学公式 180」(数学I·A/II·B)から、電子辞書用に公式部 分等を抜粋・収録したものです。

『旺文社監修 物理公式集』

- 著者/井上喜助
- ※本データは「物理IB公式72」から、電子辞書用に公式部分等を抜粋・収録したものです。 『旺文社監修 無機化学のキーワード』

著者/本間正康

- ※ 本データは「無機化学の決め手 67」から、電子辞書用に「key word」の部分等を抜粋・収 録したものです。
- 『旺文社監修 有機化学のキーワード』

著者/本間正康

※ 本データは「有機化学の決め手 65」から、電子辞書用に「key word」の部分等を抜粋・収録したものです。

※☆印は「編者/旺文社」のコンテンツを示しています。

- 記述内容のお問い合わせは・・・
- 株式会社 旺文社 TEL (03)3266-6393

## 『ジーニアス英和辞典/和英辞典』

本機に収録されている辞典内容は、『ジーニアス英和辞典第3版』『ジーニアス和英辞典第2版』を、大修館書店のご協力を得て電子化したものです。

『ジーニアス英和辞典第3版』及び『ジーニアス和英辞典第2版』は小西友七・南出康世氏 と大修館書店の著作物であり、著作権法によって保護されているため、無断で複写・転載す ることはできません。

\* 図版・一部の表などを除き、書籍版(大修館書店刊)のほぼ全内容を収録していますが、 電子化の仕様上、大修館書店の監修に基づき書籍版の内容を改変した部分があります。 重要単語音声録音製作/財団法人 英語教育協議会(ELEC) 担当:原野守良、本浄晃子 Speaker: Carolyn Miller

## 『英語語義イメージ辞典』

著者/政村秀實

記述内容のお問い合わせは・・・ 株式会社 大修館書店 TEL (03)3294-2355

## 『オックスフォード現代英英辞典第6版』

Oxford Advanced Learner's Dictionary 6th Edition

© Oxford University Press 2000

編者/Sally Wehmeier 著者/A.S.Hornby

記述内容のお問い合わせは… オックスフォード大学出版局株式会社 TEL (03)3459-6481

## 『英会話とっさのひとこと辞典』

著者/巽一郎、巽スカイ・ヘザー 発行者/吉田嘉明 発行所/株式会社DHC 本機に収録されている内容は、書籍「英会話とっさのひとこと辞典」を基に、巽一郎氏、巽ス カイ・ヘザー氏及び株式会社DHCの御協力を得て電子化したものです。これらは巽一郎氏、 巽スカイ・ヘザー氏の著作物であり、著作権法によって保護されているため、無断で複写・ 転載することはできません。

本機の英会話とっさのひとこと辞典の音声は、DHC監修の音声データを使用させていただい ております。

記述内容のお問合せは・・・ 株式会社 DHC TEL:(03)3585-1451(営業)

- ※ 記載内容(問い合わせ先)は予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。
- ※ 電子化の仕様上、書籍とは一部異なる場合があります。写真、付録、一部の図表、囲み 記事などは収録されていません。
- ※本機に収録した各辞典は、それぞれの書籍出版辞典に基づいて作成しています。それぞれの辞典における誤記(誤植)、誤用につきましては、弊社ではその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ※ 画数の多い漢字は液晶表示の都合上、一部簡略化しており、正確に表示できないものが あります。
# 電池を交換するには

本体の電池が消耗してきた場合、電源ON時に「電池を交換してください」と表示 されますので、すみやかに電池を交換してください。また、電池が著しく消耗し た時には「電池残量不足の為処理を実行出来ません電源をOFFします」が表示 され、電源が切れます。この場合も、ただちに電池を交換してください。本機の 電池は、単4形アルカリ乾電池(LR03)を2本使用しています。交換の際もこ れと同じものをお求めください。

指定している電池以外は使用しないでください。電池容量、電圧が異なるため、 誤動作や故障の原因となります。交換の際には必ず新品の単4形アルカリ乾電池 2本をご使用ください。

電池残量は画面右上に表示される電池残量表示アイコン Ⅲ の目盛りを目安に してください。アイコンの表示が □ になると、残量不足のため処理を実行で きなくなりますので、お早めに電池交換を行ってください。

#### 電池交換時のご注意

電池交換の際は次のことがらを守らないと、<u>データが消去されます。</u>充分ご注意ください。

- 電池を交換する際は、必ず電源を切ってから行ってください。
- 電池は2個とも新しいものに交換してください。
- 電池の極性(+、-の方向)を間違えないようにしてください。



電源を切り、本機を裏にして電池ぶた 上の左右の矢印の上に指をのせます。 それから電池ぶたを押しながらはずし ます。

を極性(+、一の方向)を間違えないように注意しながら、乾電池を2個同時に交換します。

✔電池ぶたをもとの位置にもどします。

● 画面に「システムを初期化しますか?(単 語帳・履歴データは削除されます)」が表示 された場合は、「いいえ」を選択し、 ■★★★ 押してください。

#### オートパワーオフ機能

本機は電池の消耗を防ぐため、電源を入れたままキー操作を行わないと自動的に 電源が切れるようになっています。電源が切れるまでの時間は、設定メニュー画 面の「オートパワーオフ時間」の項目で10分以内で設定することができます (オートパワーオフ時間について 10分以内で設定することができます)。

- ※ 使用済みの電池は、+極と-極をテープで絶縁してから、お住まいの地域の 環境法と廃棄基準に従って廃棄してください。
- ※ 電池が消耗した状態で発音させると、音がかすれて聞こえることがあります。 その場合は、すみやかに電池を交換してください。

# 電池の取り扱い上の注意

## ▲警告

- (1) ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。アル カリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となりま す。
- (2) 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときにはきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

## <u>∧</u>注意

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液も れや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

- (1) 液もれ、破損のおそれがありますので充電しないでください。
- (2) +-を正しく入れてください。
- (3) 新しい電池と使用した電池、他の種類の電池をまぜて使わないで ください。
- (4) 使い切った電池はすぐに本体から取り出してください。
- (5) 電池は幼児の手の届かない所に置いてください。

## 家庭用電源を使うには

別売りの専用アダプタ(AD15/AD20)を使って、家庭用電源から 電源をとることが出来ます。

#### ▲ ご注意

本機を指定のACアダプタで長期間お使いになる時は、本機より電池を取り出して ください。

液漏れ等による故障及び損傷の原因になることがあります。

## 本機に電池が入っていない場合

(ご購入後、初めてご使用になる場合等)

AD15を例に説明します。

AC アダプタの DC プラグを本機の電源ジャックに差し込みます。

2 AC アダプタを100V AC50/60Hz のコンセントに差し込みます。

\*AD20の場合は100V-240V AC50/60Hzのコンセントに差し込み可能です。

- 3 初期画面が表示されます。画面に「タッチスクリーンの補正 ×をスタイ ラスでタップしてください」のメッセージが表示されます。画面の指示に 従い操作してください。
- ↓「システムを初期化しますか?」のメッセージが表示されますので、本 機をはじめてご使用になる場合は、「はい」を反転表示させた状態で を押して初期化してください。

● メニュー画面が表示され使用可能となります。

●初めてのご使用でない場合、「システムを初期化しますか?」のメッセージが表示された後「はい」を選択すると単語帳、履歴等のデータはすべて消去され、すべての設定が初期化されます。「いいえ」を選択した場合、データは失われずそのまま保存されます。

### 本機に電池が入っている場合

(取扱説明書に従って電池を入れた場合、または既にご使用中の場合)

AD15を例に説明します。

本機の電源が「切」になっていることを確認します。

2 ACアダプタのDCプラグを本体の電源ジャックに差し込みます。

**3** AC アダプタを100V AC50/60Hz のコンセントに差し込みます。

★AD20の場合は100V-240V AC50/60Hzのコンセントに差し込み可能です。

 ▲ ● を押し電源を入れます。

▲ ご注意

本機は、単語帳に記憶させた内容、単語の履歴を 通常操作で電源を切る時に メモ リー内部に書き込みます。電源を突然切断すると前回書き込み済み以降の単語帳へ の書き込みと単語の履歴は失われます。電池の交換とACアダプタの本体への差し込 みは必ず電源を通常操作で切った後で行うようにしてください。



# キーを押しても動作しないときは

本機使用中に、強度の外来ノイズや強いショックを受けた場合な ど、ごくまれにすべてのキーが機能しなくなる等の異常が発生する ことがあります。このような異常が発生した場合は、リセットス イッチを押して機能をもとにもどしてください。

★ 画面が真っ黒で何も表示されないなどの場合は、本体右側にある濃度調整ダイヤルで 画面の濃度を調整してみてください(濃度調整ダイヤルについて € 7ページ参照)。



## 注意!!

ローマ字/かな対応表

ローマ字の入力方法がわからないときは、この表で確認してください。表記1、表記2、表記3、いずれでも入力することができます。

ひらがな	表記1	表記2	表記3
あ	A		
い	$  \bigcirc$	$\mathbb{Y}$	
Ĵ	0		
え	Ē		
お	0		
か	KA		CA
き	K(I)		
<	KU	QU	CU
け	KE		
Z	KO		$ $ $\mathbb{O}$ $\mathbb{O}$
さ	SA		
し	S()	SHI	$\bigcirc$
す	SU		
せ	SE		CE
そ	<u>SO</u>		
た	(TA)		
ち		CHU	
つ	UU	TSU	
7	TE		
2	<u>(T)()</u>		
な	$\underline{N}(\underline{A})$		
(C			
\$			
ね	NE)		
の	<u>NO</u>		
は	(H)(A)		
<u>v</u>	<u>(H)()</u>		
151	<u>HU</u>	FU	
<u> </u>	HE		
t	ЩO		
= =	M(A)		
<u> </u>			
<u>र</u>	MU		
Ø	ME		
Ð			
P			
6			
5			
ט			

る	RU	
れ	(RE)	
ろ	<b>B</b> 0	
わ	WA	
ゐ	(W)	
র	WYE	
を	0	
h	<b>N</b> *	

●淘首			
ひらがな	表記1	表記2	表記3
が	GA		
ぎ	GI		
ぐ	GU		
げ	GE		
Ĩ	<b>GO</b>		
ざ	ZA		
じ		JI	
ず	ZU		
ぜ	ZE		
ぞ	(Z)()		
だ	DA		
ぢ	$\square$		
ブ	$\mathbb{D}$		
で	DE		
ど	$\mathbb{D}$		
ば	BA		
び	<b>B</b> ()		
ıSï	BU		
う(ヴ)	ÛÚ		
ベ	BÉ		
ſĔ	80		

#### ●半濁音

ひらがな	表記1	表記2	表記3
ぱ	PA		
ぴ	$\mathbb{P}(\mathbb{I})$		
ISî	PU		
~	PE		
ぽ	PO		

#### ●拗音

ひらがな	表記1	表記2	表記3
きゃ	KYA		
きい	KYI		
きゅ	KYU		
きぇ	KYE		
きょ	KY0		
しゃ	SYA	SHA	
しい	SYI		
しゅ	SYU	SHU	
しえ	SYE	SHE	
しょ	SY0	SH0	
ちゃ	TYA	CHA	CYA
ちぃ	TYI	$\overline{\mathbb{C}}$	
ちゅ	(T)(Y)(U)	CHU	CYU
ちぇ	(T)(Y)E)	(C)H(E)	<u>C</u> YE
ちょ	(T)(Y)(0)	$\overline{C}H\overline{O}$	<u>C</u> YO
にゃ	(N)(Y)(A)		
にい	(N(Y)(1))		
にゆ	(N)(Y)(U)		
にえ	NYE)		
にょ	NYO		
ひゃ	(H)(Y)(A)		
ひい	ĤŴĤ		
ひゅ	ĤŶŨ		
ひえ	HYE		
ひょ	HYO		
ふぁ	FA		
ふや	FYA		
ふい	EU	FYI	
Sid	FYU		
ふえ	ĒĒ	FYE	
ふょ	EY0		
ふぉ	F0		
ぴゃ	PYA		
ぴい	$\mathbb{P}(\mathbb{Y})$		
ぴゅ	PYU		
ぴぇ	PYE		
ぴょ	PY0		
みや	MYA		
みい	MYI		
みゆ	MYU		
みぇ	MYE		
みょ	MYO		
りゃ	<b>B</b> YA		
りい	BYI		
りゆ	RYU		

りえ	BYE		
りょ	(RYO)		
ぎゃ	GYA		
ぎい	GYI		
ぎゅ	GYU		
ぎぇ	GYE		
ぎょ	GYO		
じゃ	ZYA	JA	AYU
じい	ZYI	$\mathbf{J}(\mathbf{M})$	
じゅ	ZYU	JU	UYU
じえ	ZYE	JYE	JE
じょ	ZYO	JO	UYO
ぢゃ	DYA		
ぢぃ	$\mathbb{D}$		
ぢゅ	$\mathbb{D}$		
ぢぇ	DYE		
ぢょ	000		

ひらがな	表記1	表記2
びゃ	BYA	
びい	BYI	
びゆ	BYU	
びぇ	BYE	
びょ	BYO	
ヴァ	VA	
ヴィ	$\mathbb{V}$	
ヴェ	VE	
ヴォ	$\mathbb{O}\mathbb{V}$	
ヴャ	VYA	
ヴュ	VYU	
ヴョ	$\mathbb{O}\mathbb{V}\mathbb{V}$	
うぁ	WHA	
うい	WHU	$\mathbb{W}$
うぇ	WHE	WE
うぉ	(WHO)	
つぁ	TSA	
つい	(TSI)	
つえ	TSE	
つお	<u>TSO</u>	
いえ	(YE)	
てや	THA	
てい	$\underline{(TH)}$	
てゆ	THU	
てえ	(T)H)E)	
てよ	$\underline{(T)H}$	
でゃ		
でい		
でゆ		
でえ	DHE	0.000
くぁ		(K)(W)(A)
くい		$\mathbb{K}$
くう		000
くえ	QE	K)WE
くお	Q0	$\mathbb{K}$
ぐぁ	<u>(G)(W)(A)</u>	
ぐい	GW	
ぐぅ	$\underline{(G)}$	
ぐぇ	GWE	
ぐぉ	GWO	
とう	UWU	
どう	$\mathbb{D}$	

●小文字

ひらがな	表記1	表記2	表記3	表記4
あ	(X)		LA	
い	$\otimes$		$\Box$	
j	$\otimes$ U		$\bigcirc$	
え	XE		LE	LYE
お	$\otimes 0$		$\bigcirc$	
U	(UT(X)	XTSU**	(L)	
や	XYA		LYA	
Þ	()		LYU	
Ł	$\otimes \gamma 0$		LY0	
わ	(X)(W)(A)		L(W)	

 ★ 「ん」の次に「あ行」の文字、または 「な行」「や行」の文字がくるときは、 「ん」は「NN」と入力します。
 【例】「はんい」… ●◎ ● ● ●

「そんな」… ⑤ ③ ⑧ ⑧ ⑨ ⑧ ④ それ以外は「ん」は「N」と入力してかま いません。

★★ 促音(小文字の「っ」)は、次にくる 文字の子音を続けて入力することに よっても入力することができます。

【例】「さっき」… **SAKK**①

おもな仕様 型

:wordtank V35 Ŧ

収 曲 録 辞

> 「改訂新版漢字源」「四字熟語辞典」「故事ことわざ辞典」 (学習研究社)

: [スーパー大辞林 | [逆引きスーパー大辞林 | (三省堂)

「旺文社古語辞典第九版」「世界史事典 三訂版」「日本史事典 三 訂版」「世界史年代暗記ターゲット315」「日本史年代暗記ター ゲット312 |「英単語ターゲット1900 3訂版 |「英熟語ターゲッ ト 1000 3 訂版」 「徹底例解ロイヤル英文法」 「旺文社 生物事典 四訂版|「ロイヤル英文法問題集 改訂新版|「英単語ターゲット 1900 BRUSH-UP TEST 3訂版 |「英熟語ターゲット 1000 BRUSH-UP TEST 3訂版」「英検Pass単熟語2級 改訂版」「英 検Pass単熟語準2級 改訂版 |「英検Pass単熟語3級 改訂版 |「古 文単語熟語ターゲット400 |「漢字ターゲット1700 |「漢検プチ ドリル2級 改訂版」「漢検プチドリル準2級 改訂版」「漢検プチ ドリル3級 改訂版」「旺文社監修 英単語ターゲット1900ディク テーション | 「肝文社監修 センター試験リスニング対策 | 「肝文 社監修 数学公式集」「旺文社監修 物理公式集」「旺文社監修 無 機化学のキーワード|「肝文社監修 有機化学のキーワード| (肝文社)

「ジーニアス英和辞典第3版」「ジーニアス和英辞典第2版」「英 語語義イメージ辞典 | (大修館書店) 「オックスフォード現代英英辞典第6版| (OXFORD UNIVERSITY PRESS)

「英会話とっさのひとこと辞典」(DHC)

:320×240 ドットマトリックス液晶表示 示

> 文字 :16ドットフォント 縮小文字 : 12ドットフォント 拡大文字 : 24ドットフォント -文字拡大表示 : 漢字源 92ドットフォント 筆順表示 : 漢字源 200ドットフォント

表

- 消費 電力 :830 mW
- 使用時間:約100時間 (使用温度25℃、英和辞典の画面で連続表示の場合)
   ★使用状態(環境)によって電池寿命が変わることがあります。
- オートパワーオフ :10分以内で設定可能
- 使用温度:0℃~40℃
- ★ :幅138×奥行き189×高さ16mm (開いた状態)
   幅138×奥行き101×高さ21mm (閉じた状態)
- **重 量** :246g(電池含む)

改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますので、 あらかじめご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

# 修理お問い合わせ専用窓口 パーソナル機器修理受付センター (全国共通番号) 050-555-99088 [受付時間] 9:00~18:00 (日曜、祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます) 製品取扱い方法ご相談窓口 キヤノンお客様相談センター (全国共通番号) 050-555-90025 [受付時間] 平日 9:00 ~ 20:00 十·日·祝日 10:00 ~ 17:00 (1月1日~1月3日は休ませていただきます) ※上記番号をご利用頂けない場合は、043-211-9632をご利用ください。 ※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合

があります。

※上記記載内容は、都合により予告なく変更する場合があります。予めご了承 ください。

2008年2月1日現在

# キヤノンマーケティングジャパン株式会社

PUB, E-IJ-1136©CANON ELECTRONIC BUSINESS MACHINES(H.K.)CO.,LTD. 2008 PRINTED IN CHINA